

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧 version 1.0

地域分析

## 大阪府 | 泉州医療圏

(医療圏コード：2707)

# 目次

## 1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

## 2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

## 3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

## 4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

# 1/ 地域の概況

---

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、  
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

# 大阪府 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場合に見直しの検討が必要とされています。

二次医療圏	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	可住地面積割合 (%)
豊能	1,056,344	275.61	3,832.7	52%
三島	758,811	213.46	3,554.8	59%
北河内	1,139,459	177.34	6,425.3	85%
中河内	827,357	128.83	6,422.1	83%
南河内	592,506	290.00	2,043.1	56%
堺市	826,161	149.84	5,513.6	97%
泉州	884,635	444.93	1,988.3	61%
大阪市	2,752,412	225.33	12,215.0	100%
大阪府 計	8,837,685	1,905.34	4,638.4	70%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

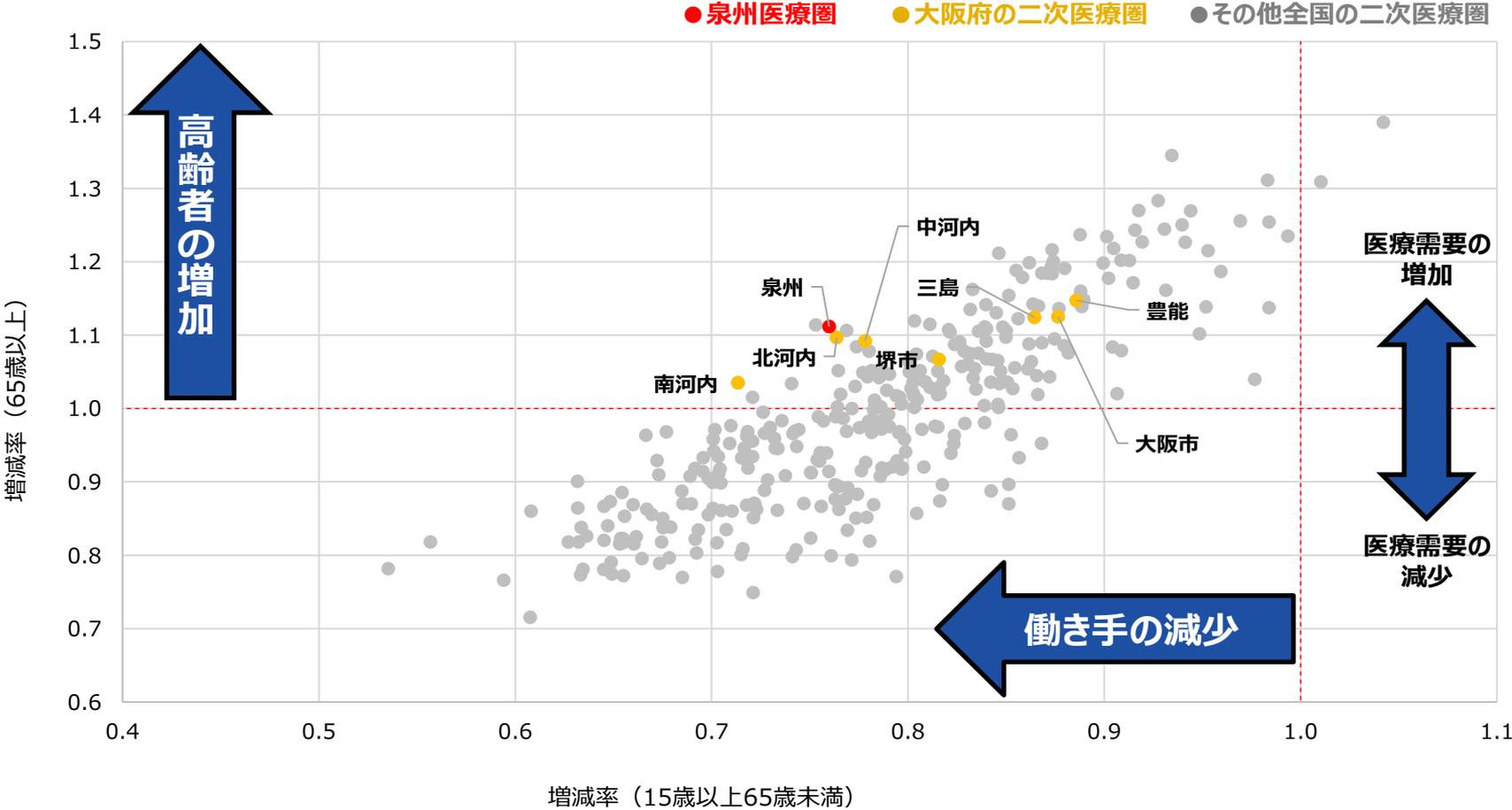
\* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの

出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

# 大阪府 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。

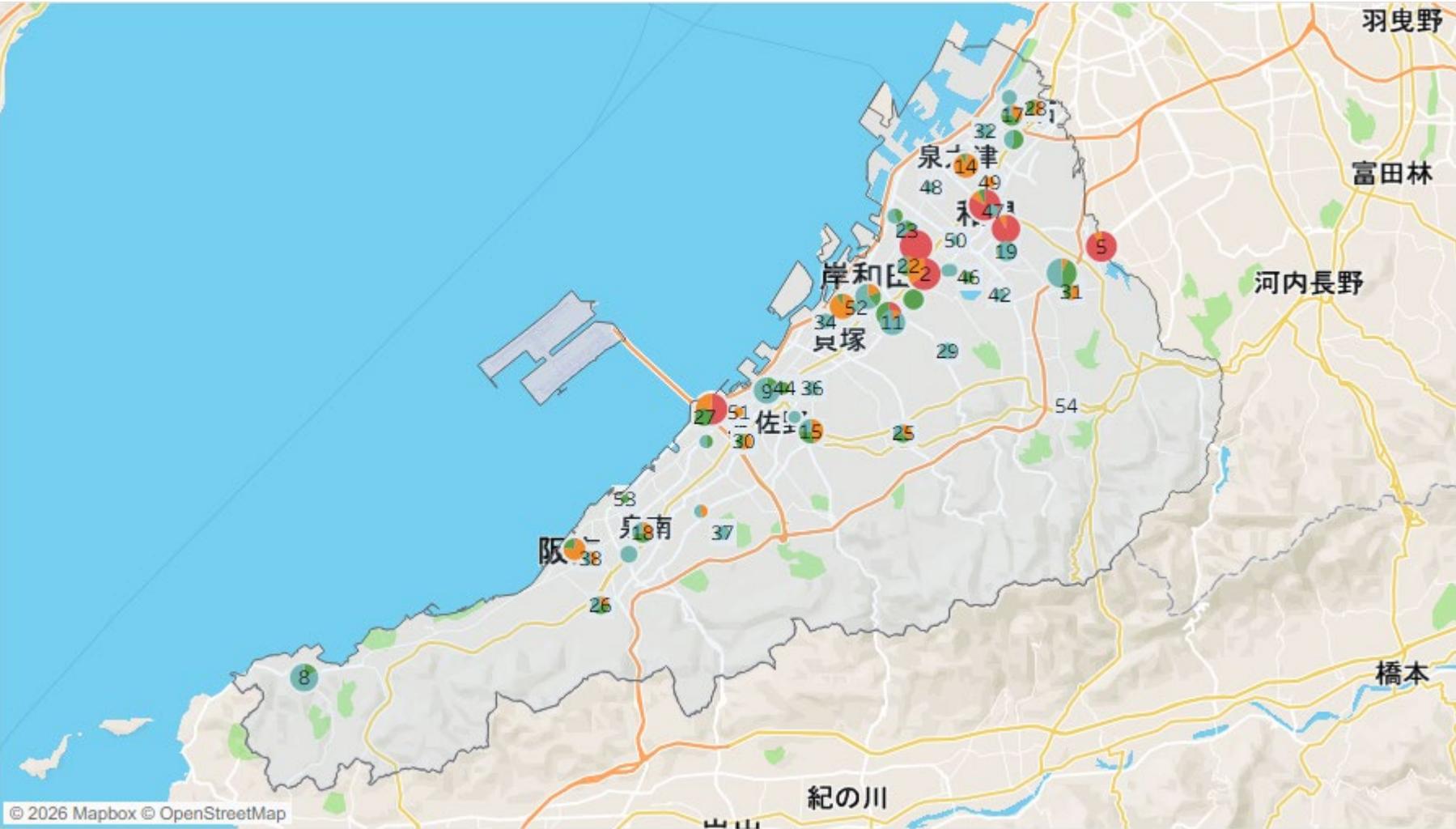


出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)

# 泉州医療圏 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 泉州医療圏 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	岸和田徳洲会病院	岸和田市	400					400
2	市立岸和田市民病院	岸和田市	258	142				400
3	府中病院	和泉市	319	35	26			380
4	りんくう総合医療センター	泉佐野市	279	99				378
5	大阪母子医療センター	和泉市	333	30			12	375
6	いぶきの病院	和泉市		24	140	176		340
7	和泉市立総合医療センター	和泉市	283	24				307
8	与田病院	岬町			52	249		301
9	泉佐野優人会病院	泉佐野市			37	228		265
10	寺田萬寿病院	岸和田市		47	50	153		250
11	小南記念病院	岸和田市		26		224		250
12	市立貝塚病院	貝塚市	4	226	19			249
13	葛城病院	岸和田市	106	47	90			243
14	泉大津市立病院	泉大津市	6	208	16			230
15	永山病院	熊取町		104	70	56		230
16	阪南市民病院	阪南市	7	136	42			185
17	高石藤井病院	高石市		60	70	40		170
18	野上病院	泉南市		60	58	45		163
19	新仁会病院	和泉市				160		160
20	和泉南病院	泉南市				112	48	160
21	岸和田リハビリテーション病院	岸和田市			157			157
22	藤井病院	岸和田市		60	35	60		155
23	岸和田平成病院	岸和田市			45	104		149
24	光生病院	和泉市			78	67		145
25	河崎病院	貝塚市		47	47	35		129
26	大阪リハビリテーション病院	阪南市		30	48	48		126
27	りんくう永山病院	泉佐野市			120			120
28	高石加茂病院	高石市		54	48			102
29	聖志会 渡辺病院	岸和田市				100		100
30	佐野記念病院	泉佐野市		53	42			95

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	咲花病院	和泉市		50	44			94
32	原病院	泉大津市				94		94
33	阪南会 天の川病院	岸和田市			39	52		91
34	貝塚記念病院	貝塚市				90		90
35	高石病院	高石市				88		88
36	徳洲会 東佐野病院	泉佐野市				79		79
37	白井病院	泉南市				77		77
38	玉井病院	阪南市		35		40		75
39	羽原病院	泉佐野市			35	35		70
40	大阪晴愛病院	泉南市		32		37		69
41	亀井病院	岸和田市				60		60
42	晋救館 和田病院	岸和田市				60		60
43	久米田外科整形外科病院	岸和田市				60		60
44	青松記念病院	泉佐野市			60			60
45	泉南藤井病院	泉佐野市				60		60
46	吉栄会 吉川病院	岸和田市			55			55
47	奥村病院	和泉市				54		54
48	聖祐病院	忠岡町				47		47
49	かわい病院	泉大津市		46				46
50	みどり病院	岸和田市				40		40
51	谷口病院	泉佐野市		37				37
52	高橋病院	貝塚市				27		27
53	大阪府済生会新泉南病院	泉南市			26			26
54	和泉丘病院	和泉市					4	4
	総計		1,995	1,712	1,549	2,857	64	8,177

# 泉州医療圏 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	浜寺病院	642								
2	七山病院	613								
3	阪和いずみ病院	588								
4	水間病院	541								
5	久米田病院	494								
6	木島病院	492								
7	こころあ病院	450								
8	聖志会 渡辺病院	436								
9	貝塚中央病院	403								
10	岸和田徳洲会病院	400	特定	○	○	地域			PSCコア	在後病
11	市立岸和田市民病院	400	特定	○				地域拠点	PSC	
12	りんくう総合医療センター	388	特定	○	○	地域	地域		PSCコア	
13	大阪母子医療センター	375	標準				総合			在後病
14	いぶきの病院	340								
15	和泉市立総合医療センター	307	特定	○				地域拠点		在後病
16	与田病院	301								在後病
17	泉大津急性期メディカルセンター	300	特定						PSC	
18	白井病院	297								
19	泉佐野優人会病院	265								在後病
20	和泉丘病院	261								
21	紀泉病院	260								
22	寺田萬寿病院	250								
23	市立貝塚病院	249	標準							在後病
24	葛城病院	243	標準							
25	永山病院	230	標準							

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 泉州医療圏 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	泉大津市立周産期小児医療センター	230	標準				地域			
27	和泉中央病院	206								
28	関西サナトリウム	192								
29	高石藤井病院	185	標準							支援病 3
30	阪南市民病院	185	標準							支援病 3
31	野上病院	163								支援病 1
32	和泉南病院	160								
33	岸和田リハビリテーション病院	157								
34	藤井病院	155								支援病 2
35	楓こころのホスピタル	150								
36	岸和田こころのホスピタル	150								
37	岸和田平成病院	149								支援病 3
38	新生会病院	148								
39	光生病院	145								支援病 3
40	小南記念病院	138								
41	河崎病院	129	標準						PSC	支援病 3
42	大阪リハビリテーション病院	126								
43	新仁会病院	120								支援病 3
44	りんくう永山病院	120								支援病 3
45	佐野記念病院	95	標準						PSC	
46	泉南大阪晴愛病院	95								支援病 3
47	原病院	94								
48	咲花病院	94	標準							支援病 1
49	阪南会 天の川病院	91								支援病 2
50	高石病院	88								支援病 2

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 泉州医療圏 | 医療機関の指定状況③

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
51	府中病院	80		○						支援病 3
52	徳洲会 東佐野病院	79								支援病 3
53	高石加茂病院	78								支援病 2
54	玉井病院	75								支援病 1
55	羽原病院	70								支援病 3
56	大阪晴愛病院	69								支援病 3
57	久米田外科整形外科病院	60								
58	青松記念病院	60								
59	晋救館 和田病院	60								支援病 1
60	泉南藤井病院	60								
61	亀井病院	60								
62	河和会病院	60								支援病 2
63	吉川会 吉川病院	59								支援病 2
64	徳洲会 貝塚記念病院	57								支援病 3
65	吉栄会 吉川病院	55								
66	聖祐病院	47								
67	かわい病院	46	標準							支援病 3
68	みどり病院	40								
69	谷口病院	37								
70	奥村病院	27								
71	高橋病院	27								
72	大阪府済生会新泉南病院	26								支援病 3

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

## 2/ 医療提供体制の概況

---

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

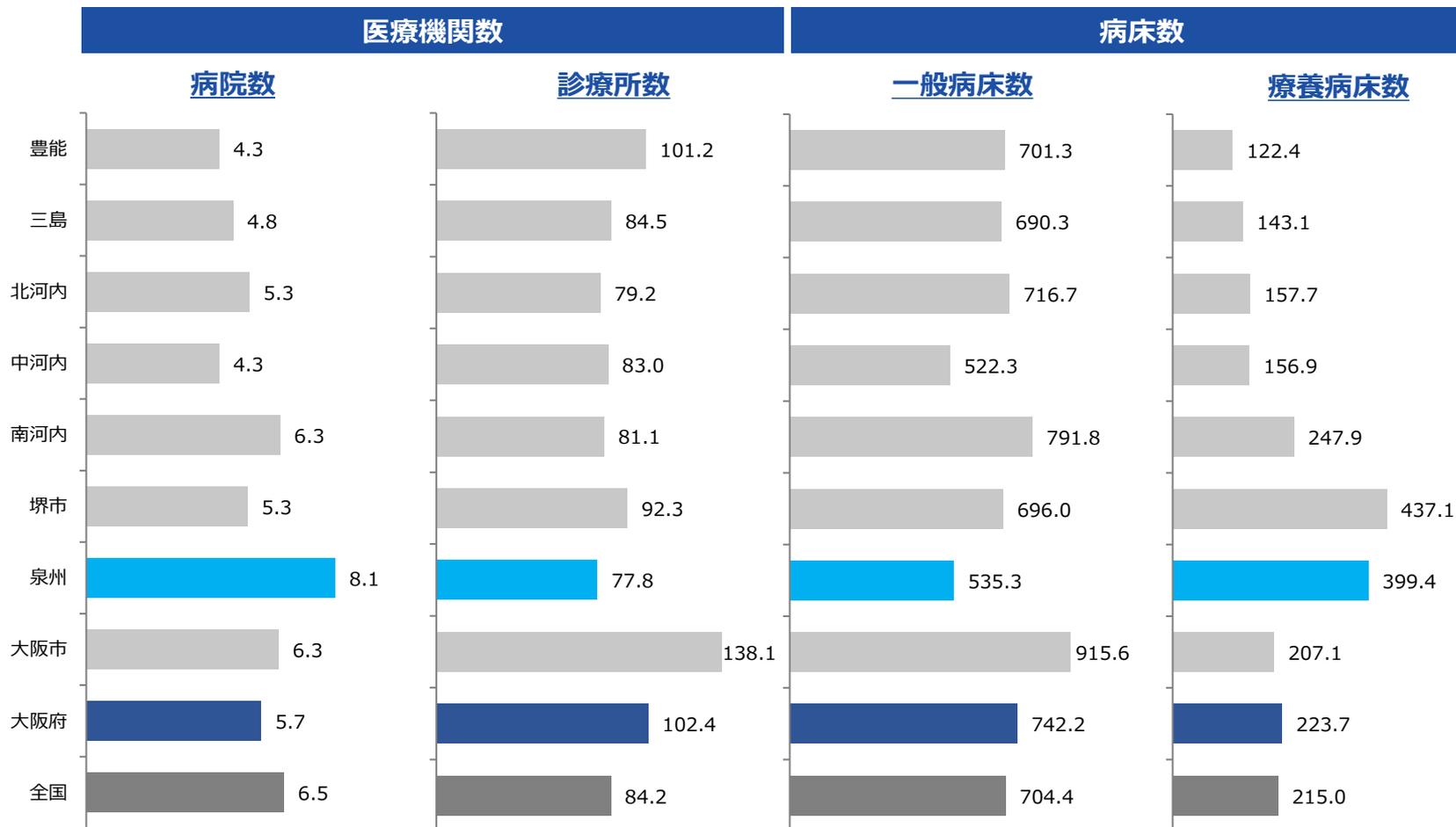
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

# 大阪府 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

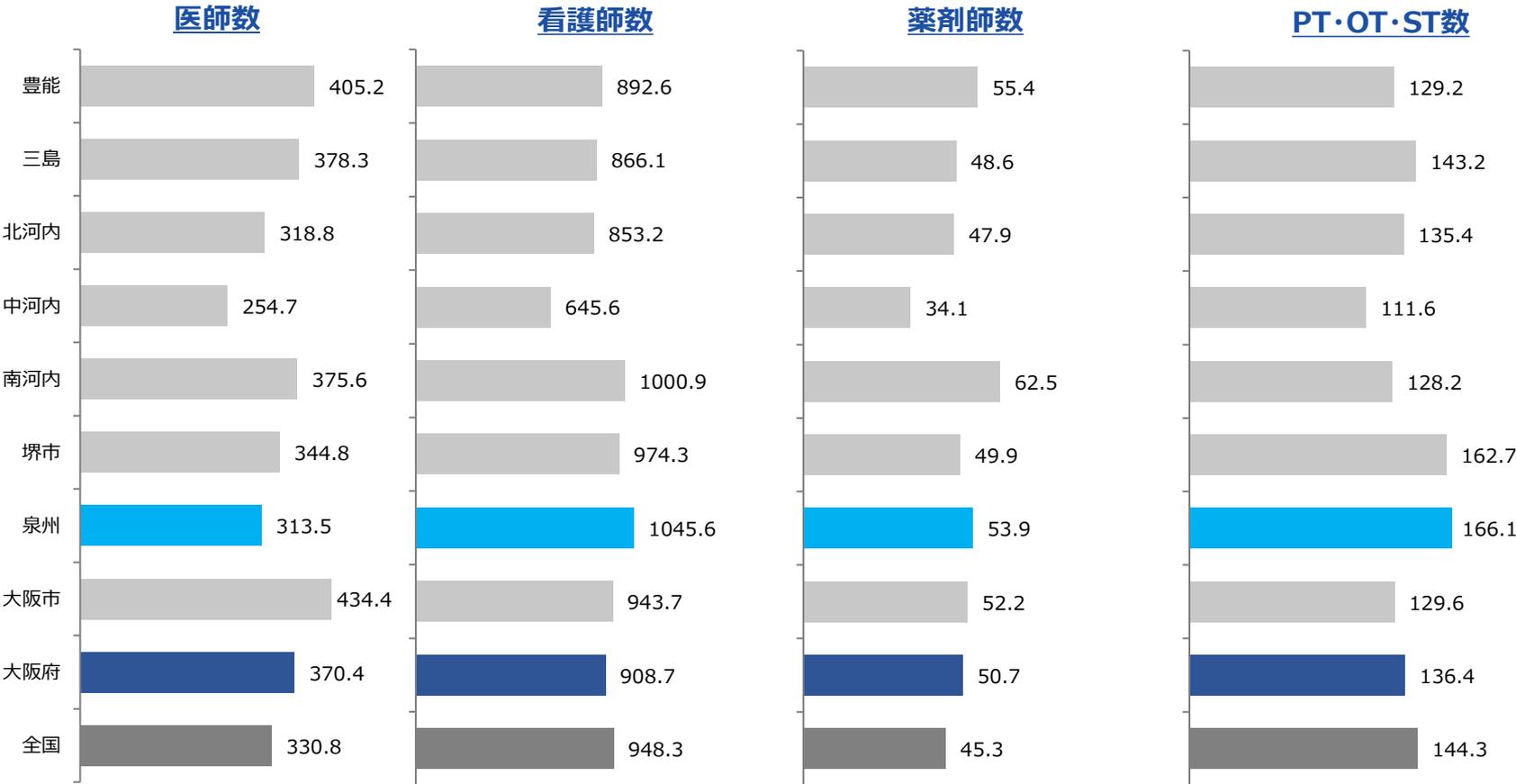
都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。  
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。  
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。



# 大阪府 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。

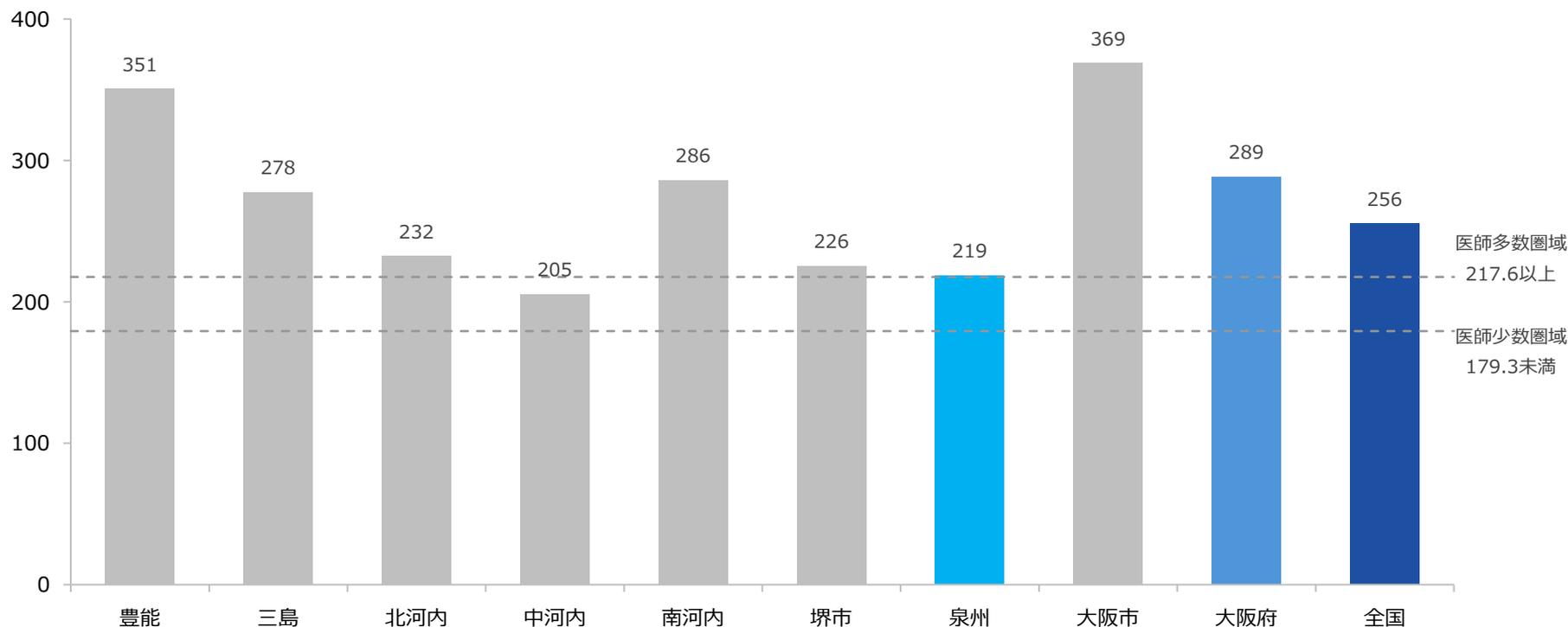


出典：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）  
：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

# 大阪府 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。

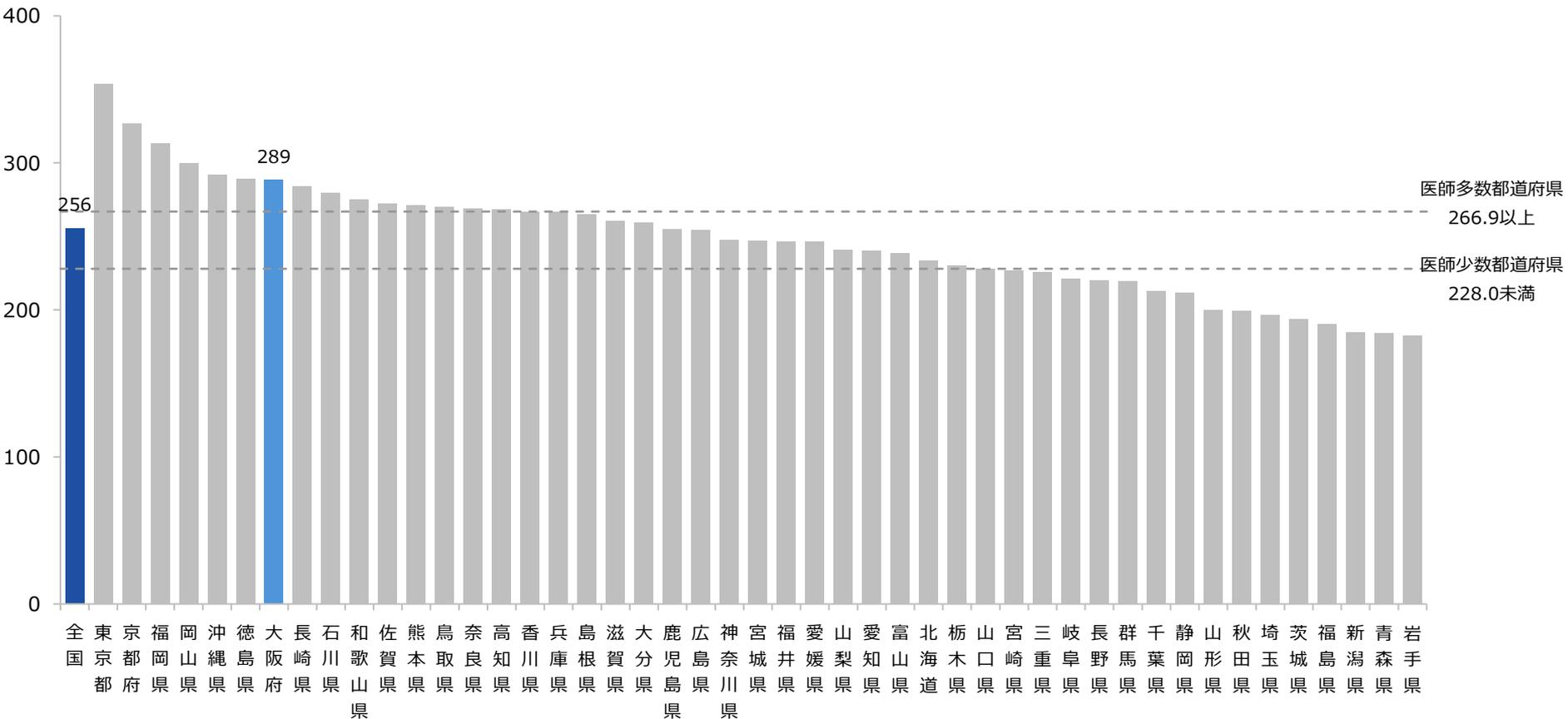


# 都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。

都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。

当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

# 泉州医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		医療圏	全国	圏域-全国	割合	医療圏	全国	圏域-全国	割合	
		医療圏	全国	圏域-全国	割合									医療圏
内科系	内科	165.3	86.5	78.8	+91%									
	呼吸器内科	9.8	9.9	-0.1	▲1%									
	循環器内科	31.5	19.1	12.4	+65%									
	消化器内科(胃腸内科)	39.7	22.6	17.1	+76%									
	腎臓内科	7.4	8	-0.6	▲8%									
	脳神経内科	5.7	8.3	-2.5	▲31%									
	糖尿病内科(代謝内科)	9.8	8.4	1.4	+16%									
	血液内科	4.1	4.2	-0.1	▲3%									
	アレルギー科	0.4	0.3	0.1	+55%									
	リウマチ科	3.7	2.7	1	+35%									
	感染症内科	0	0.9	-0.9	-									
外科系	外科	31.9	18.1	13.8	+77%									
	呼吸器外科	2.9	3	-0.2	▲5%									
	心臓血管外科	10.2	4.6	5.7	+124%									
	乳腺外科	5.3	3.3	2.1	+63%									
	気管食道外科	0	0.1	-0.1	-									
	消化器外科(胃腸外科)	11.9	8.2	3.7	+45%									
	泌尿器科	20.1	11.2	8.9	+80%									
	肛門外科	1.6	0.6	1	+159%									
	脳神経外科	15.5	10.6	4.9	+46%									
	整形外科	52.4	31.8	20.5	+64%									
	形成外科	7.8	4.5	3.2	+71%									
	小児・周産期	小児科	55.2	25.2	30.1	+120%								
		小児外科	4.1	1.2	2.9	+241%								
		産婦人科	28.6	16	12.6	+79%								
産科		4.5	0.7	3.8	+540%									
婦人科		4.5	2.9	1.6	+54%									
眼科・耳鼻・皮膚・美容		眼科	30.3	19.2	11.1	+58%								
		耳鼻いんこう科	22.9	13.3	9.6	+73%								
		皮膚科	18	14.2	3.8	+27%								
麻酔・集中治療系		美容外科	0	1.8	-1.8	-								
		麻酔科	19.6	14.6	5	+34%								
集中治療系		救急科	9.4	5.5	3.9	+70%								
	集中治療科	4.9	1.3	3.6	+278%									
放射線・検査系	放射線科	16.4	10.3	6.1	+59%									
	病理診断科	4.1	3.2	0.9	+29%									
	臨床検査科	2.5	0.9	1.5	+166%									
リハビリ	リハビリテーション科	7.4	4.4	3	+69%									
精神	精神科	67.1	23.8	43.3	+182%									
	心療内科	1.2	1.2	0	+1%									
その他	その他	43	36.7	6.2	+17%									
総計	総計	780.8	463.3	317.4	+69%									

出典：「令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）  
：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

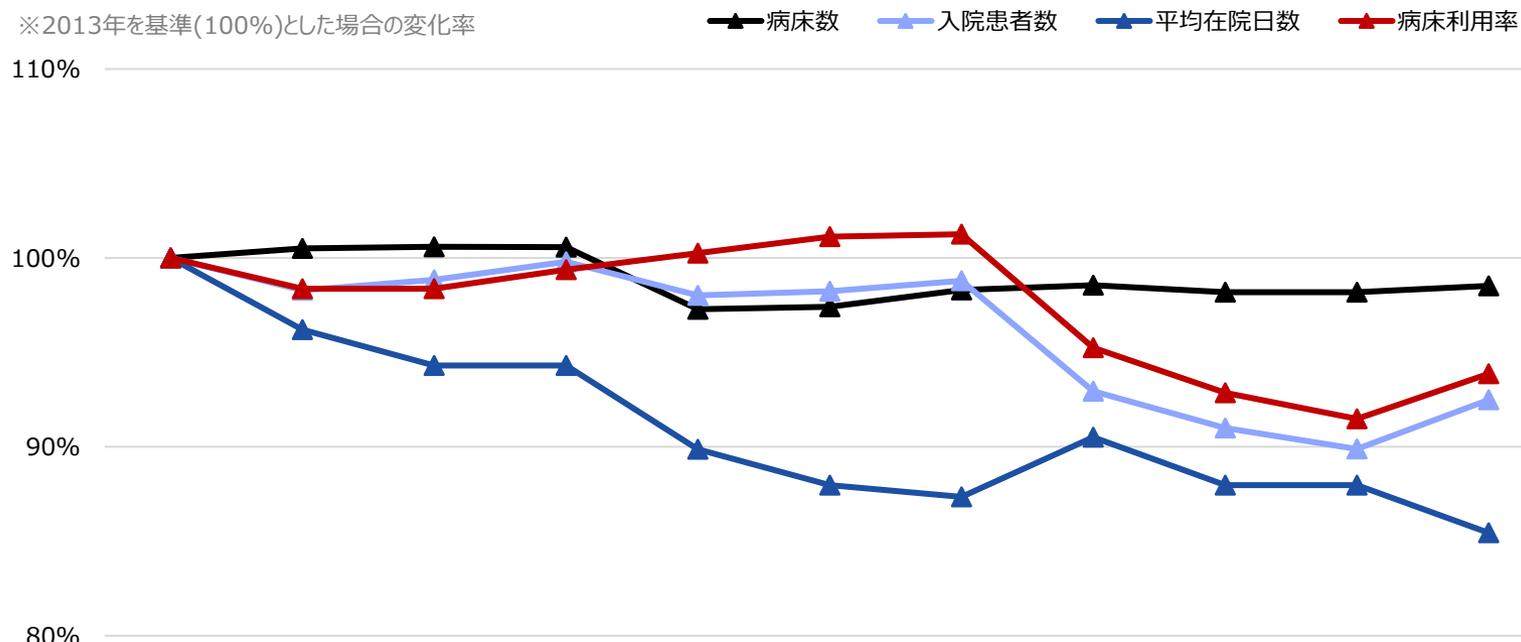
# 泉州医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

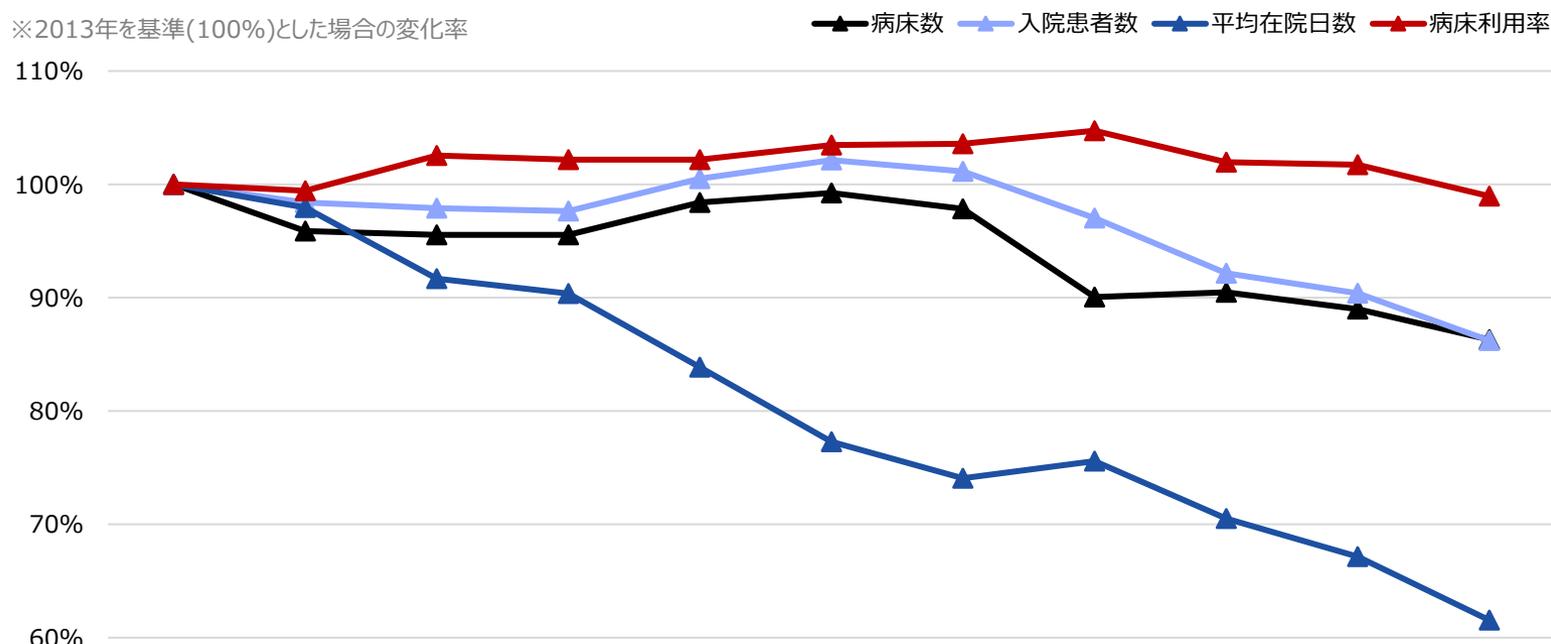


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	4,749	4,773	4,777	4,776	4,620	4,626	4,668	4,680	4,663	4,663	4,679	▲1.5%
入院患者数 (人/日)	3,796	3,731	3,752	3,788	3,721	3,729	3,750	3,528	3,454	3,412	3,511	▲7.5%
平均在院日数 (日)	15.8	15.2	14.9	14.9	14.2	13.9	13.8	14.3	13.9	13.9	13.5	▲14.6%
病床利用率 (%)	79.8	78.5	78.5	79.3	80.0	80.7	80.8	76.0	74.1	73.0	74.9	▲6.1%

# 泉州医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

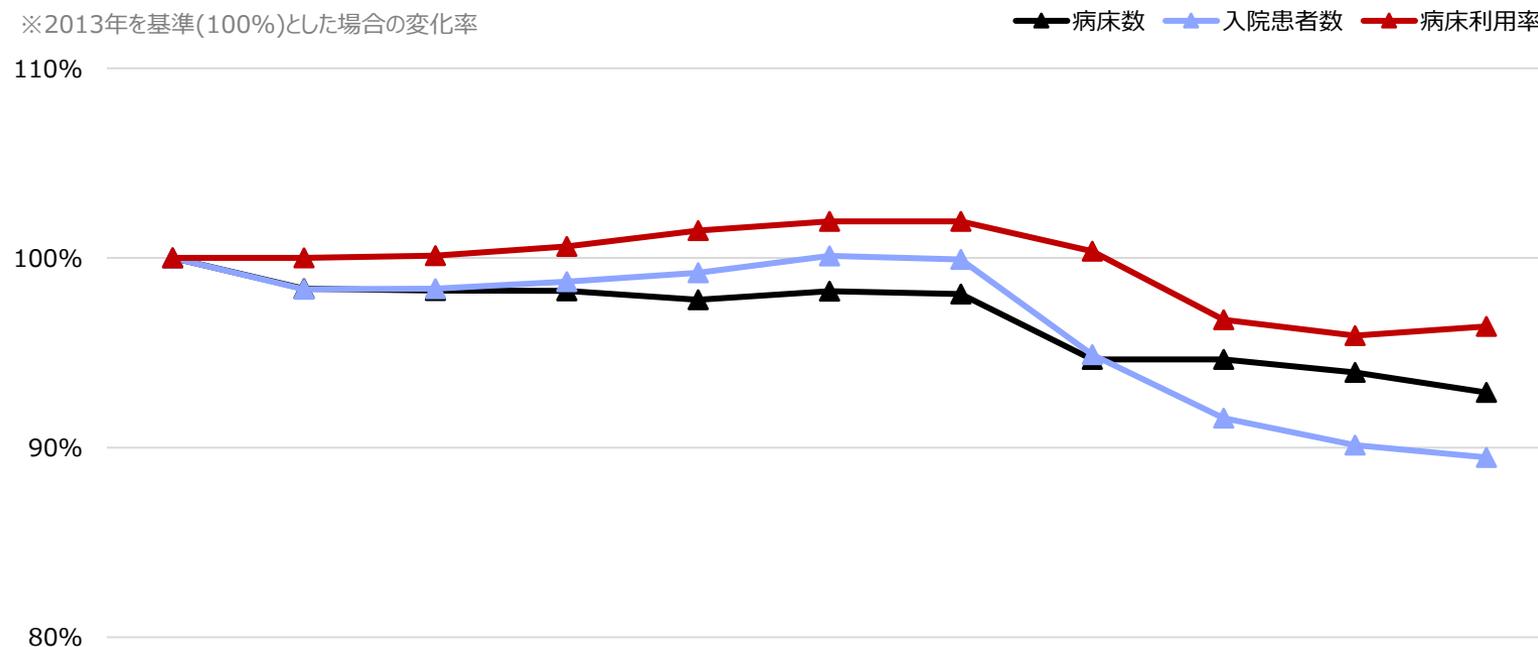


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	4,045	3,878	3,865	3,865	3,980	4,014	3,958	3,643	3,660	3,600	3,491	▲13.7%
入院患者数 (人/日)	3,506	3,450	3,432	3,423	3,524	3,581	3,546	3,402	3,231	3,169	3,023	▲13.8%
平均在院日数 (日)	205.2	201.0	188.1	185.4	172.1	158.6	152	155.1	144.7	137.8	126.3	▲38.5%
病床利用率 (%)	86.6	86.1	88.8	88.5	88.5	89.6	89.7	90.7	88.3	88.1	85.7	▲1.0%

# 泉州医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	8,794	8,651	8,642	8,641	8,600	8,640	8,626	8,323	8,323	8,263	8,170	▲7.1%
入院患者数 (人/日)	7,302	7,181	7,184	7,211	7,245	7,310	7,296	6,930	6,685	6,581	6,534	▲10.5%
病床利用率 (%)	83.0	83.0	83.1	83.5	84.2	84.6	84.6	83.3	80.3	79.6	80.0	▲3.6%

# 大阪府 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数						
	2013年		2018年		2023年		2013年		2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比		
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%		
大阪府	90,205	88,410	▲2.0%	79,298	▲12.1%	28.9	25.4	▲12.1%	24.0	▲17.0%		
豊能	9,164	9,282	+1.3%	8,436	▲7.9%	27.7	24.3	▲12.3%	22.7	▲18.1%		
三島	7,677	7,541	▲1.8%	6,867	▲10.6%	33.2	28.4	▲14.5%	27.1	▲18.4%		
北河内	9,808	9,878	+0.7%	9,180	▲6.4%	28.4	24.7	▲13.0%	23.2	▲18.3%		
中河内	6,385	6,239	▲2.3%	5,320	▲16.7%	30.2	26.8	▲11.3%	24.4	▲19.2%		
南河内	6,938	6,901	▲0.5%	5,975	▲13.9%	28.7	25.4	▲11.5%	24.5	▲14.6%		
堺市	10,624	10,167	▲4.3%	9,226	▲13.2%	37.3	33.3	▲10.7%	31.7	▲15.0%		
泉州	12,970	12,679	▲2.2%	11,566	▲10.8%	48.6	42.1	▲13.4%	39.0	▲19.8%		
大阪市	26,639	25,723	▲3.4%	22,729	▲14.7%	22.0	19.4	▲11.8%	18.5	▲15.9%		

# 泉州医療圏 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	大阪母子医療センター	172.9	165	608.1	55.4	14.1	29.6	956.2
2	和泉市立総合医療センター	157.4	138	363.2	44.5	42.0	30.7	723.0
3	府中病院	128.3	128	474.2	46.1	57.0	31.0	837.5
4	市立岸和田市民病院	123.3	109	401.4	56.3	15.4	22.0	696.9
5	岸和田徳洲会病院	123.4	103	511.7	41.1	57.0	40.6	948.7
6	りんくう総合医療センター	140.9	97	583.6	28.5	47.8	25.0	970.5
7	市立貝塚病院	70.1	62	236.3	27.1	8.0	16.4	396.2
8	泉大津市立病院	44.3	40	149.0	9.6	12.6	5.8	248.3
9	葛城病院	44.1	33	200.8	59.6	54.1	10.0	408.6
10	阪南市民病院	37.4	26	181.4	17.9	41.0	8.0	314.3
11	永山病院	46.3	20	185.8	31.4	25.0	7.0	318.1
12	野上病院	21.6	16	92.9	35.0	62.7	3.3	229.7
13	いぶきの病院	20.4	16	135.7	71.5	86.2	4.0	332.8
14	佐野記念病院	21.8	15	94.4	15.2	52.9	3.0	206.3
15	高石藤井病院	18.0	14	95.8	39.3	16.0	2.6	195.2
16	咲花病院	19.3	14	82.4	6.9	6.2	2.0	133.3
17	藤井病院	13.6	12	103.1	34.8	42.9	12.5	245.5
18	河崎病院	14.3	10	73.9	32.3	22.5	5.8	156.4
19	寺田萬寿病院	15.6	9	75.1	43.3	36.0	4.2	185.5
20	聖志会 渡辺病院	11.5	9	138.7	70.9	8.0	1.0	234.8
21	岸和田リハビリテーション病院	9.0	8	74.8	31.3	115.0	3.9	243.7
22	白井病院	10.8	7	93.0	45.9	20.0	4.0	179.7
23	玉井病院	9.9	7	44.2	15.4	12.0	3.0	93.9
24	高石加茂病院	6.0	6	46.1	12.6	16.0	2.5	84.2
25	新仁会病院	7.9	6	50.9	31.1	7.3	3.2	105.9

# 泉州医療圏 | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	光生病院	9.1	6	62.6	36.8	15.7	2.4	135.6
27	羽原病院	6.0	6	49.8	20.9	10.0	2.0	96.7
28	大阪リハビリテーション病院	6.3	5	50.4	23.3	39.0	2.5	126.5
29	大阪府済生会新泉南病院	9.3	5	26.6	5.0	6.0	2.6	61.7
30	泉佐野優人会病院	8.8	5	87.2	60.2	60.6	7.5	240.8
31	谷口病院	6.3	5	34.1	8.3	0	2.0	56.1
32	晋救館 和田病院	8.8	4	22.8	14.0	9.6	2.1	58.3
33	原病院	8.0	4	37.0	20.0	20.0	1.0	92.0
34	かわい病院	5.7	4	23.7	7.0	8.0	2.8	54.2
35	阪南会 天の川病院	5.3	3	34.7	24.4	10.0	2.0	77.9
36	青松記念病院	6.3	3	24.1	4.5	0	2.1	40.0
37	和泉南病院	4.8	3	27.2	21.9	0	2.0	58.0
38	吉栄会 吉川病院	3.7	3	27.6	12.3	37.9	1.3	85.8
39	りんくう永山病院	4.9	3	61.5	15.0	26.0	2.0	112.0
40	亀井病院	3.3	3	15.7	12.3	0	1.8	36.1
41	岸和田平成病院	6.9	3	56.9	40.4	47.0	3.7	167.8
42	大阪晴愛病院	5.2	2	37.2	10.5	8.0	2.0	66.9
43	聖祐病院	5.6	2	21.0	14.0	8.0	1.0	54.6
44	久米田外科整形外科病院	4.4	2	24.0	18.2	0	1.0	49.9
45	泉南藤井病院	7.4	2	30.6	14.5	4.0	2.6	62.1
46	徳洲会 東佐野病院	3.7	2	31.3	12.0	3.0	2.0	56.1
47	徳洲会 貝塚記念病院	4.6	1	29.4	4.5	5.0	1.0	45.5
48	奥村病院	1.2	1	2.0	0	0	0.1	3.3
49	高石病院	15.0	1	27.3	17.3	2.5	2.0	69.6
50	みどり病院	3.1	1	11.1	5.7	0	2.0	24.9

# 泉州医療圏 | 医療機関別職員数③

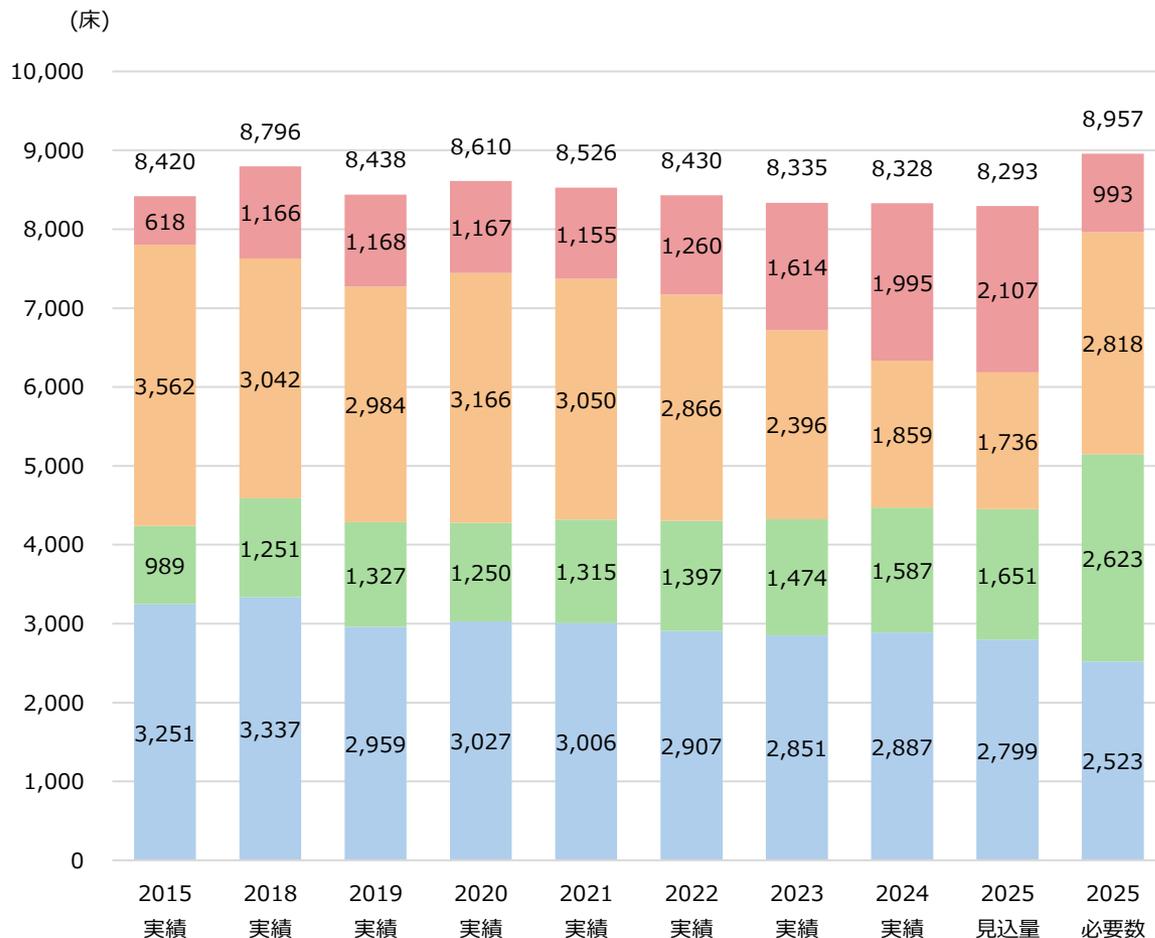
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
51	和泉丘病院	0	0	0	0	0	0	0
52	与田病院	0	0	95.8	61.0	7.0	4.0	168.8
53	高橋病院	0	0	12.0	13.0	5.0	1.0	33.0
54	小南記念病院	0	0	43.0	43.0	0	0	86.0
	総計	1,441.8	1,149	6,103.1	1,443.0	1,210.0	339.6	11,665.4

# 泉州区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

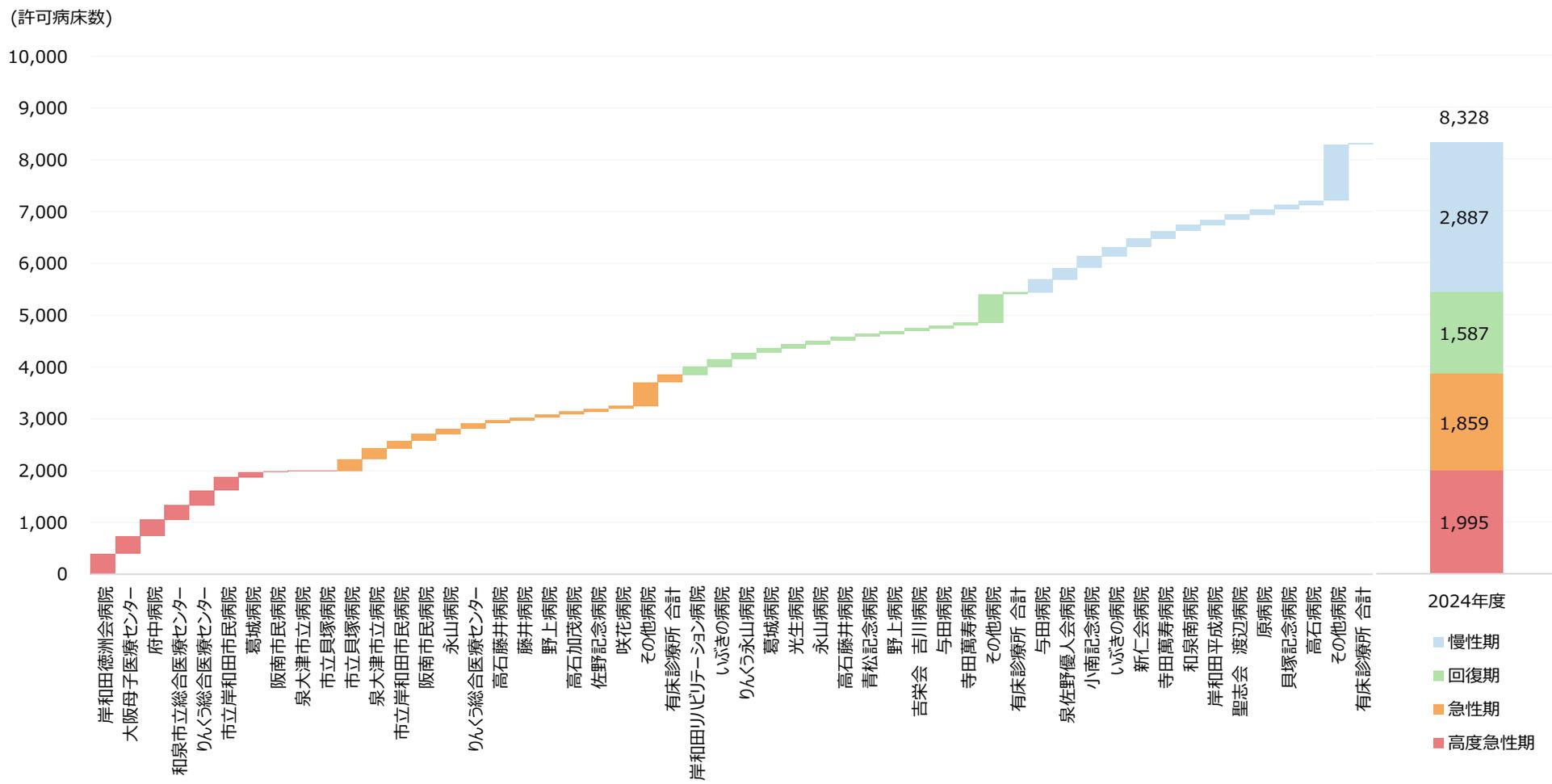
病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	1,995	993	+1,002
急性期	1,859	2,818	▲959
回復期	1,587	2,623	▲1,036
慢性期	2,887	2,523	+364
合計	8,328	8,957	▲629

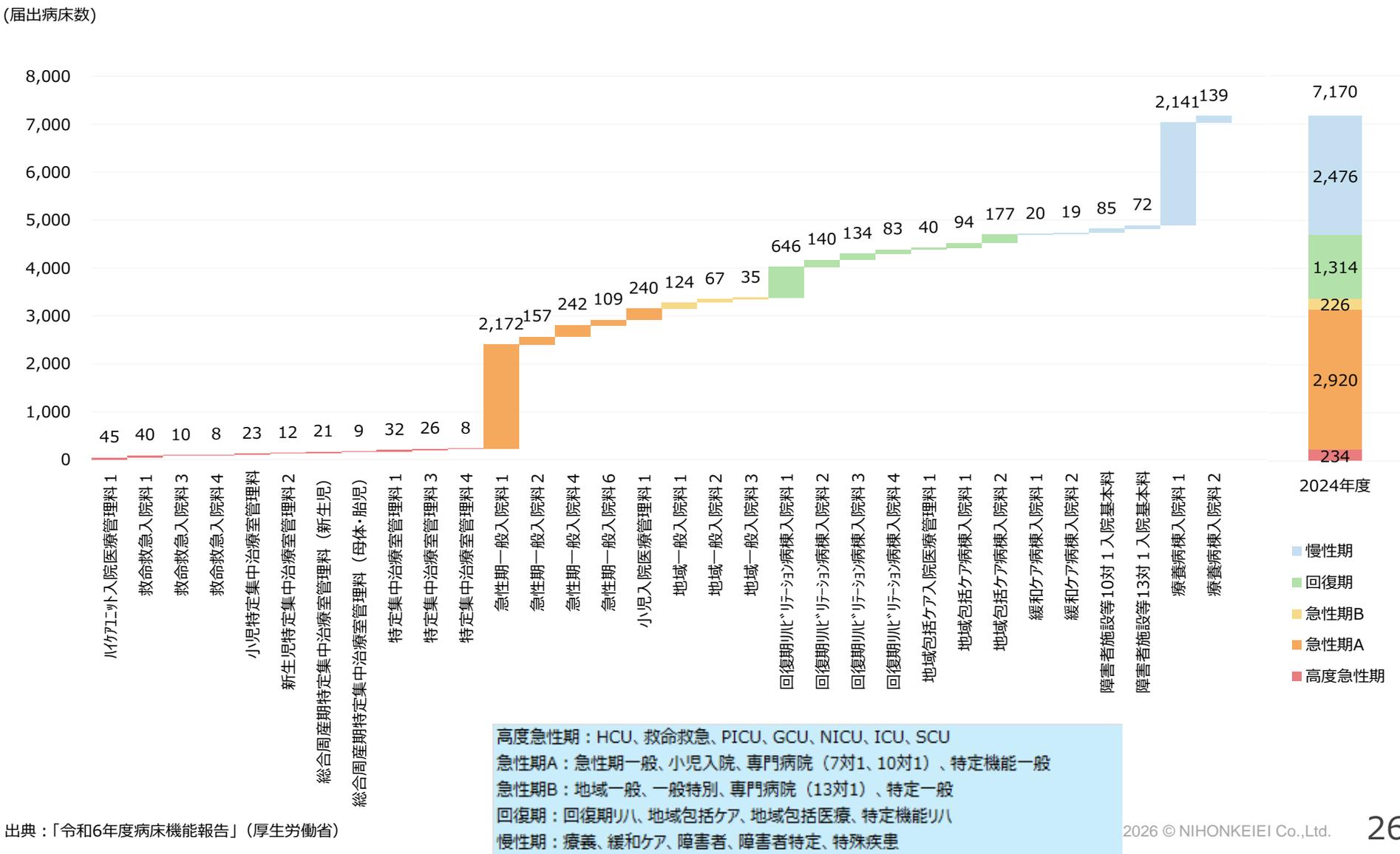
# 泉州医療圏 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 泉州医療圏 | 入院料別届出病床数 (病院のみ/入院基本料に基づく機能分類)

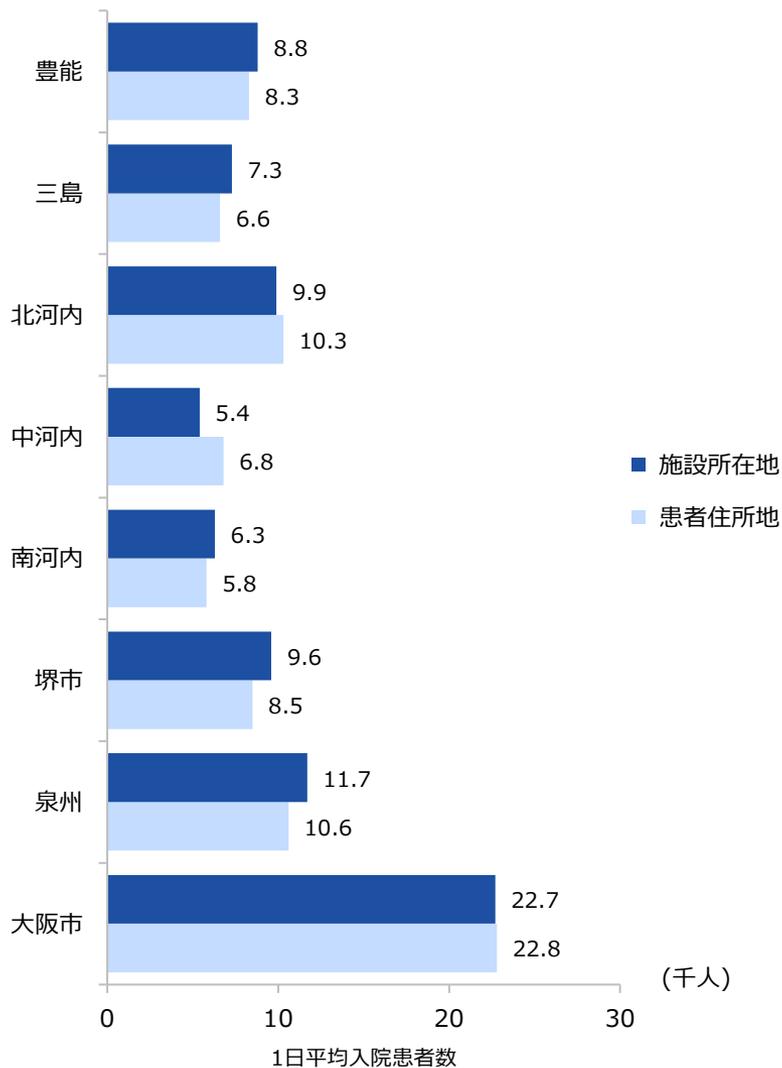
当該医療圏の入院料別の届出病床数を整理しています。  
それぞれの病床機能に適した入院料の病床数が多いか確認できます。



# 大阪府 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

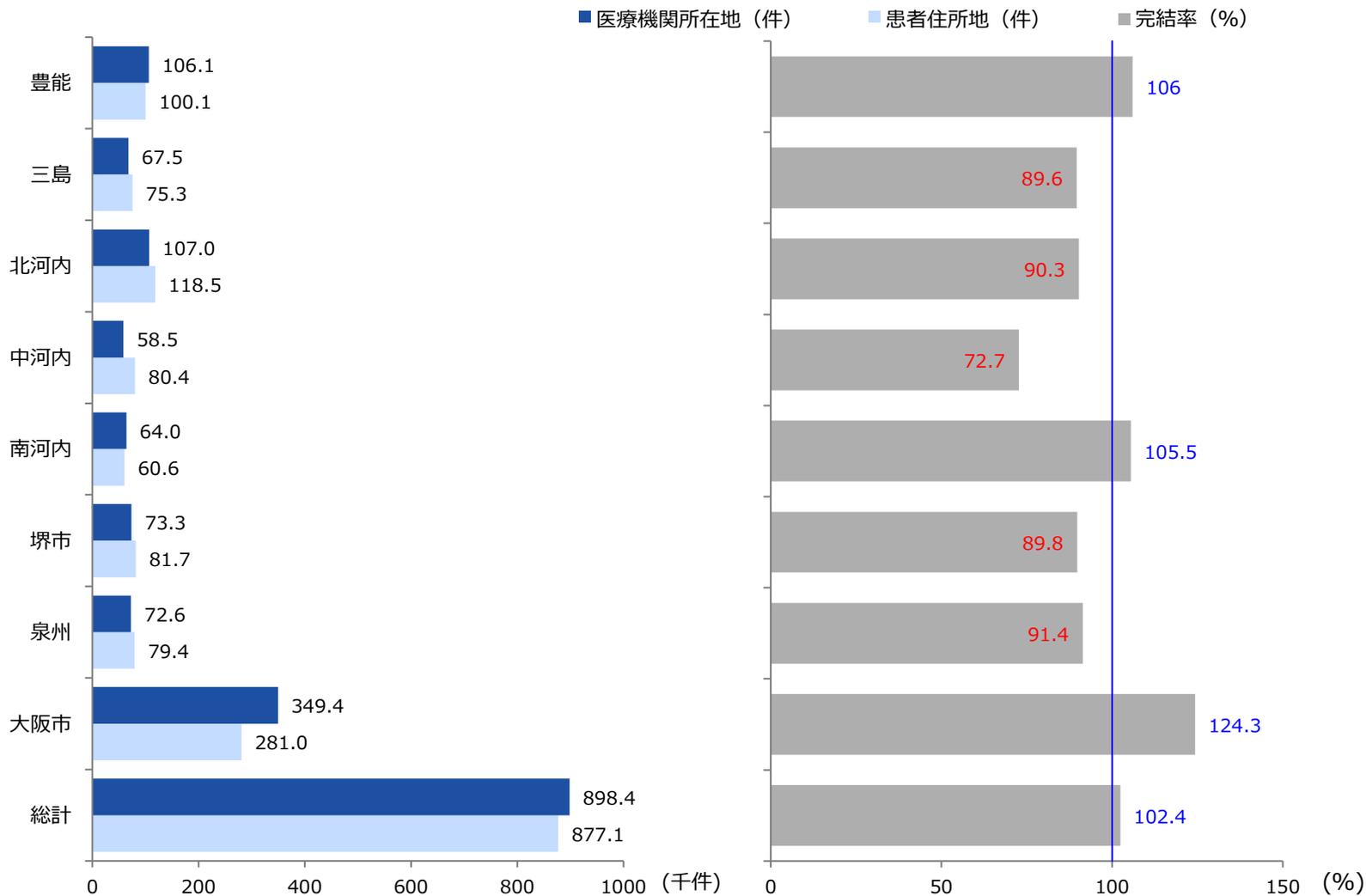
左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



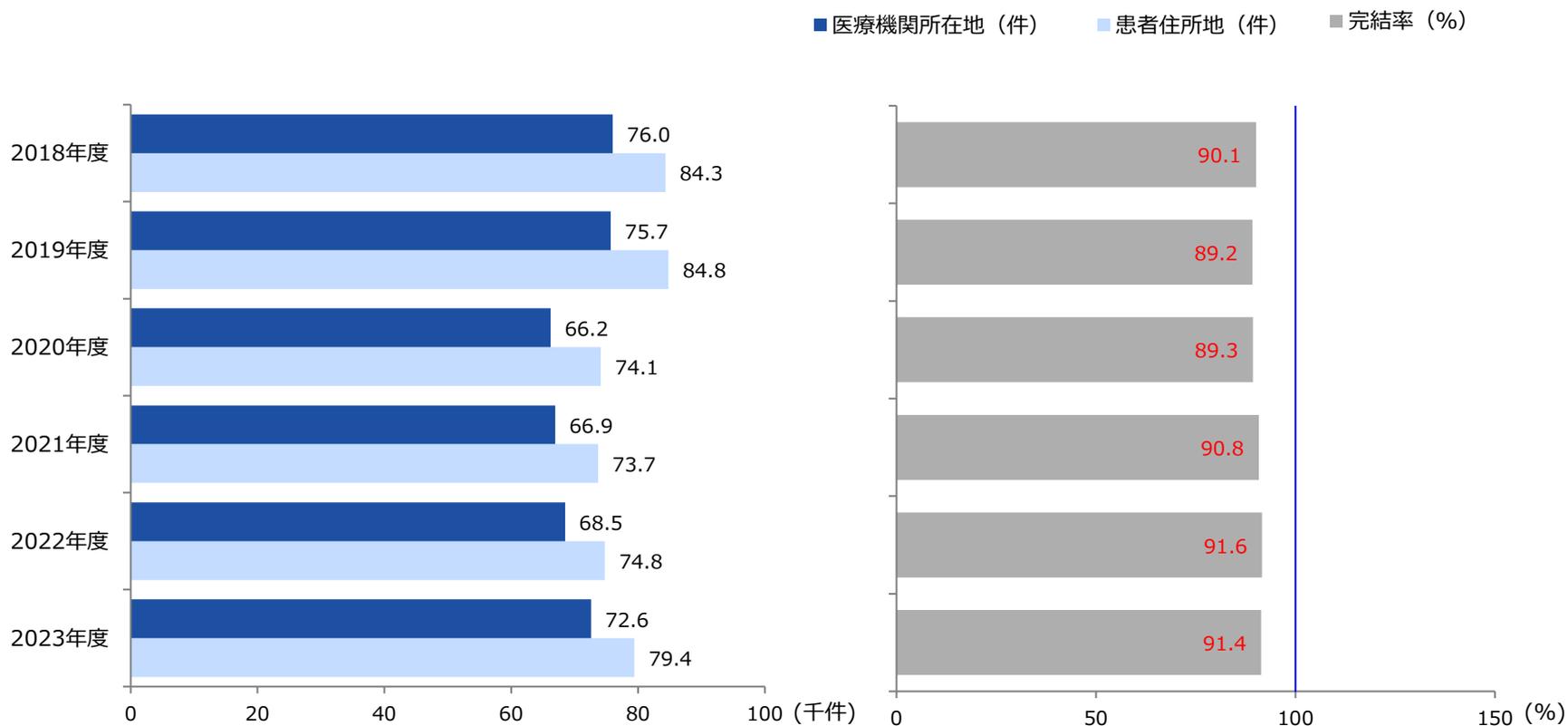
傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.1	0.1	0
II 新生物	0.9	1.1	▲0.2
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.3	0.3	0
V 精神	4.1	2.8	1.3
VI 神経系	1.4	1.3	0.1
VII 眼	0	0.1	▲0.1
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	1.2	1.3	▲0.1
X 呼吸器	0.7	0.7	0
X I 消化器	0.4	0.5	▲0.1
X II 皮膚	0.1	0.1	0
X III 筋骨格	0.7	0.7	0
X IV 腎尿路	0.3	0.3	0
X V 妊娠, 分娩	0.1	0	0.1
X VI 周産期	0.1	0	0.1
X VII 先天奇形	0.1	0	0.1
X VIII 症状, 徴候	0.2	0.1	0.1
X IX 損傷, 中毒	0.9	0.9	0
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0.1	0.1	0
総数	<b>11.7</b>	<b>10.4</b>	<b>1.3</b>

# 大阪府 | 二次医療圏別の流出入状況 (DPC症例数)



# 泉州医療圏 | 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。

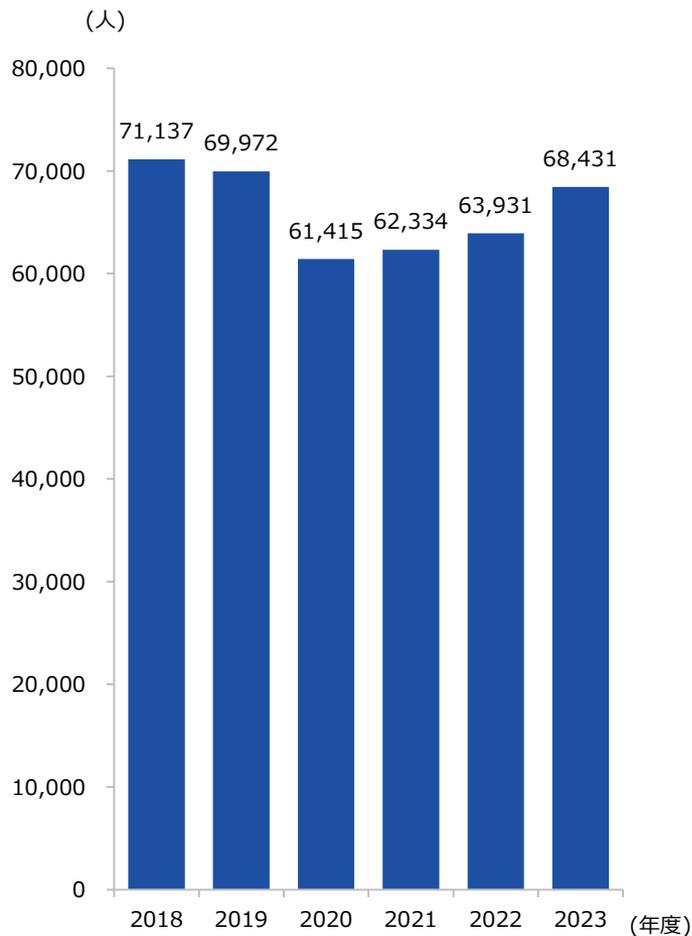


# 泉州医療圏 | MDC別退院患者数の推移（DPC病院のみ）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

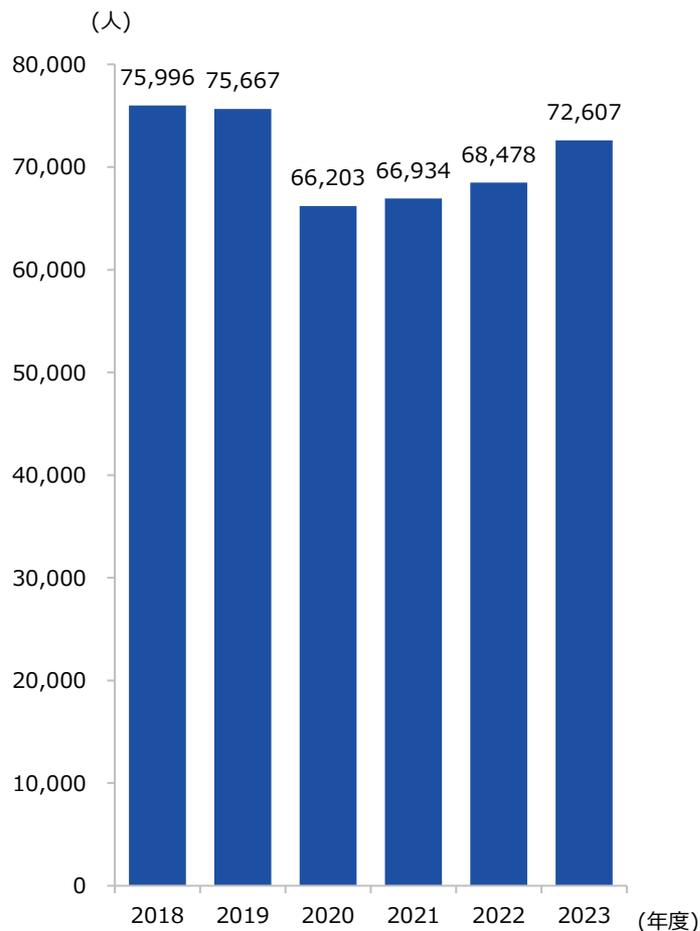
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	4,027	3,996	3,929	3,819	3,825	4,047	0.5%	5.9%
MDC02 眼科系	2,392	2,682	1,309	931	872	1,086	▲54.6%	1.6%
MDC03 耳鼻咽喉科系	2,549	2,493	1,822	1,660	1,690	2,040	▲20.0%	3.0%
MDC04 呼吸器系	9,086	8,861	5,677	6,570	6,892	9,094	0.1%	13.3%
MDC05 循環器系	7,027	6,530	6,420	6,973	7,557	7,336	4.4%	10.7%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	17,266	17,007	15,532	15,505	15,488	15,729	▲8.9%	23.0%
MDC07 筋骨格系	2,668	2,730	2,534	2,616	2,828	3,009	12.8%	4.4%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,204	1,196	954	951	923	1,001	▲16.9%	1.5%
MDC09 乳房	1,016	1,010	764	753	733	778	▲23.4%	1.1%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	1,995	1,865	1,792	1,595	1,573	1,947	▲2.4%	2.8%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	5,095	5,131	4,815	4,947	5,195	5,356	5.1%	7.8%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	5,193	5,066	4,726	4,757	4,654	4,732	▲8.9%	6.9%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	1,830	1,834	2,044	1,937	1,995	2,228	21.7%	3.3%
MDC14 新生児・先天性奇形	3,235	3,086	2,989	3,028	3,239	3,286	1.6%	4.8%
MDC15 小児	282	260	174	219	234	217	▲23.0%	0.3%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	5,046	4,881	4,543	4,725	4,937	5,047	0.0%	7.4%
MDC17 精神	79	81	106	107	118	91	15.2%	0.1%
MDC18 その他	1,147	1,263	1,285	1,241	1,178	1,407	22.7%	2.1%
総計	71,137	69,972	61,415	62,334	63,931	68,431	▲3.8%	100.0%

# 泉州医療圏 | MDC別退院患者数の推移（出来高病院含む）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	4,195	4,102	4,033	3,928	3,913	4,138	▲1.4%	5.7%
MDC02 眼科系	2,743	3,117	1,635	1,279	1,171	1,417	▲48.3%	2.0%
MDC03 耳鼻咽喉科系	2,639	2,580	1,863	1,827	1,883	2,325	▲11.9%	3.2%
MDC04 呼吸器系	9,666	9,608	5,985	6,882	7,146	9,388	▲2.9%	12.9%
MDC05 循環器系	7,571	7,343	7,258	7,710	8,162	7,495	▲1.0%	10.3%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	18,039	17,907	16,234	16,162	16,256	16,415	▲9.0%	22.6%
MDC07 筋骨格系	2,863	2,991	2,826	2,880	3,181	3,353	17.1%	4.6%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,254	1,258	1,009	1,012	972	1,067	▲14.9%	1.5%
MDC09 乳房	1,034	1,014	769	757	736	779	▲24.7%	1.1%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	2,180	2,095	2,066	1,801	1,762	2,124	▲2.6%	2.9%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	5,406	5,469	5,131	5,269	5,540	5,717	5.8%	7.9%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	5,921	5,774	5,436	5,411	5,242	5,300	▲10.5%	7.3%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	1,886	1,908	2,086	1,975	2,047	2,293	21.6%	3.2%
MDC14 新生児、先天性奇形	3,452	3,289	3,195	3,199	3,397	3,401	▲1.5%	4.7%
MDC15 小児	282	260	174	219	234	217	▲23.0%	0.3%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	5,566	5,474	5,027	5,212	5,459	5,624	1.0%	7.7%
MDC17 精神	84	97	115	113	124	99	17.9%	0.1%
MDC18 その他	1,215	1,381	1,361	1,298	1,253	1,455	19.8%	2.0%
総計	75,996	75,667	66,203	66,934	68,478	72,607	▲4.5%	100.0%

## 3/ 医療需要の将来推計

---

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。  
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

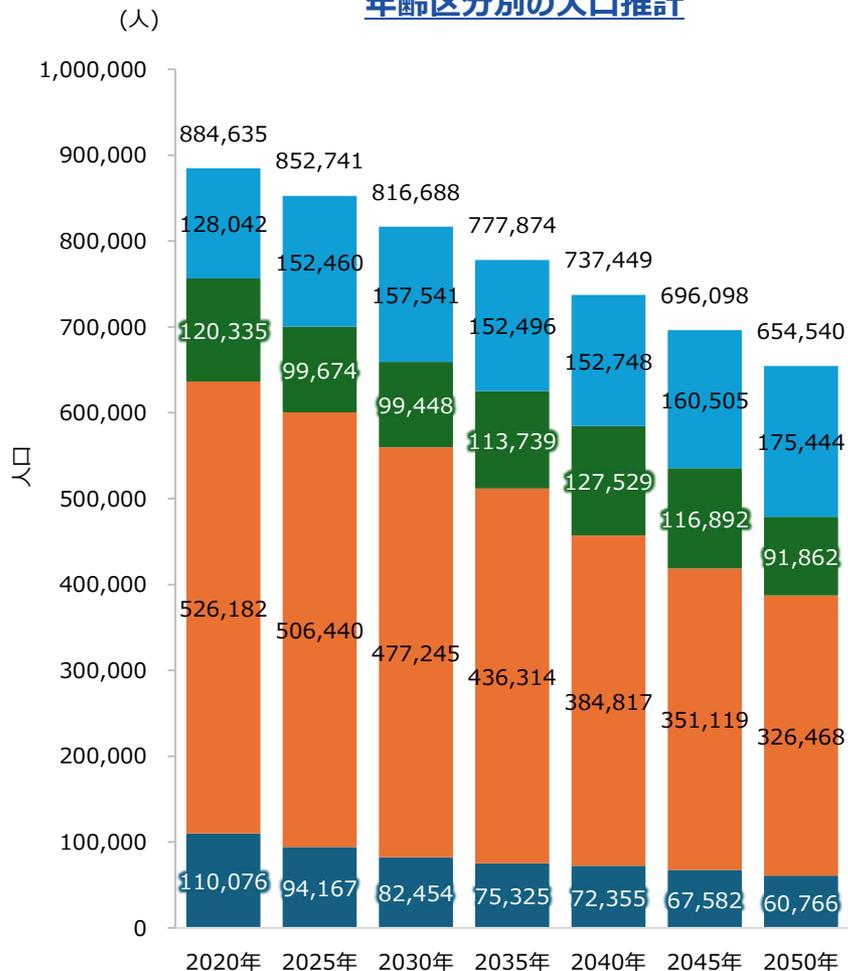
# 泉州医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

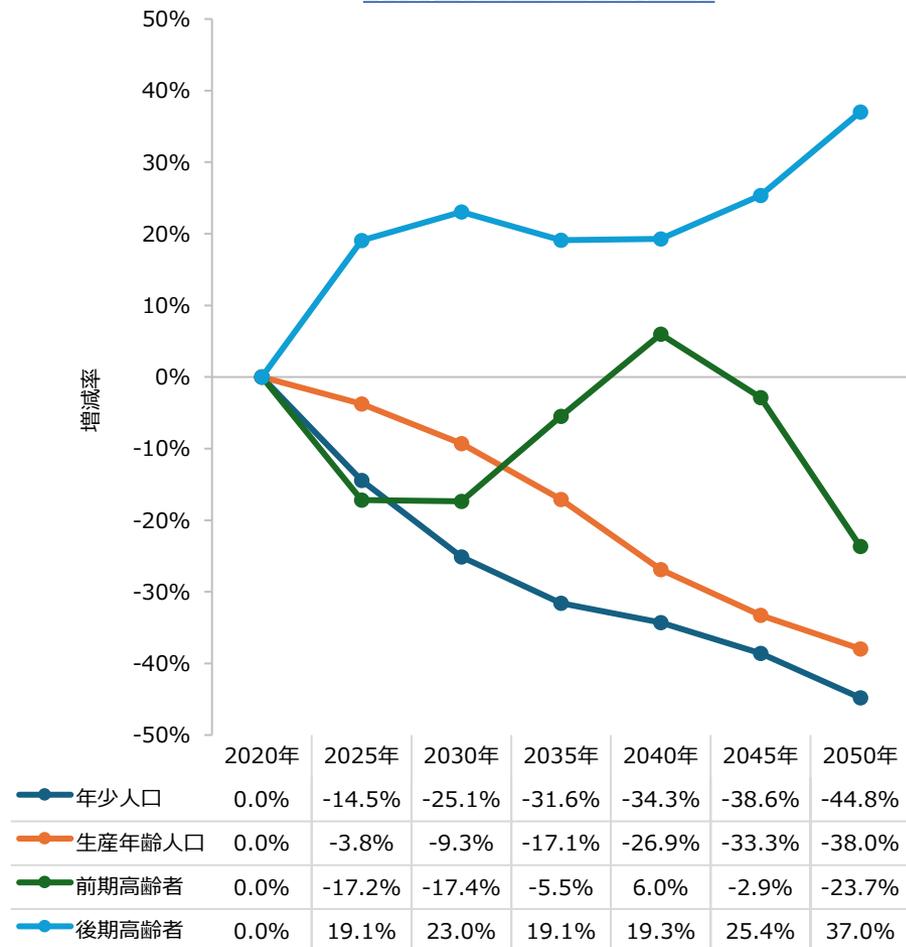
多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。

### 年齢区分別の人口推計



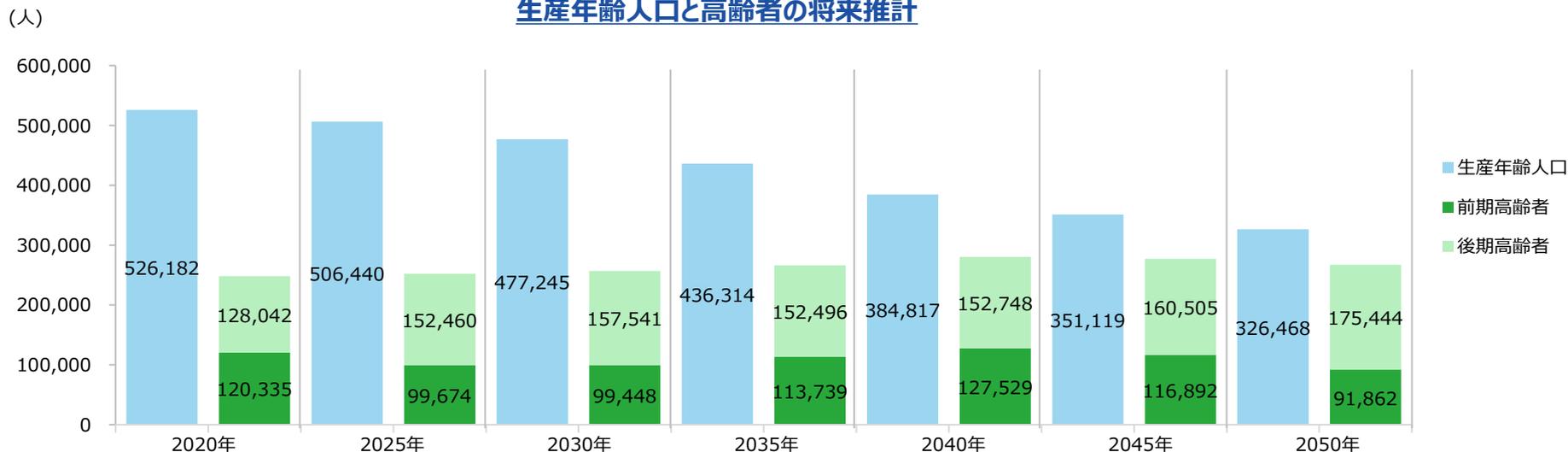
### 年齢区分別の人口増減率



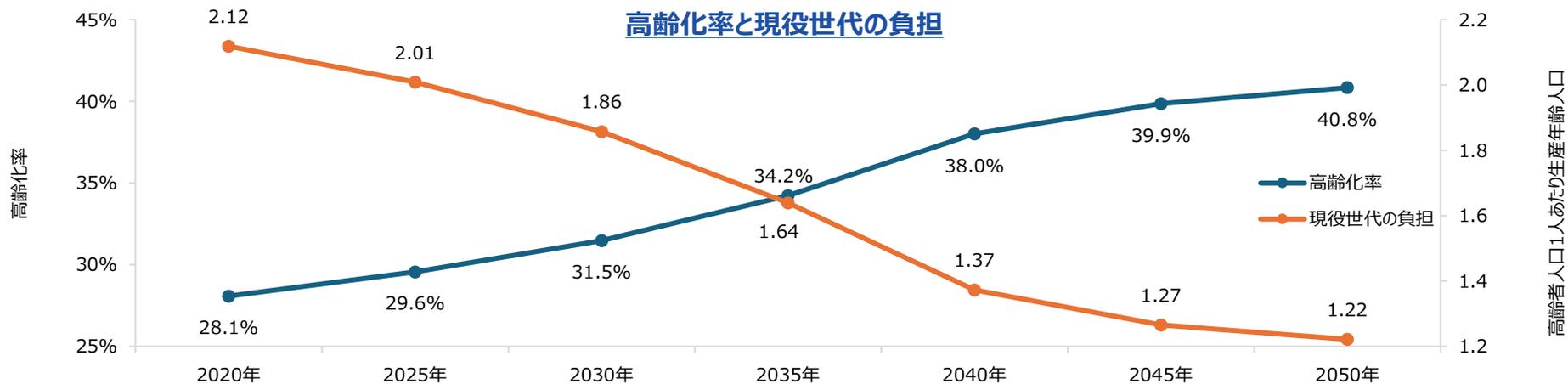
# 泉州医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。  
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

### 生産年齢人口と高齢者の将来推計



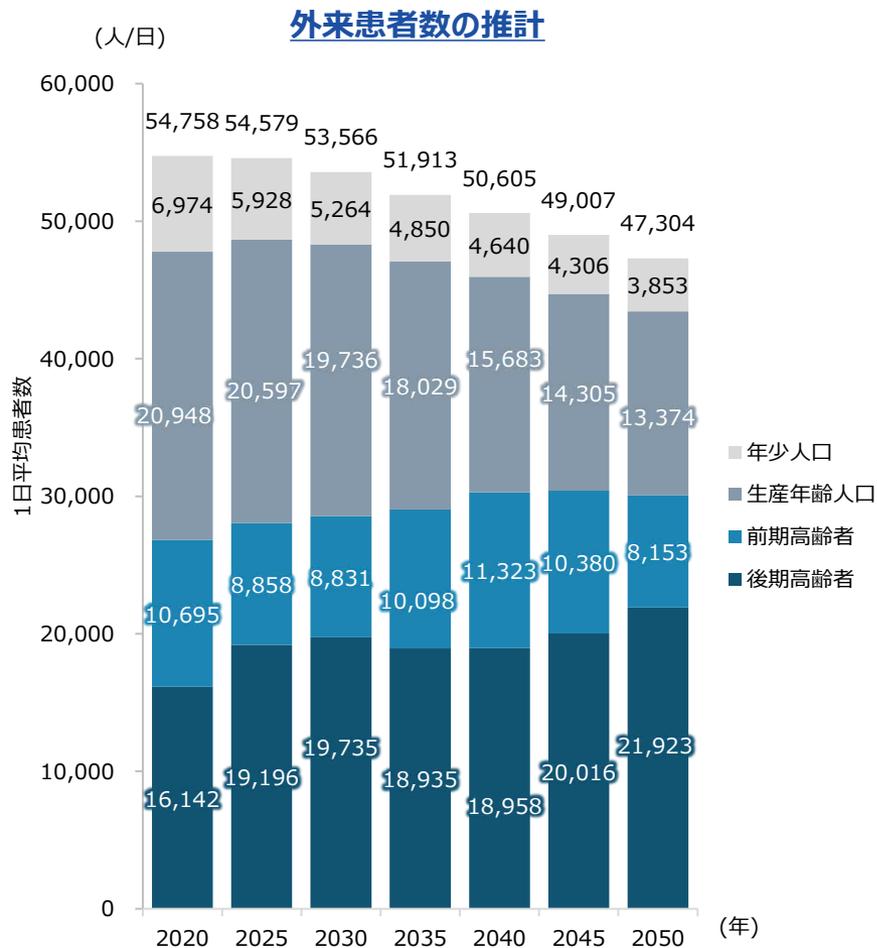
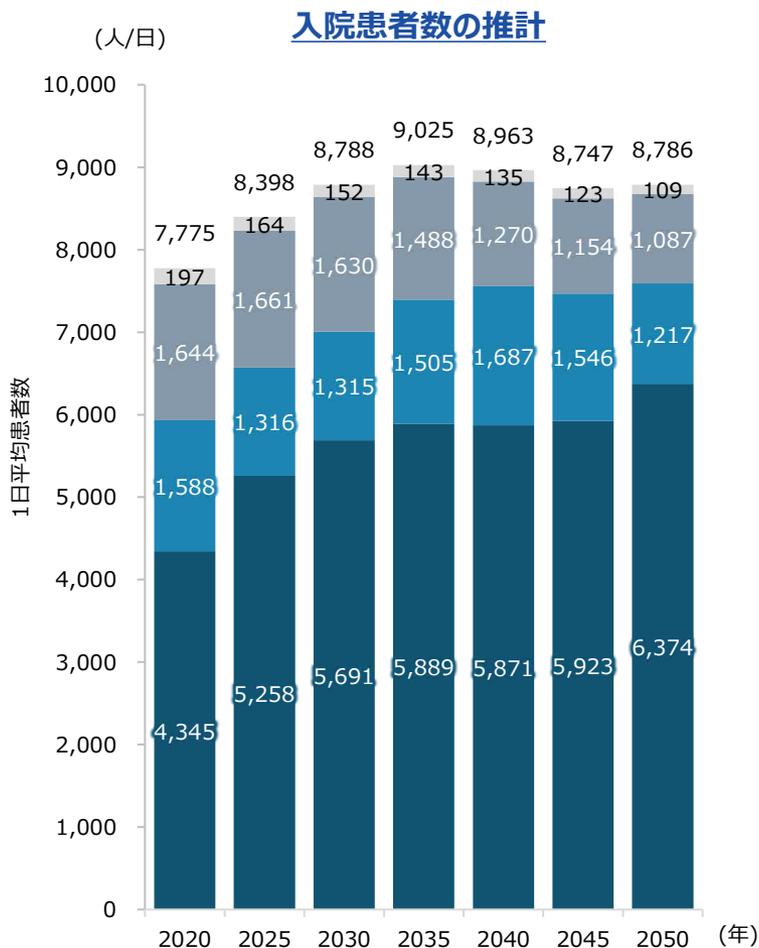
### 高齢化率と現役世代の負担



# 泉州医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

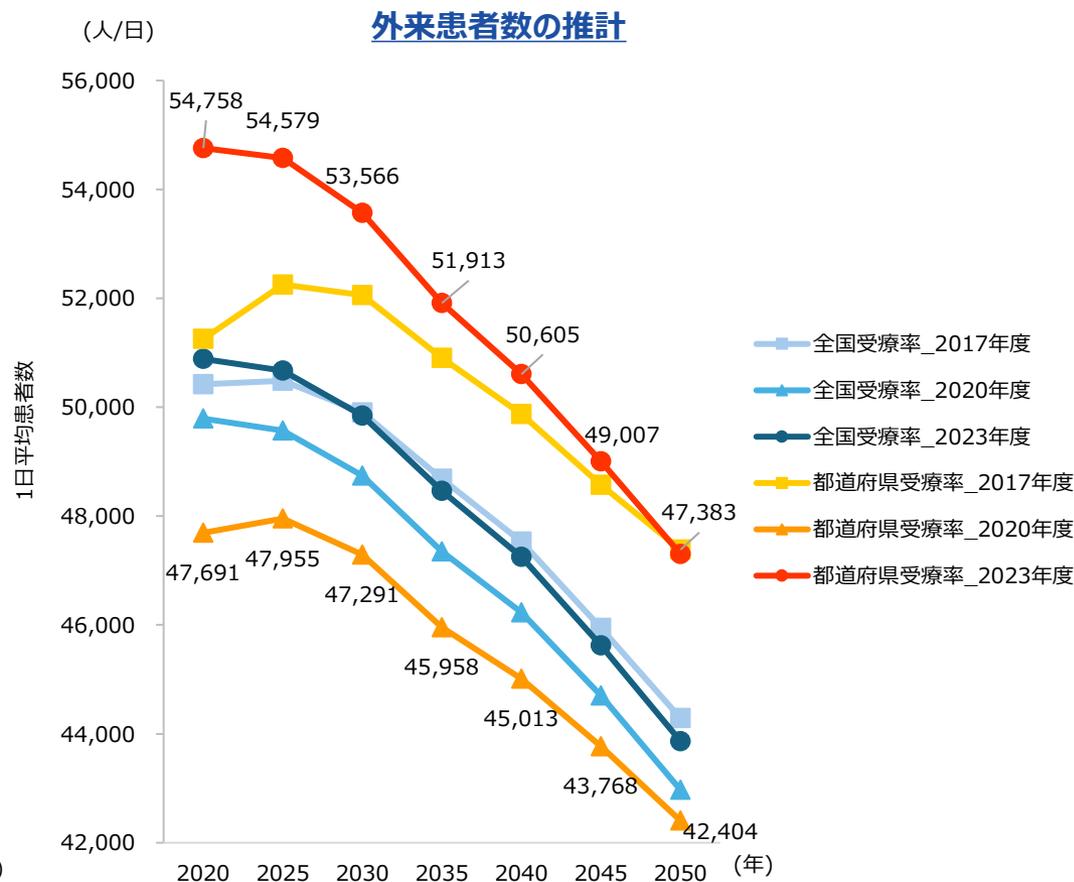
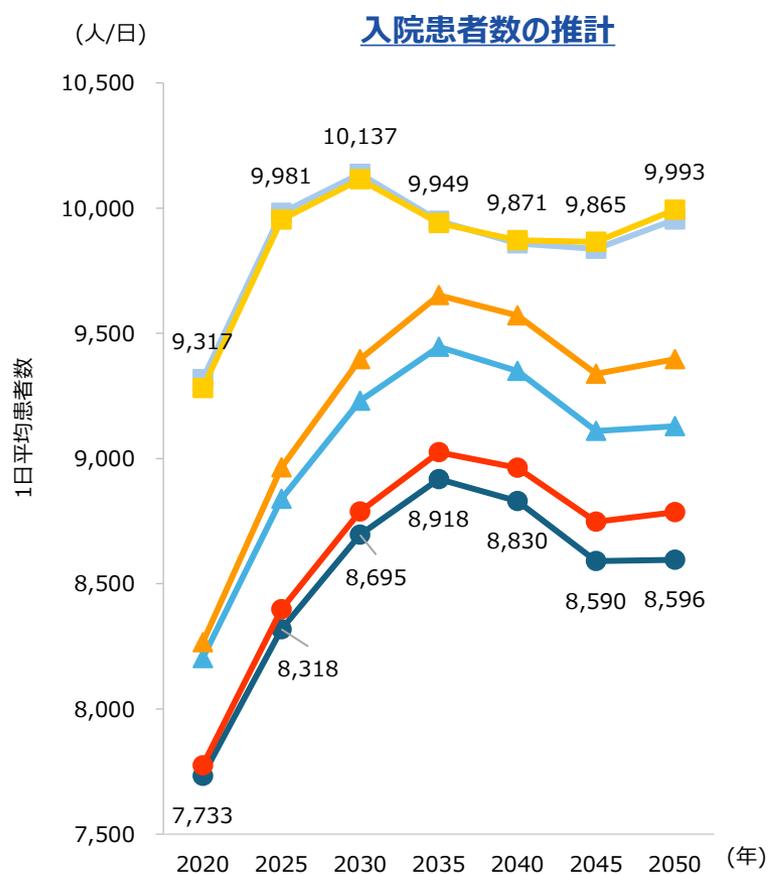
多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。



# 泉州医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



# 泉州医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	110	118	123	125	124	121	122
II 新生物<腫瘍>	845	877	887	883	885	874	860
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	44	46	48	49	49	47	47
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	211	231	244	255	253	246	248
V 精神及び行動の障害	1,207	1,236	1,246	1,232	1,199	1,157	1,118
VI 神経系の疾患	664	728	762	778	774	763	777
VII 眼及び付属器の疾患	89	92	92	91	93	92	91
VIII 耳及び乳様突起の疾患	14	14	14	13	12	12	12
IX 循環器系の疾患	1,274	1,420	1,519	1,591	1,588	1,551	1,576
X 呼吸器系の疾患	580	658	712	756	753	734	758
X I 消化器系の疾患	393	420	435	441	438	430	430
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	85	93	100	104	102	99	100
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	574	627	659	679	681	668	673
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	322	357	378	391	390	383	391
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	78	73	71	67	63	56	48
X VI 周産期に発生した病態	59	48	46	45	42	37	32
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	37	33	32	30	29	26	24
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	166	186	202	216	216	210	213
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	881	978	1,044	1,093	1,088	1,060	1,078
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	39	41	42	44	43	41	40
X X II 特殊目的用コード	108	125	137	145	145	142	148
総数	7,779	8,402	8,793	9,029	8,967	8,750	8,789

# 泉州医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	110	7.7%	11.8%	13.7%	12.7%	10.5%	11.4%
II 新生物<腫瘍>	845	3.8%	5.0%	4.5%	4.8%	3.4%	1.8%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	44	6.4%	11.0%	12.8%	11.4%	8.2%	7.5%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	211	9.4%	15.6%	20.6%	19.8%	16.5%	17.5%
V 精神及び行動の障害	1,207	2.5%	3.3%	2.1%	-0.6%	-4.2%	-7.3%
VI 神経系の疾患	664	9.8%	14.8%	17.2%	16.6%	15.0%	17.1%
VII 眼及び付属器の疾患	89	3.8%	4.2%	3.0%	4.4%	4.2%	3.0%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	14	1.7%	-1.4%	-7.6%	-12.4%	-14.3%	-15.2%
IX 循環器系の疾患	1,274	11.4%	19.2%	24.8%	24.6%	21.7%	23.7%
X 呼吸器系の疾患	580	13.4%	22.7%	30.4%	29.8%	26.6%	30.6%
X I 消化器系の疾患	393	7.0%	10.6%	12.3%	11.6%	9.3%	9.5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	85	10.1%	17.5%	22.3%	20.7%	17.0%	18.3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	574	9.1%	14.7%	18.3%	18.5%	16.3%	17.2%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	322	10.7%	17.1%	21.4%	21.0%	18.9%	21.4%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	78	-5.7%	-8.2%	-13.3%	-19.6%	-28.5%	-38.5%
X VI 周産期に発生した病態	59	-18.4%	-21.0%	-23.4%	-28.5%	-36.2%	-44.5%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	37	-10.6%	-13.9%	-17.9%	-23.0%	-29.2%	-35.8%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	166	12.2%	21.7%	29.9%	30.0%	26.3%	28.5%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	881	11.0%	18.4%	24.1%	23.5%	20.3%	22.4%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	39	3.4%	7.8%	12.9%	10.5%	3.9%	1.1%
X X II 特殊目的用コード	108	16.1%	26.7%	34.5%	34.2%	31.8%	37.3%
総数	7,779	8.0%	13.0%	16.1%	15.3%	12.5%	13.0%

# 泉州医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

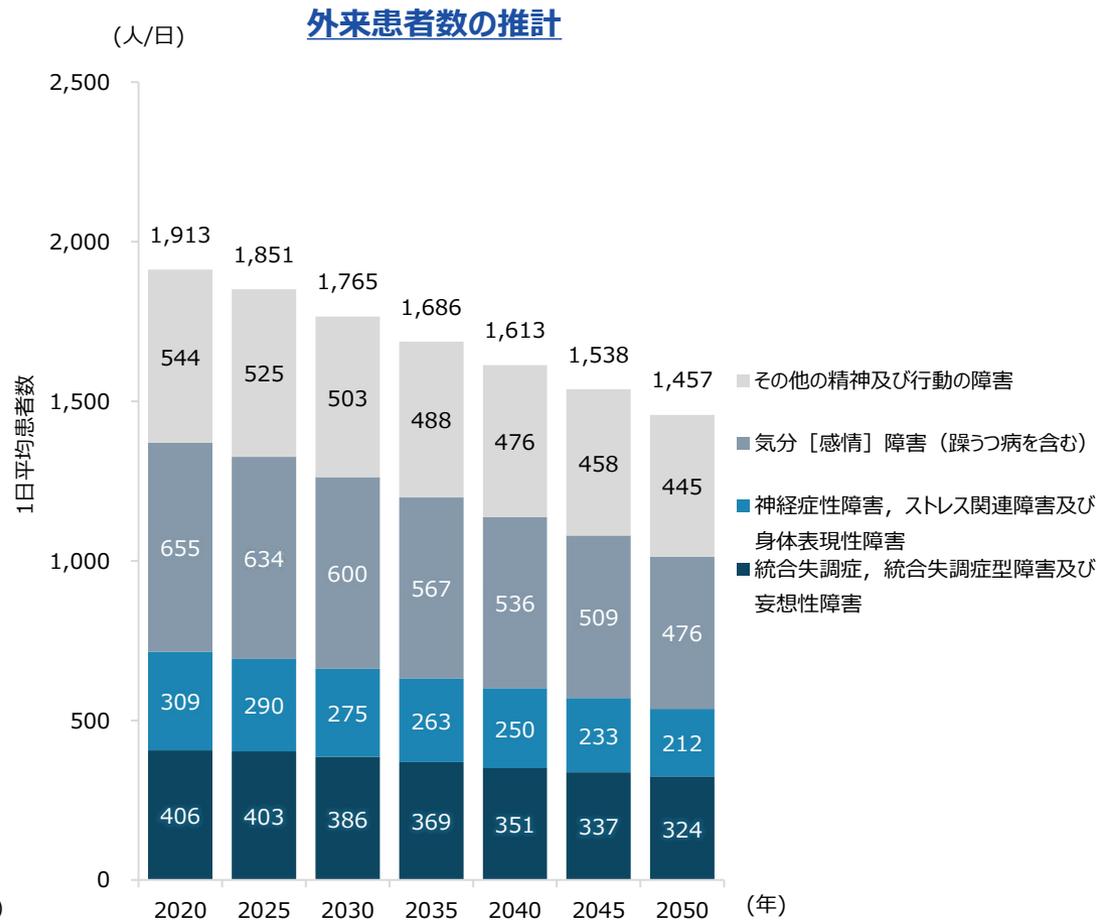
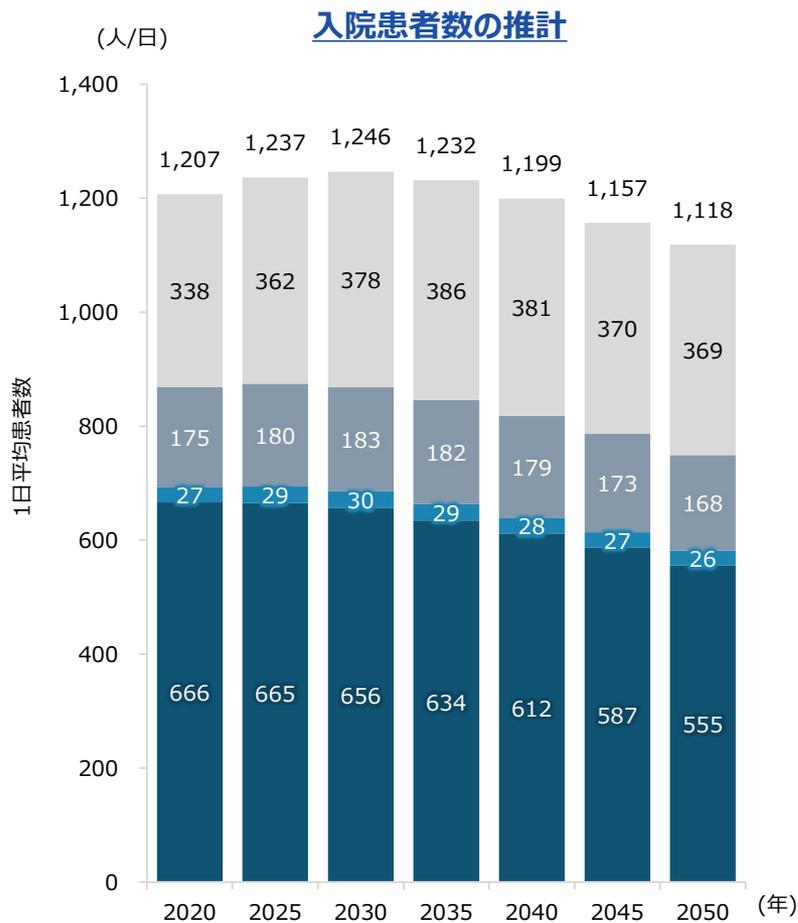
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	952	913	874	819	774	737	699
II 新生物<腫瘍>	1,925	1,963	1,962	1,931	1,913	1,870	1,816
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	102	97	89	84	82	80	76
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,292	3,364	3,346	3,270	3,250	3,202	3,116
V 精神及び行動の障害	1,913	1,851	1,765	1,686	1,613	1,537	1,457
VI 神経系の疾患	1,188	1,222	1,240	1,249	1,223	1,171	1,137
VII 眼及び付属器の疾患	2,021	2,045	2,021	1,953	1,891	1,831	1,774
VIII 耳及び乳様突起の疾患	672	653	643	637	620	590	568
IX 循環器系の疾患	6,664	7,040	7,180	7,159	7,203	7,153	7,112
X 呼吸器系の疾患	5,269	4,830	4,505	4,241	4,028	3,773	3,487
X I 消化器系の疾患	10,783	10,624	10,252	9,767	9,366	8,997	8,582
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,260	2,160	2,054	1,951	1,860	1,770	1,674
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,898	5,116	5,160	5,082	5,067	5,013	4,949
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	2,273	2,316	2,286	2,215	2,144	2,083	2,037
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	92	86	83	79	74	66	57
X VI 周産期に発生した病態	28	24	22	21	19	18	16
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	160	139	125	116	111	103	93
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	677	683	682	681	676	654	632
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,743	1,734	1,684	1,605	1,531	1,474	1,423
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,354	7,291	7,188	6,988	6,805	6,562	6,311
X X II 特殊目的用コード	490	428	401	377	352	322	288
総数	54,757	54,577	53,564	51,911	50,603	49,005	47,303

# 泉州医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	952	-4.1%	-8.2%	-14.0%	-18.7%	-22.6%	-26.6%
II 新生物<腫瘍>	1,925	2.0%	1.9%	0.3%	-0.6%	-2.8%	-5.7%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	102	-4.7%	-12.4%	-17.3%	-19.5%	-21.9%	-25.1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,292	2.2%	1.6%	-0.7%	-1.3%	-2.8%	-5.4%
V 精神及び行動の障害	1,913	-3.2%	-7.7%	-11.8%	-15.7%	-19.6%	-23.8%
VI 神経系の疾患	1,188	2.8%	4.4%	5.1%	2.9%	-1.5%	-4.3%
VII 眼及び付属器の疾患	2,021	1.2%	0.0%	-3.4%	-6.4%	-9.4%	-12.2%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	672	-2.9%	-4.3%	-5.3%	-7.8%	-12.2%	-15.6%
IX 循環器系の疾患	6,664	5.6%	7.7%	7.4%	8.1%	7.3%	6.7%
X 呼吸器系の疾患	5,269	-8.3%	-14.5%	-19.5%	-23.6%	-28.4%	-33.8%
X I 消化器系の疾患	10,783	-1.5%	-4.9%	-9.4%	-13.1%	-16.6%	-20.4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,260	-4.4%	-9.1%	-13.7%	-17.7%	-21.7%	-25.9%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,898	4.4%	5.3%	3.7%	3.4%	2.3%	1.0%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	2,273	1.9%	0.6%	-2.5%	-5.6%	-8.4%	-10.4%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	92	-6.8%	-9.7%	-14.0%	-19.4%	-28.0%	-37.9%
X VI 周産期に発生した病態	28	-16.3%	-22.8%	-27.4%	-31.6%	-37.6%	-44.7%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	160	-13.2%	-22.3%	-27.9%	-30.9%	-35.8%	-42.3%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	677	0.9%	0.8%	0.6%	-0.2%	-3.4%	-6.6%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,743	-0.5%	-3.4%	-7.9%	-12.1%	-15.4%	-18.4%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,354	-0.9%	-2.3%	-5.0%	-7.5%	-10.8%	-14.2%
X X II 特殊目的用コード	490	-12.7%	-18.1%	-23.1%	-28.1%	-34.2%	-41.2%
総数	54,757	-0.3%	-2.2%	-5.2%	-7.6%	-10.5%	-13.6%

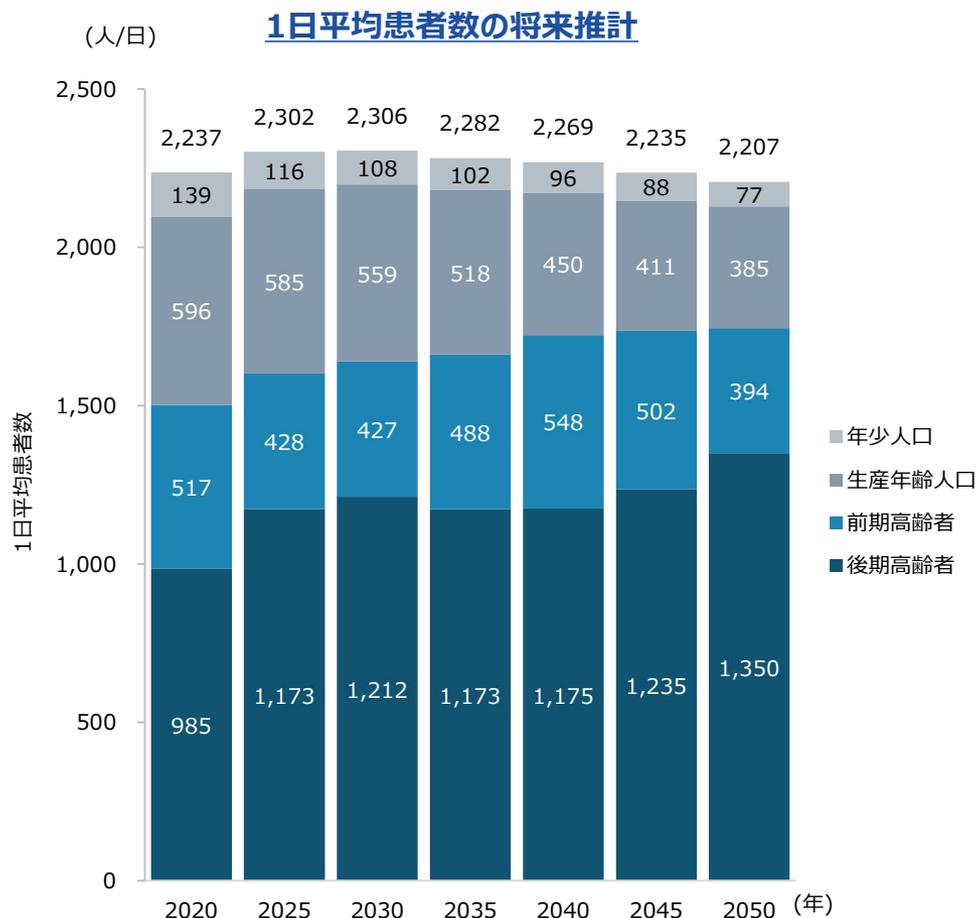
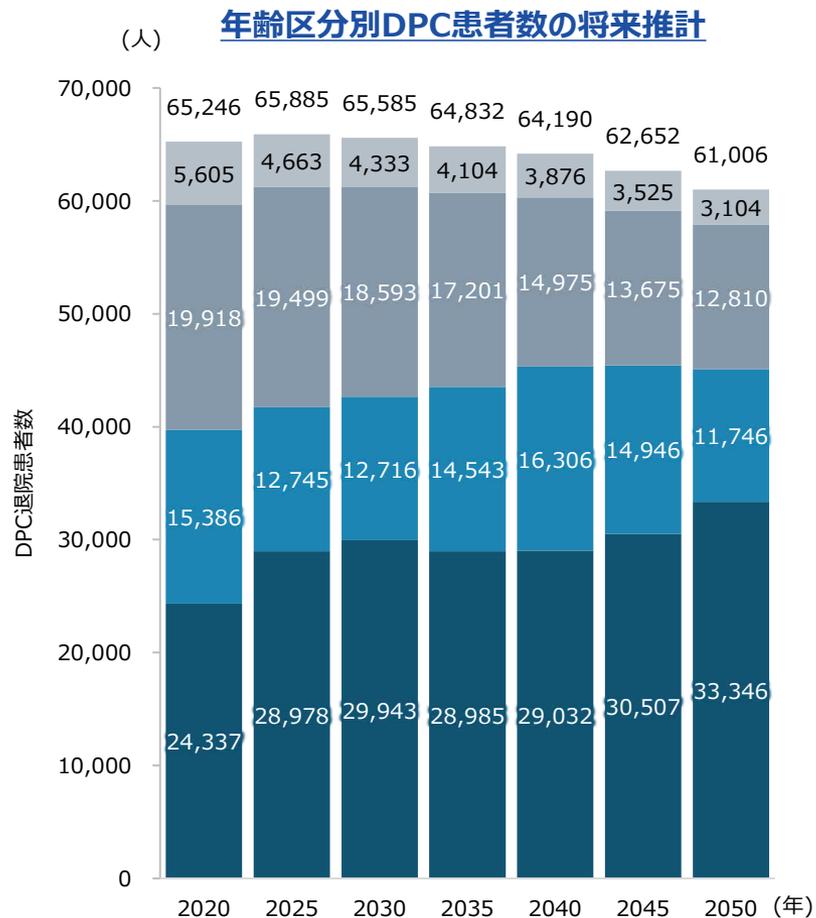
# 泉州医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



# 泉州医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。

多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にありますが、その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。



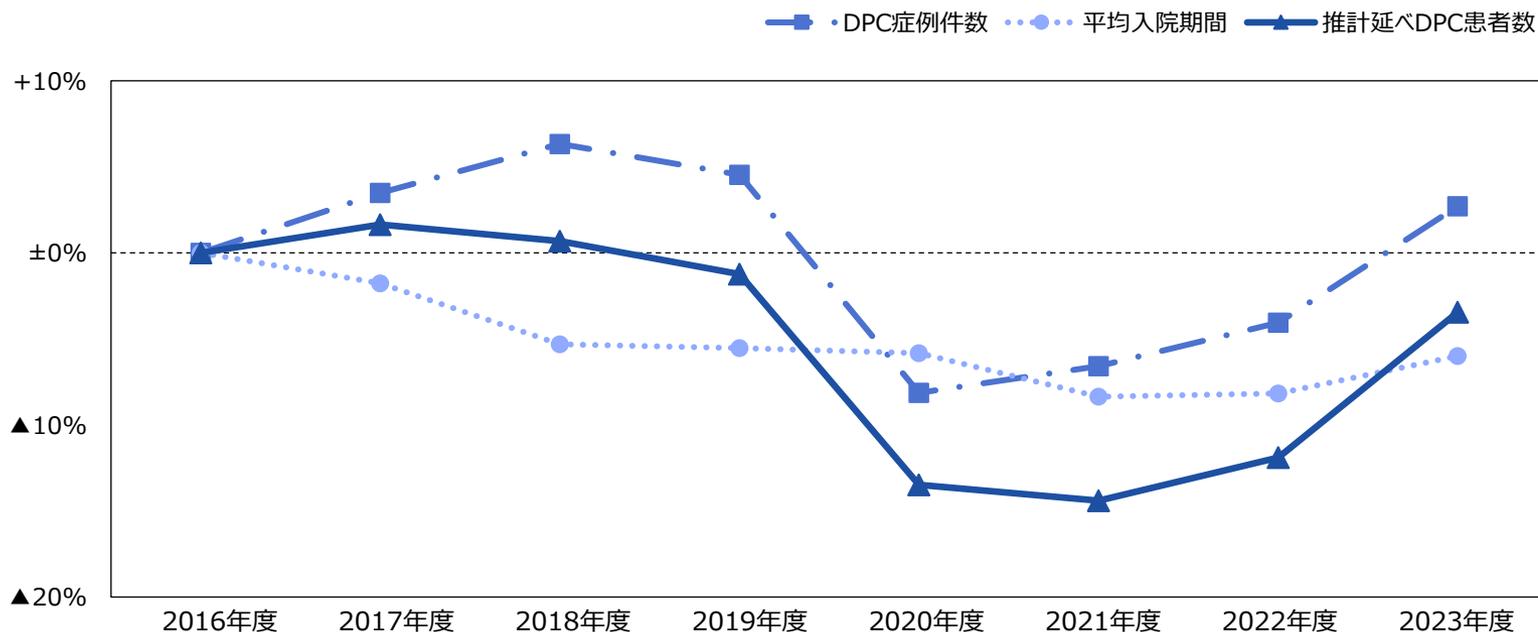
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 参考：泉州医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

## (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



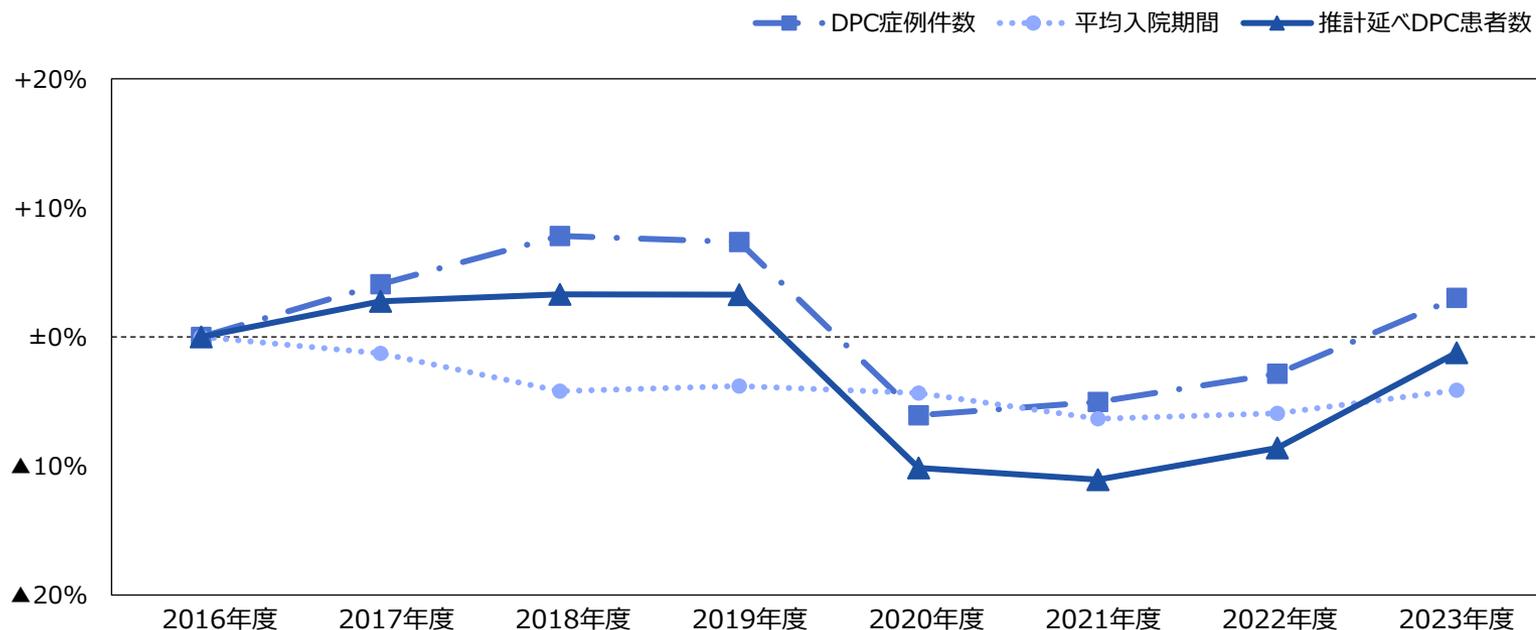
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	15	15	15	15	15	15	15	15
DPC症例件数	66,032	68,333	70,214	69,033	60,661	61,679	63,356	67,816
(2016年比)	-	+3.5%	+6.3%	+4.5%	▲8.1%	▲6.6%	▲4.1%	+2.7%
平均入院期間	11.7	11.5	11.1	11.1	11.0	10.8	10.8	11.0
(2016年比)	-	▲1.8%	▲5.3%	▲5.5%	▲5.8%	▲8.4%	▲8.2%	▲6.0%
推計延べDPC患者数	774,741	787,487	780,036	765,173	670,292	663,171	682,647	747,987
(2016年比)	-	+1.6%	+0.7%	▲1.2%	▲13.5%	▲14.4%	▲11.9%	▲3.5%

# 参考：泉州医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	29	31	38	40	42	47	51	52
DPC症例件数	70,481	73,354	75,996	75,667	66,203	66,934	68,478	72,607
(2016年比)	-	+4.1%	+7.8%	+7.4%	▲6.1%	▲5.0%	▲2.8%	+3.0%
平均入院期間	11.6	11.5	11.1	11.2	11.1	10.9	10.9	11.1
(2016年比)	-	▲1.3%	▲4.2%	▲3.8%	▲4.3%	▲6.3%	▲5.9%	▲4.1%
推計延べDPC患者数	818,626	841,194	845,615	845,489	735,501	728,093	748,290	808,553
(2016年比)	-	+2.8%	+3.3%	+3.3%	▲10.2%	▲11.1%	▲8.6%	▲1.2%

# 参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

## 参考：泉州医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

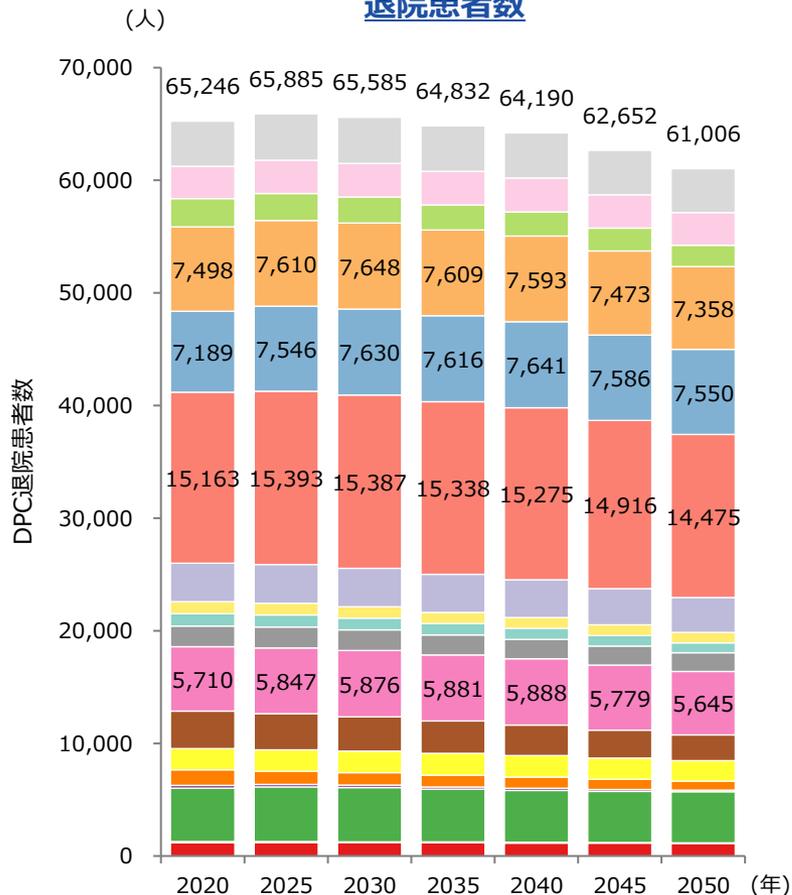
MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	14.33	13.40	13.67	▲6.5%	▲4.6%
02_眼科系	3.93	3.58	2.91	▲8.8%	▲26.0%
03_耳鼻咽喉系	6.49	6.53	6.28	0.6%	▲3.2%
04_呼吸器系	12.83	13.00	12.47	1.3%	▲2.8%
05_循環器系	12.21	11.22	11.59	▲8.2%	▲5.1%
06_消化器系	10.96	9.67	9.34	▲11.8%	▲14.8%
07_筋骨格系	17.72	16.36	15.68	▲7.7%	▲11.5%
08_皮膚・皮下組織	8.00	8.65	8.27	8.1%	3.4%
09_乳房	8.81	8.83	7.57	0.2%	▲14.1%
10_内分泌・栄養・代謝	12.37	11.86	12.16	▲4.1%	▲1.6%
11_腎・尿路系	11.33	11.21	10.31	▲1.0%	▲9.0%
12_女性疾患	9.94	9.18	8.21	▲7.6%	▲17.4%
13_血液系	21.02	20.01	16.42	▲4.8%	▲21.9%
14_新生児	11.32	11.03	11.07	▲2.6%	▲2.2%
15_小児疾患	5.95	8.88	6.66	49.2%	12.0%
16_外傷・熱傷・中毒	13.19	11.98	12.58	▲9.2%	▲4.6%
17_精神疾患	7.17	5.57	9.03	▲22.3%	26.0%
18_その他	16.40	17.56	15.08	7.1%	▲8.1%
全体	11.74	11.11	11.04	▲5.3%	▲5.9%

# 泉州医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

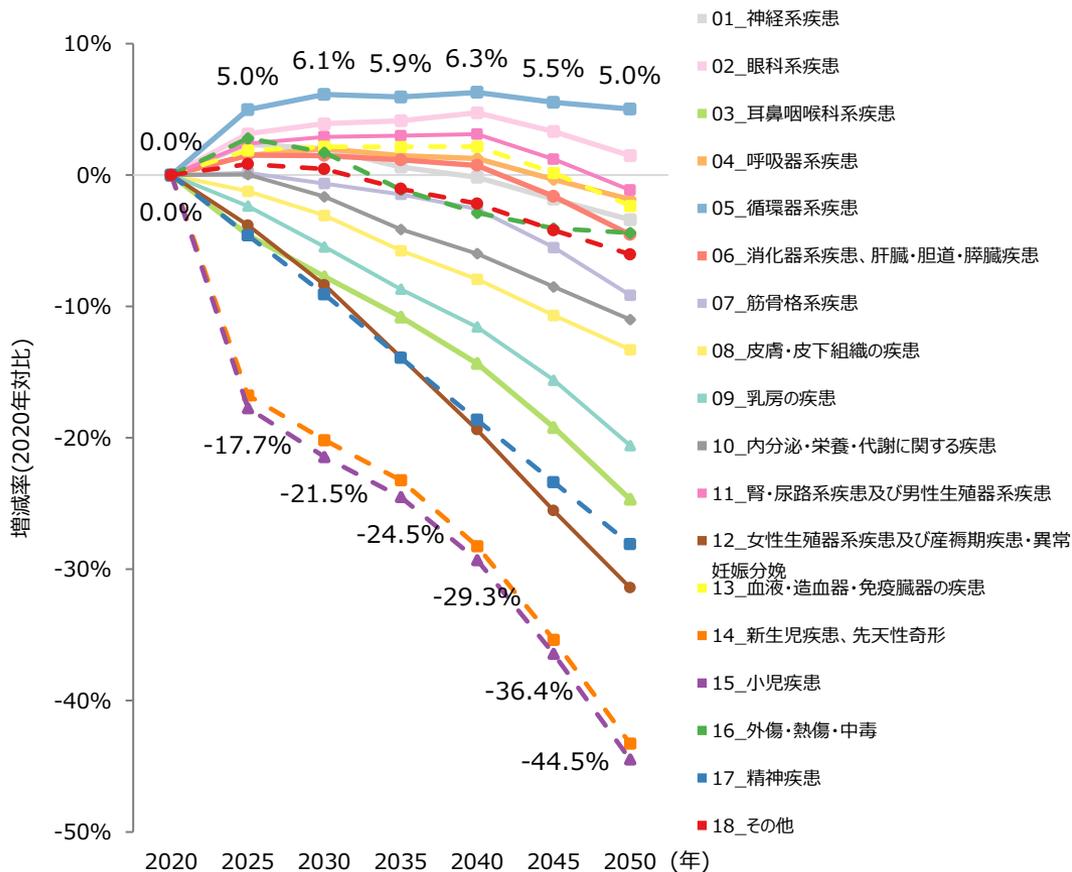
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。

多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。

### 退院患者数



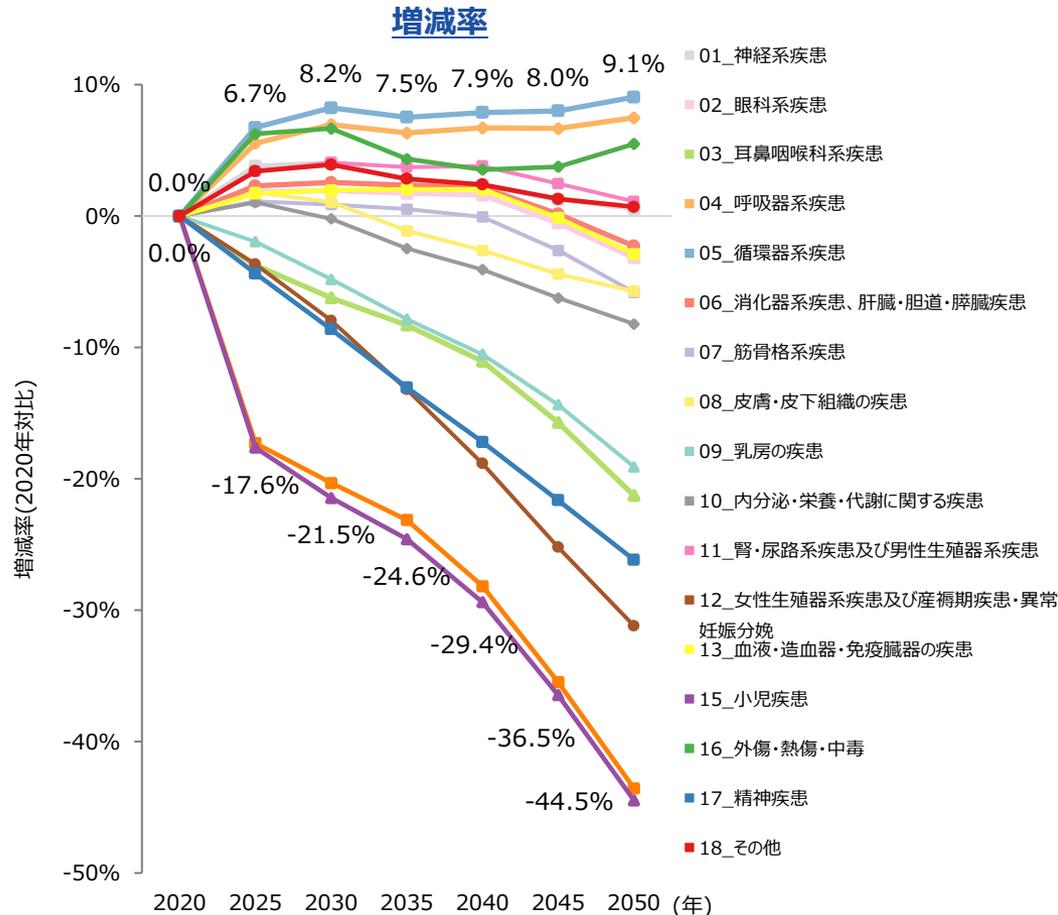
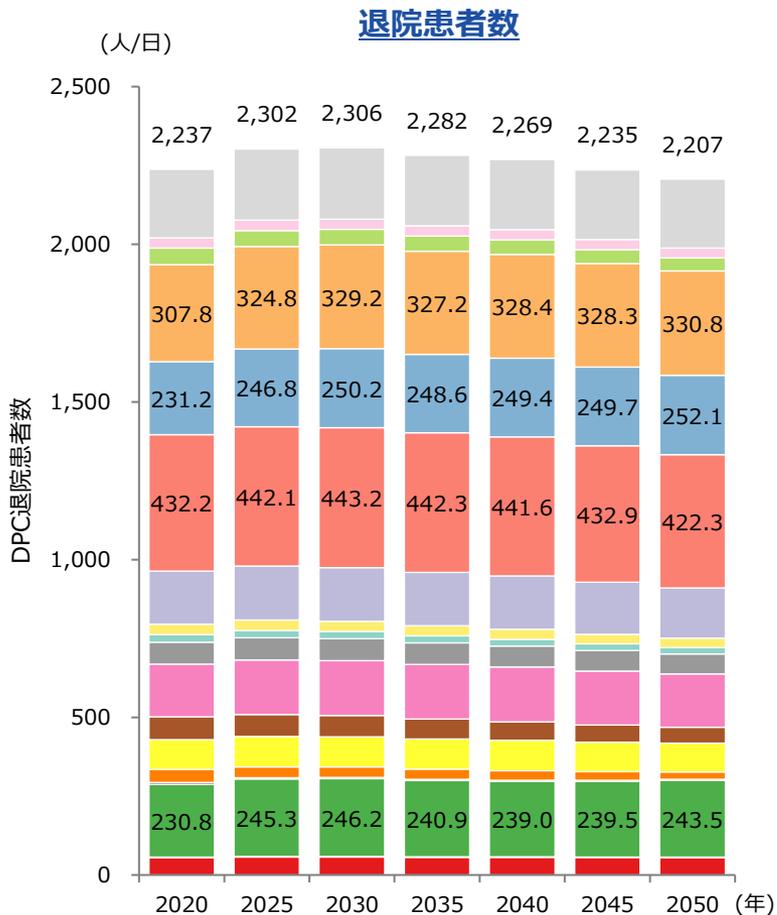
### 増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。

# 泉州医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

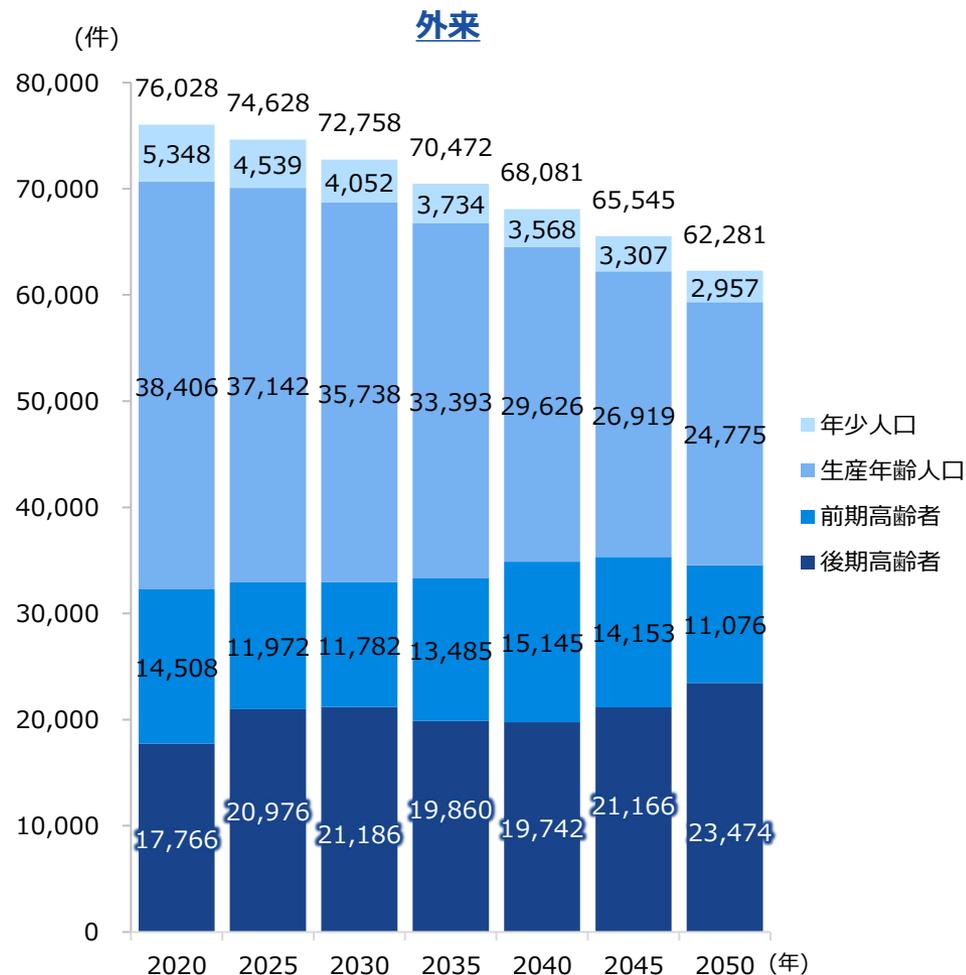
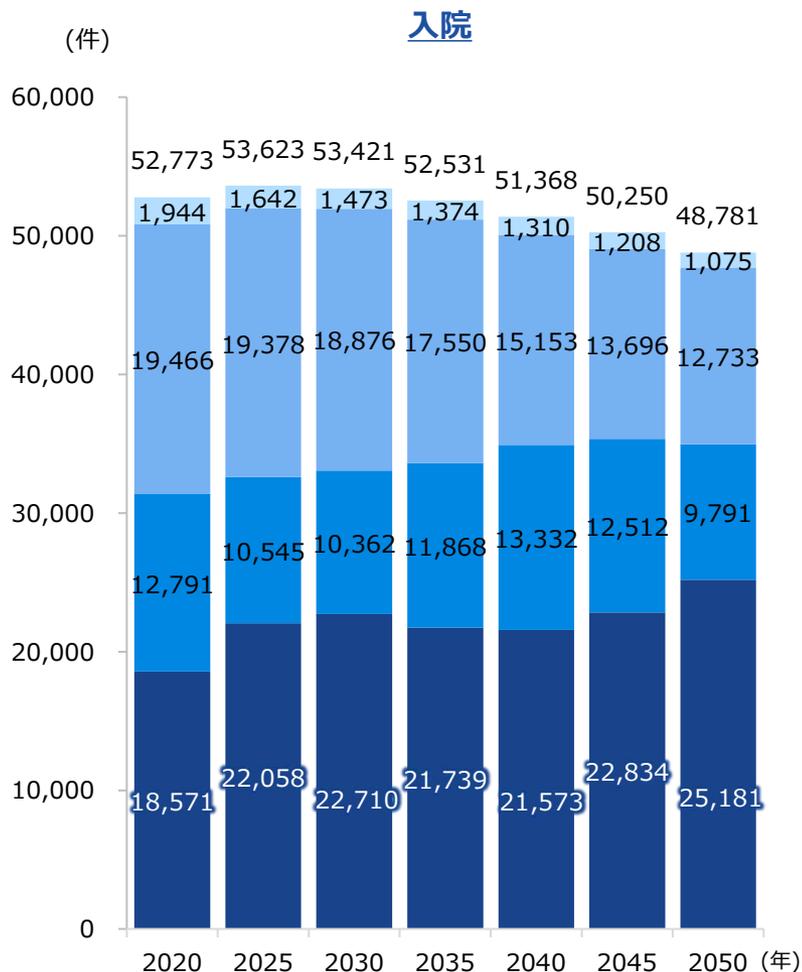
疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 泉州医療圏 | 手術件数の推計

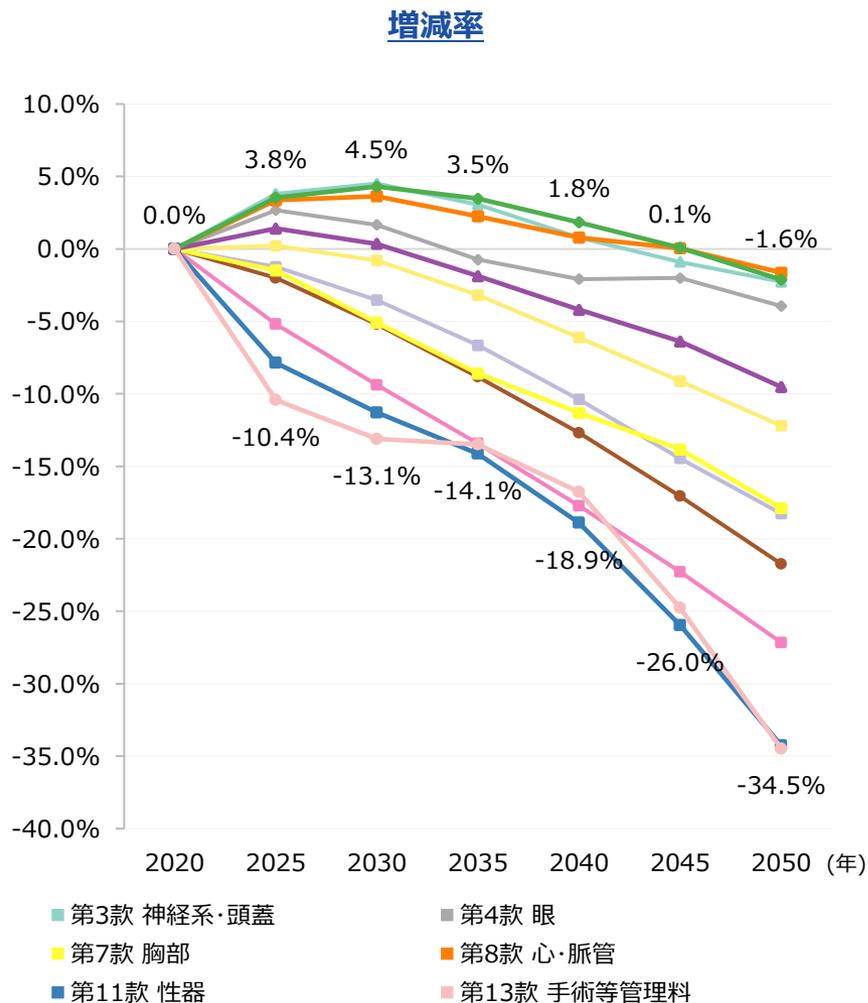
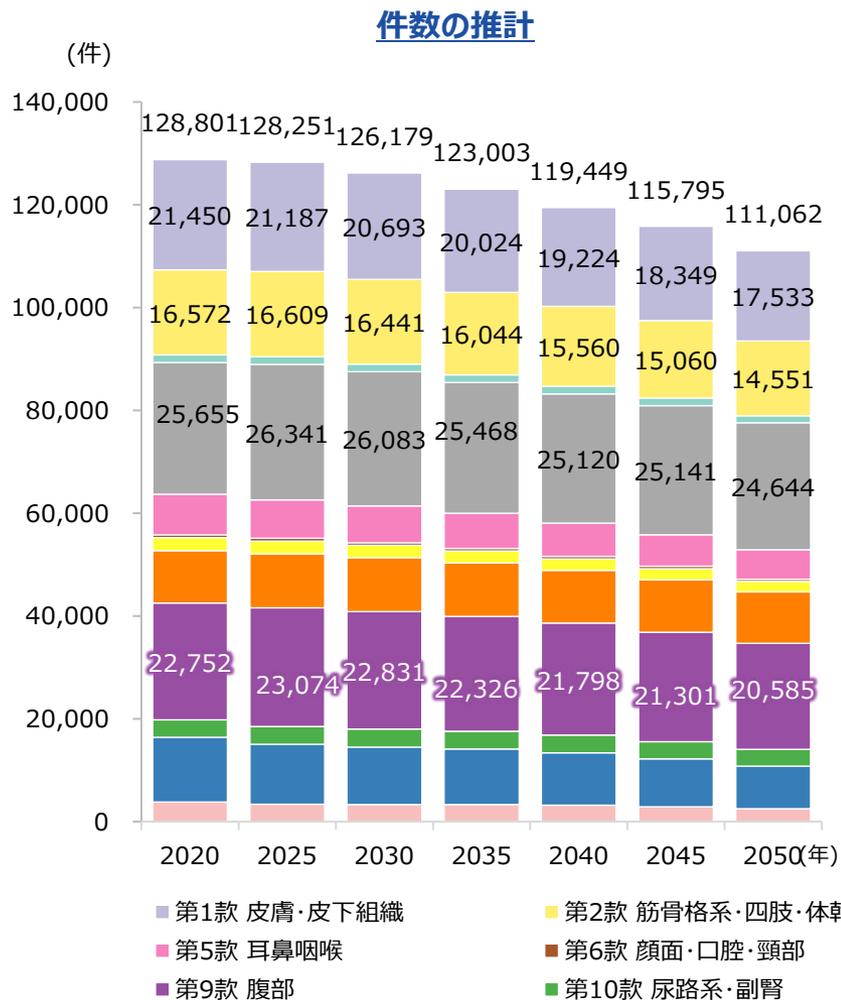
年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 泉州医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。

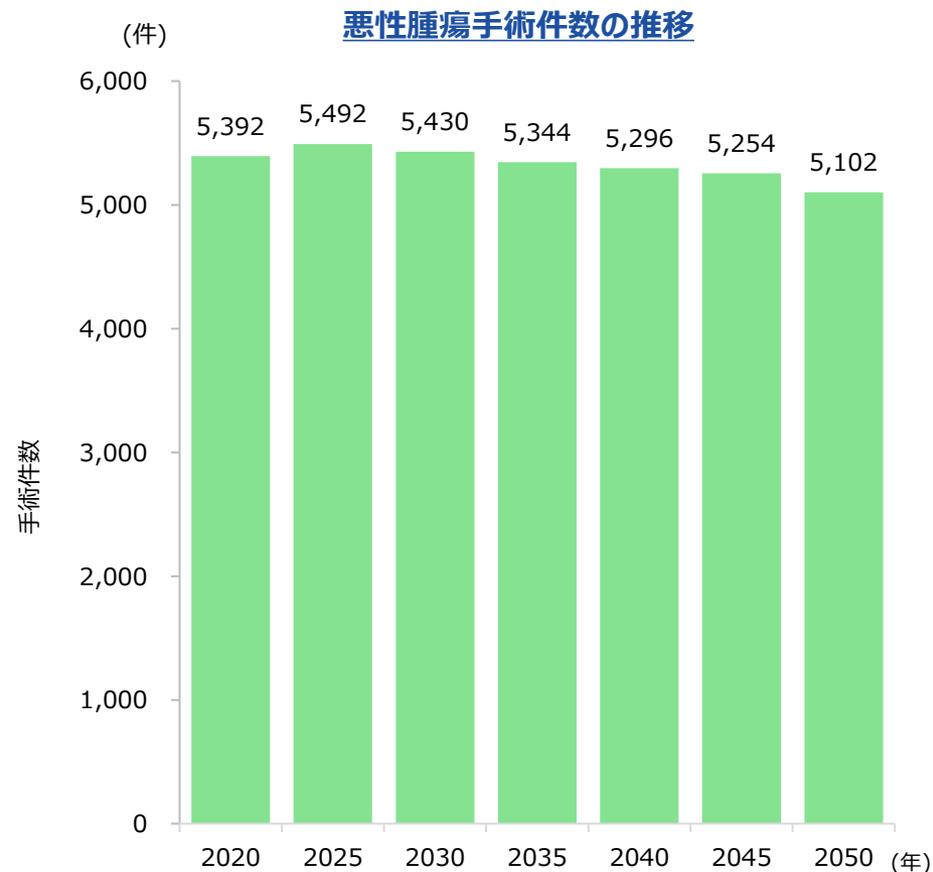
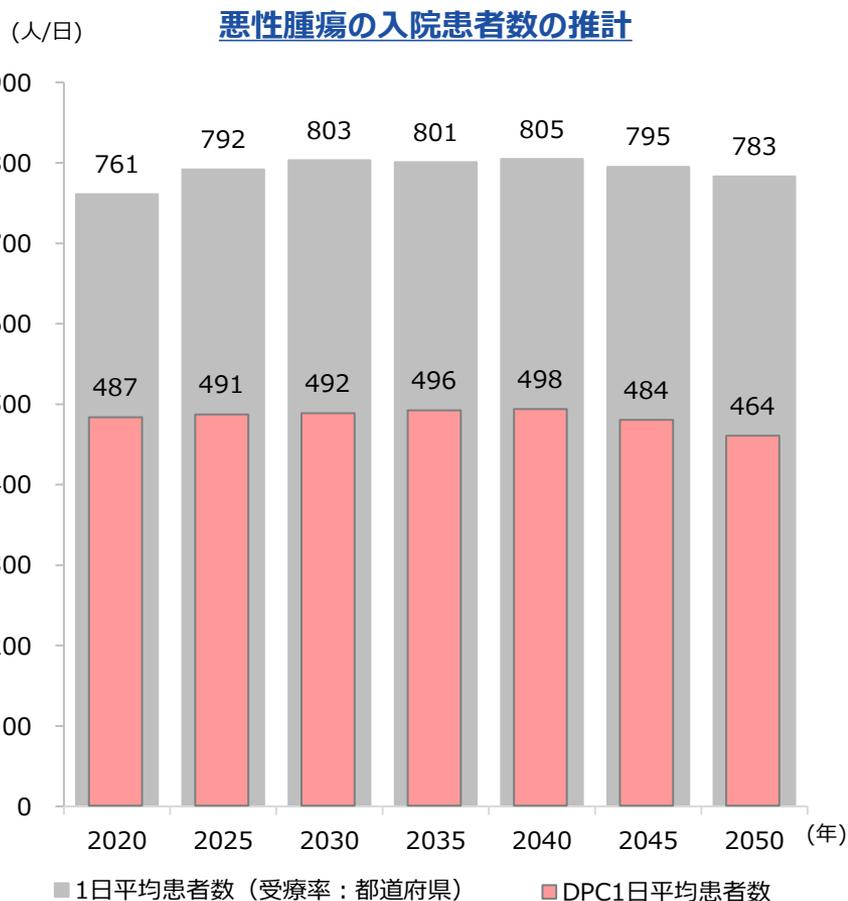


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 泉州医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

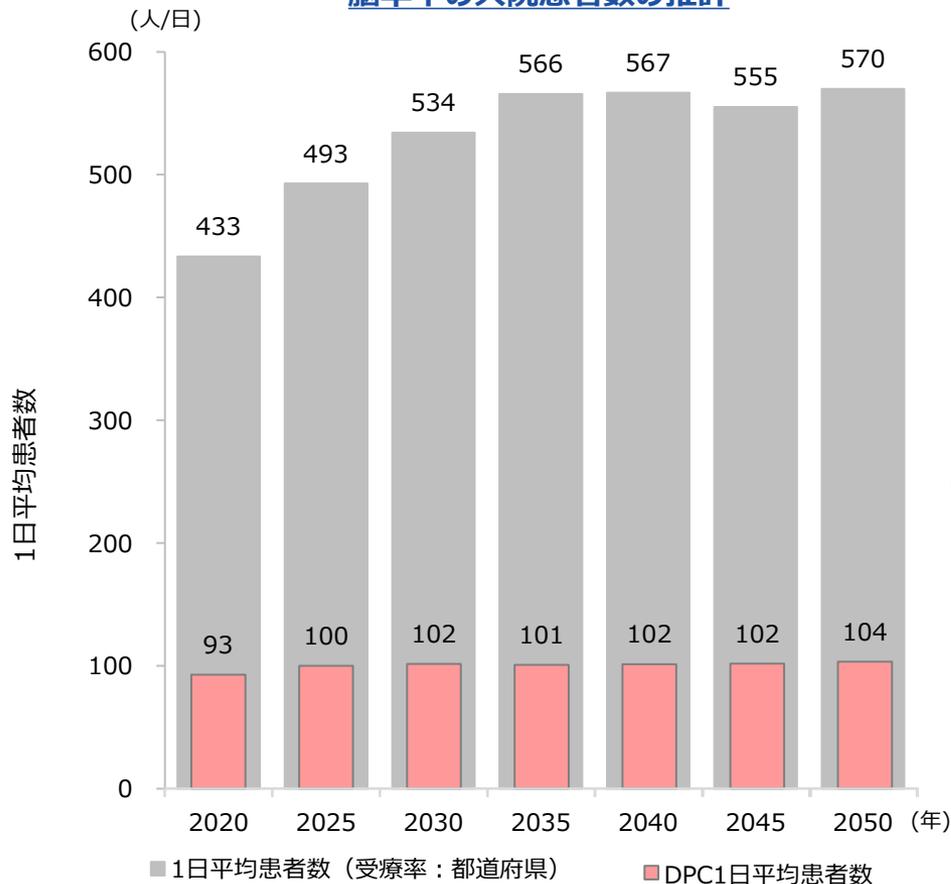
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 泉州医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

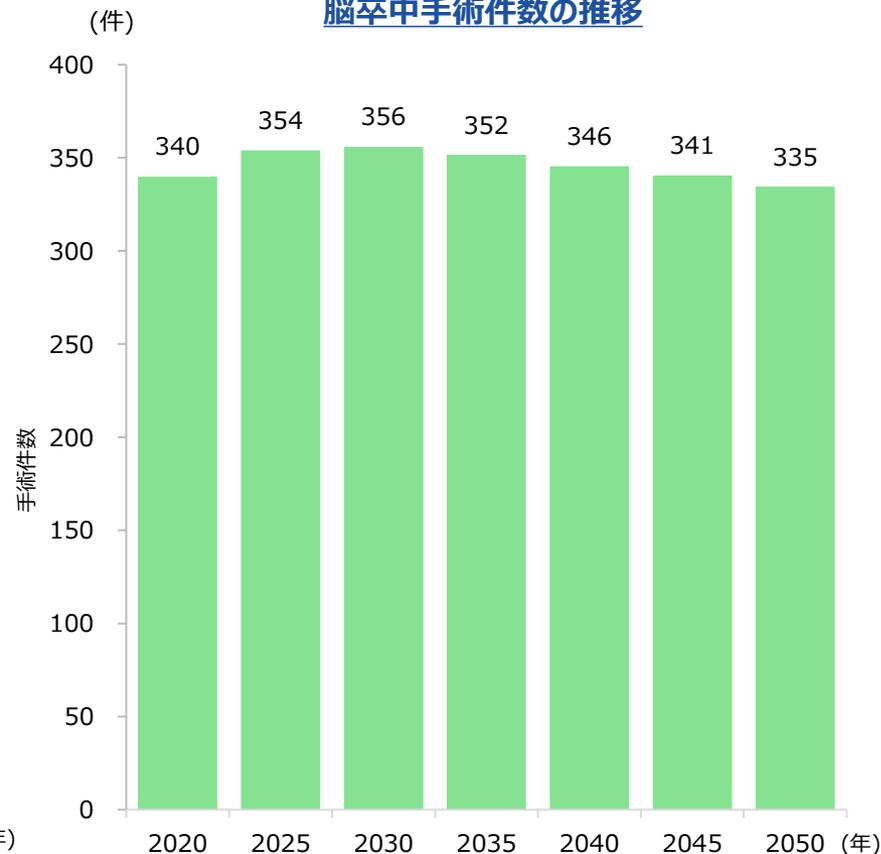
脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 脳卒中の入院患者数の推計



### 脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

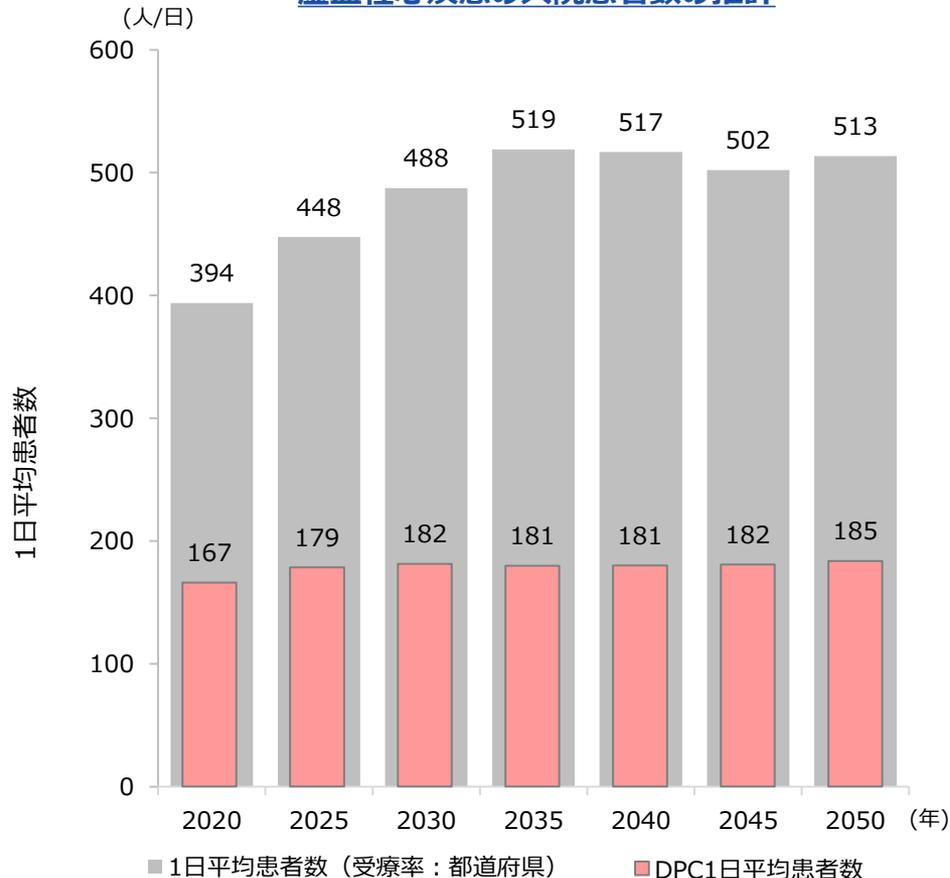
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 泉州医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 虚血性心疾患の入院患者数の推計



### 心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

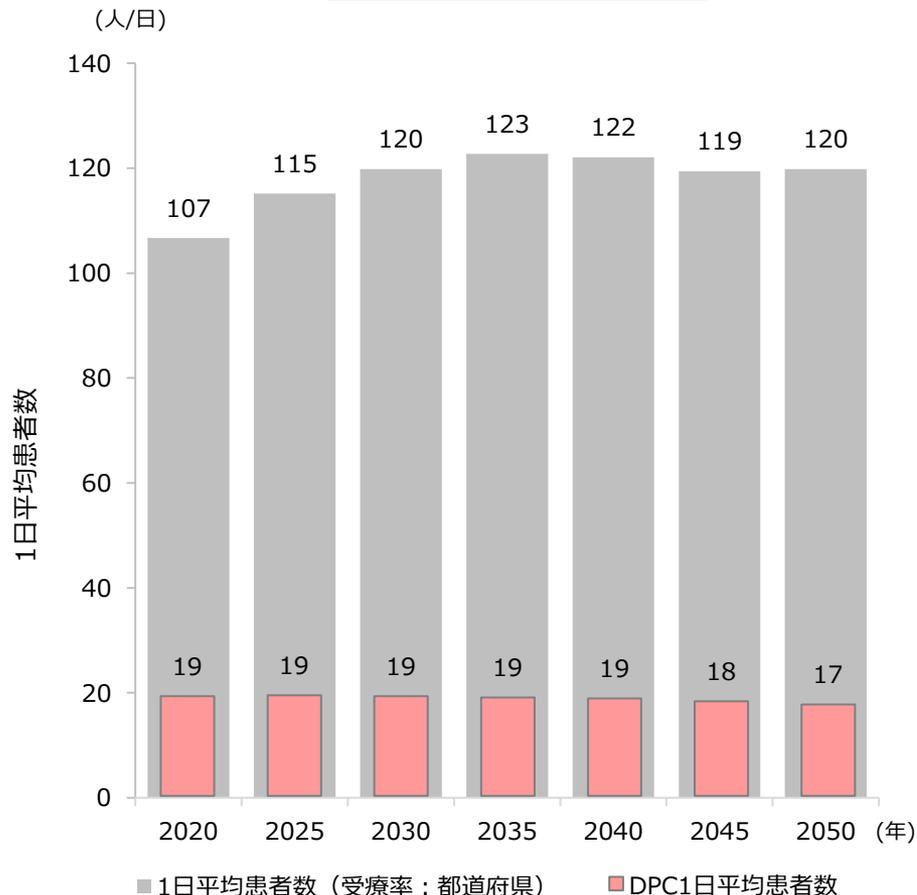
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

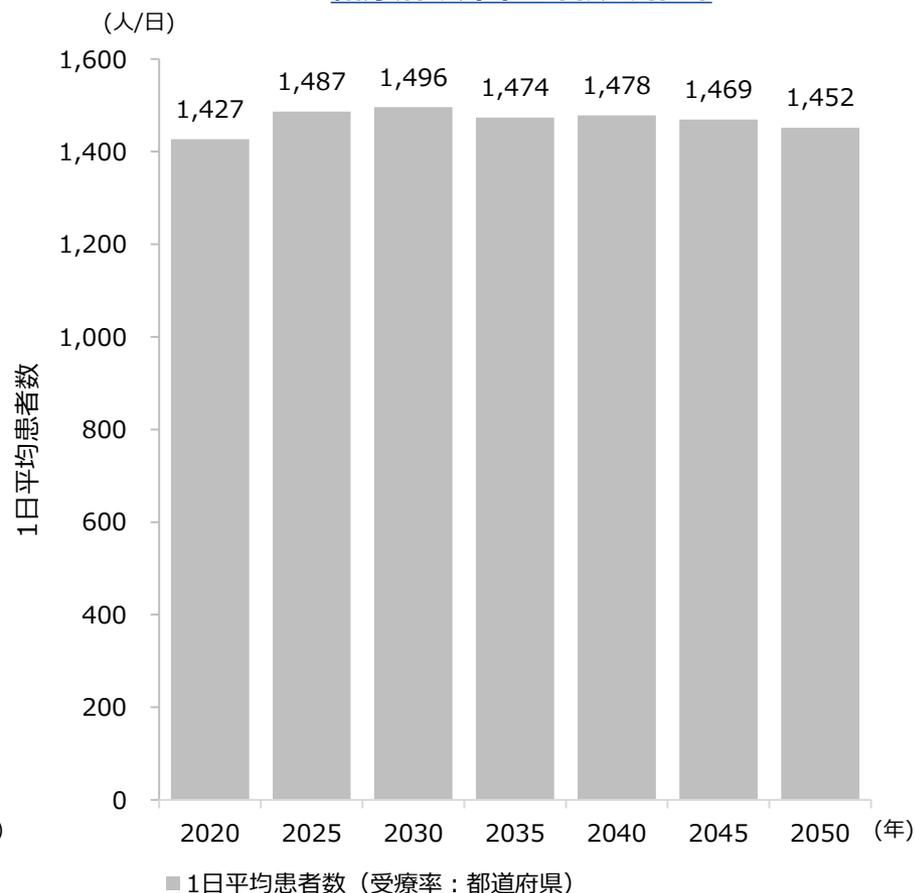
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 泉州医療圏 | 疾患別患者数の推計：糖尿病

## 糖尿病の入院患者数の推計



## 糖尿病の外来患者数の推計



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

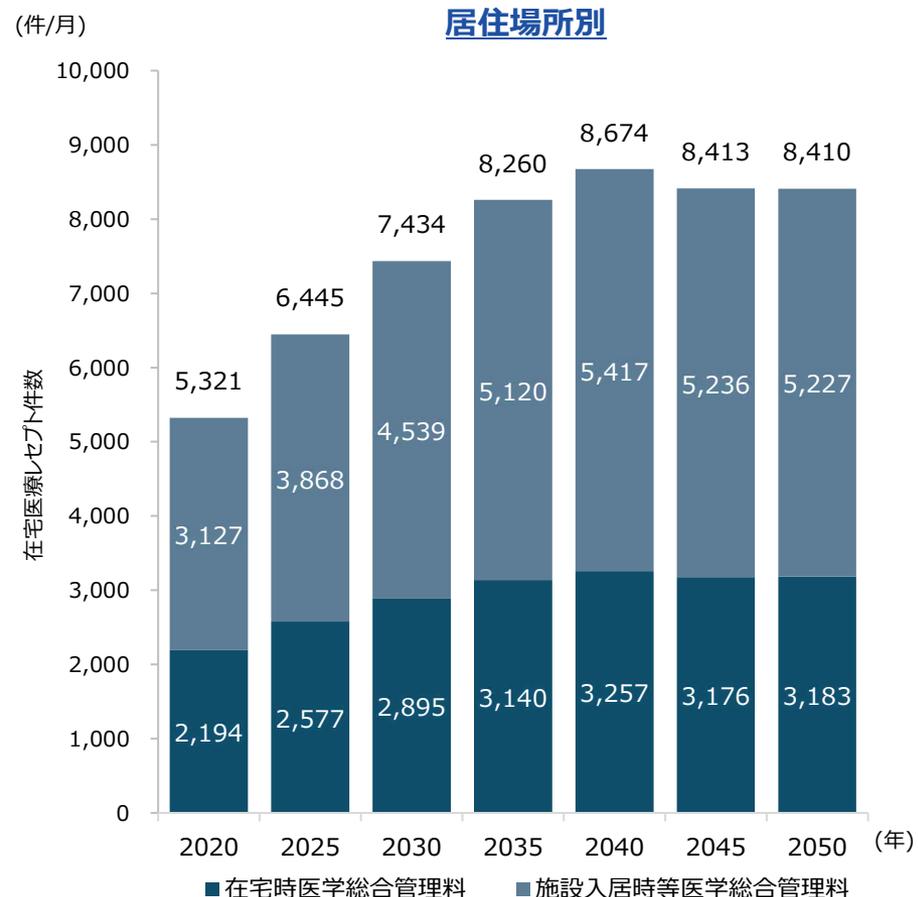
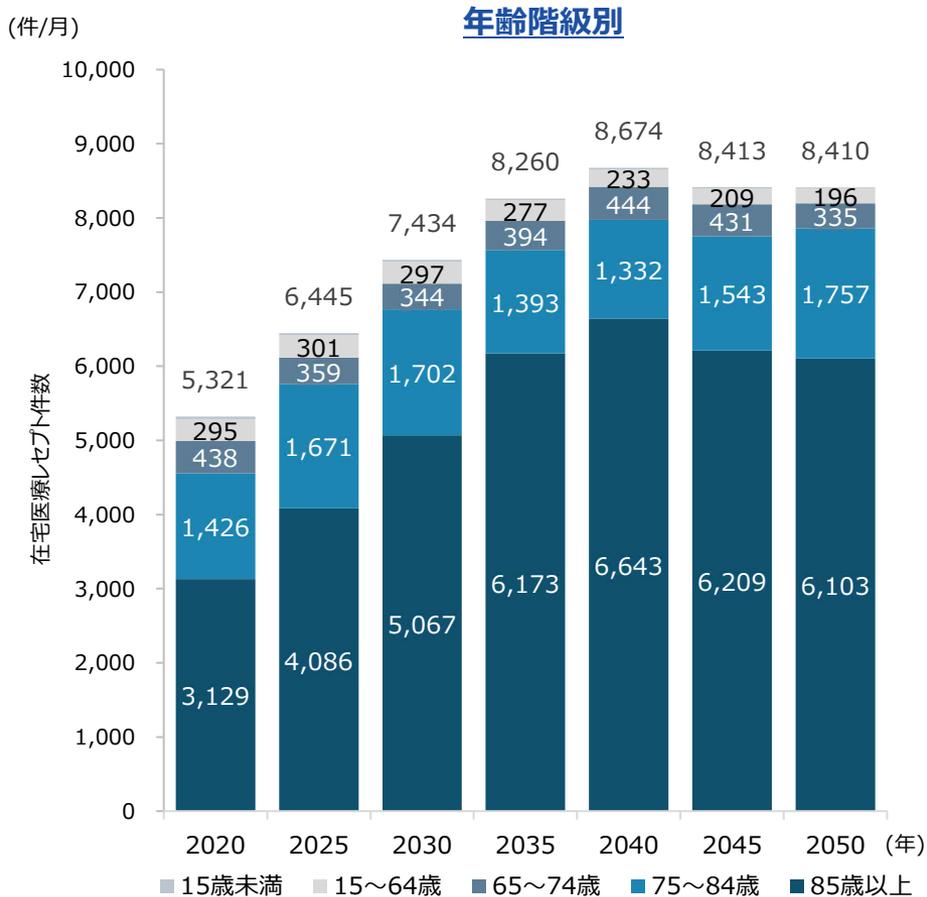
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

2026 © NIHONKEIEI Co.,Ltd.

# 泉州医療圏 | 在宅医療患者数の推計

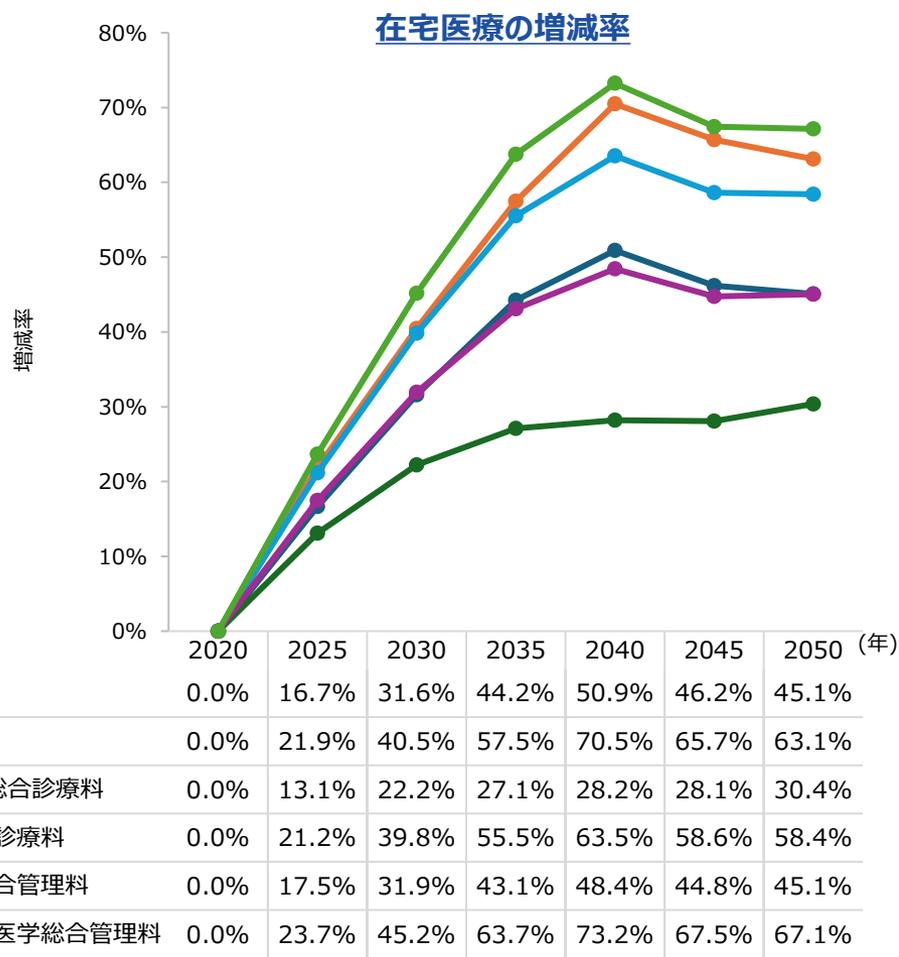
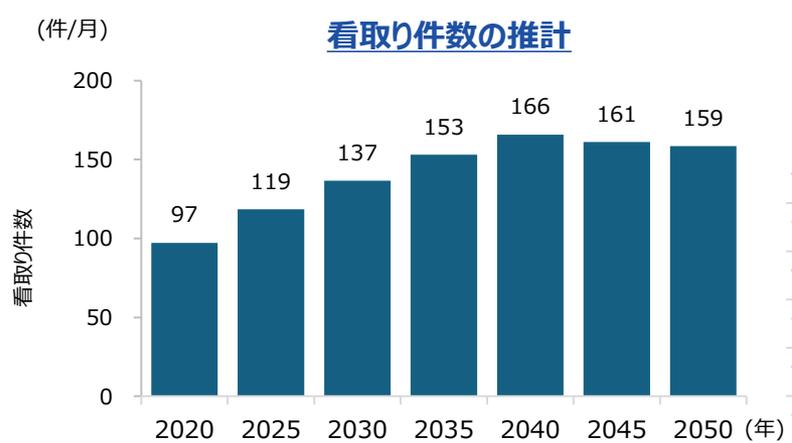
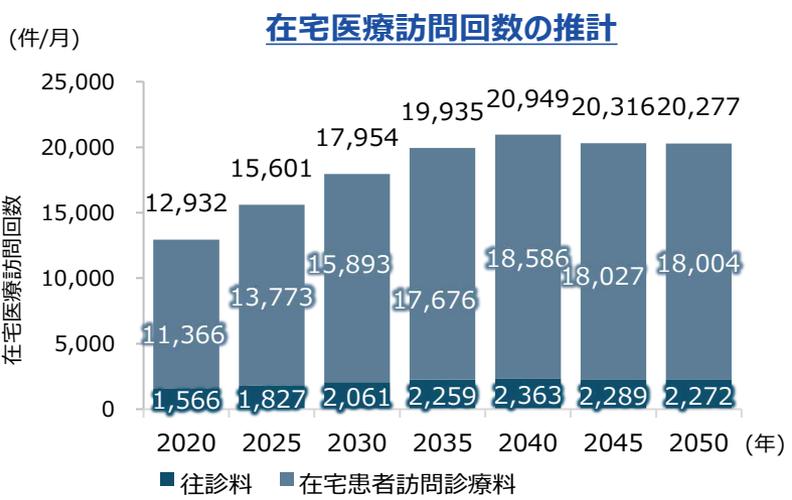
全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。  
月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 泉州医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。  
 多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

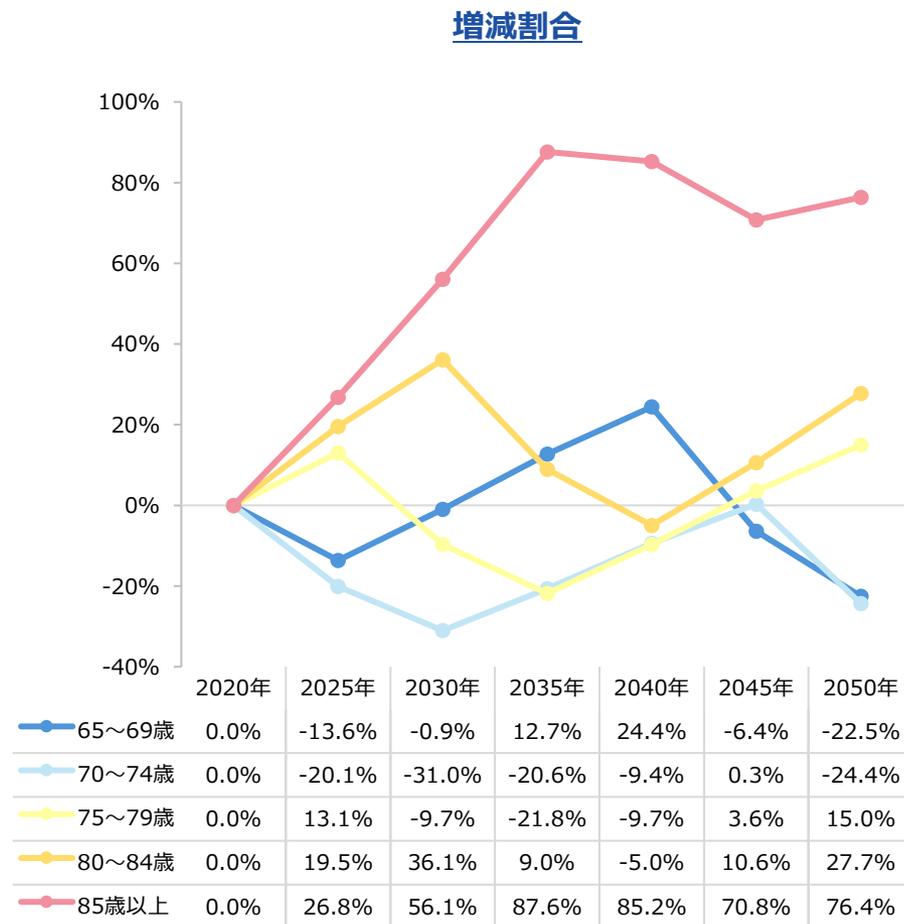
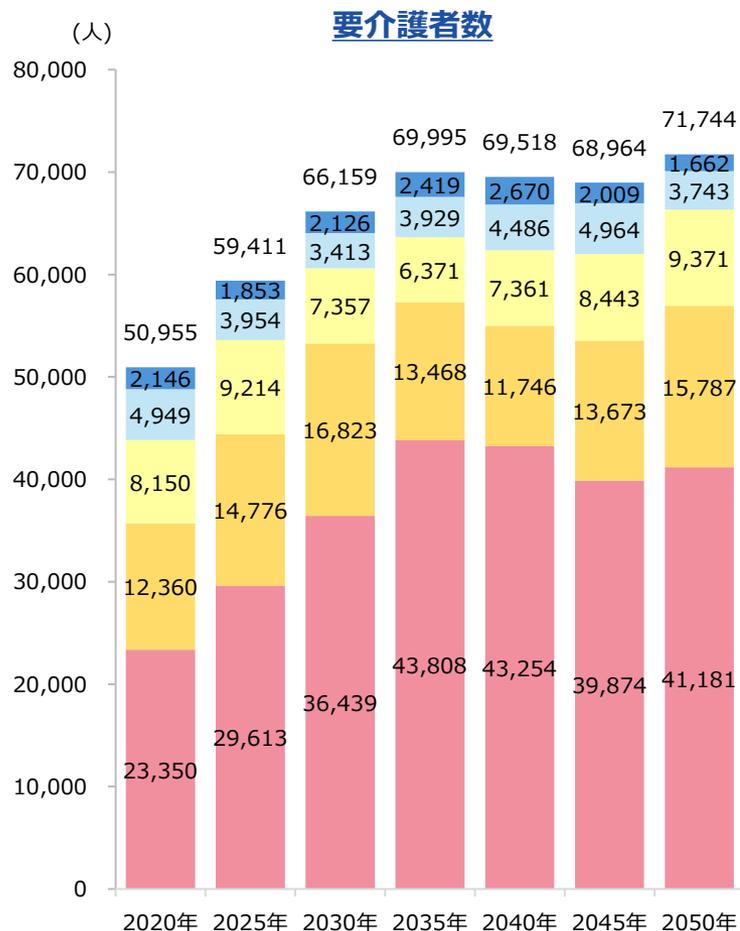


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 泉州医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)

多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

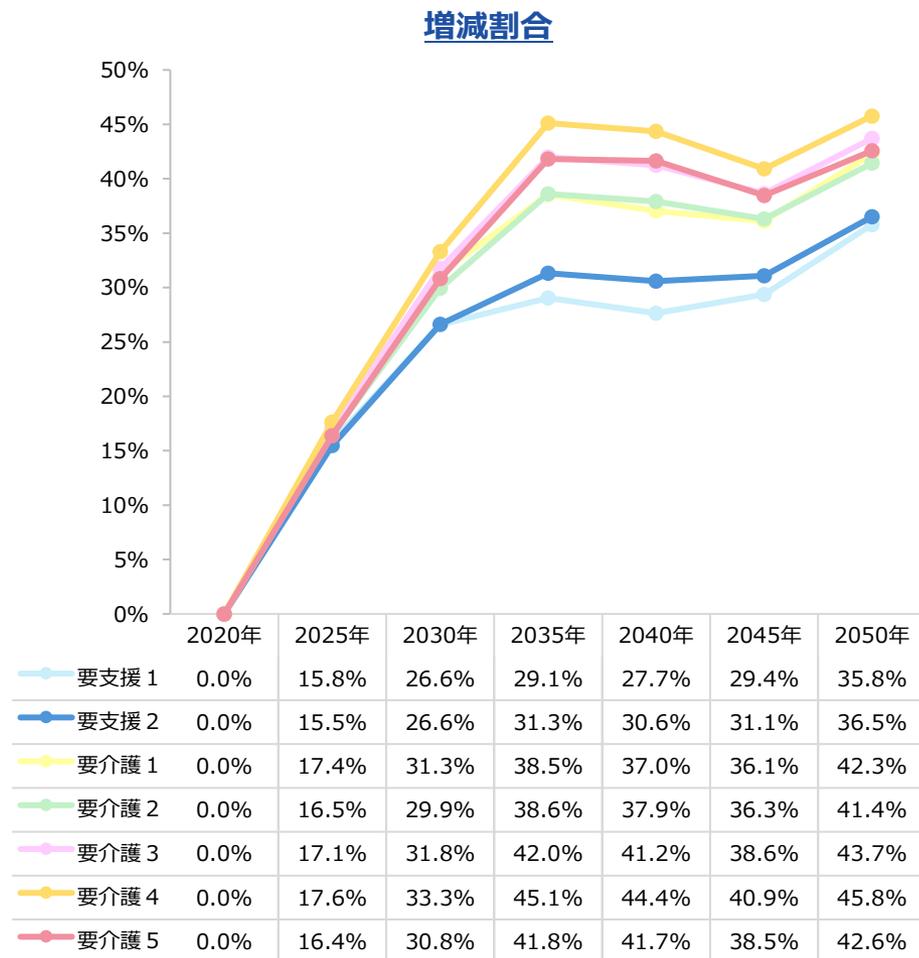
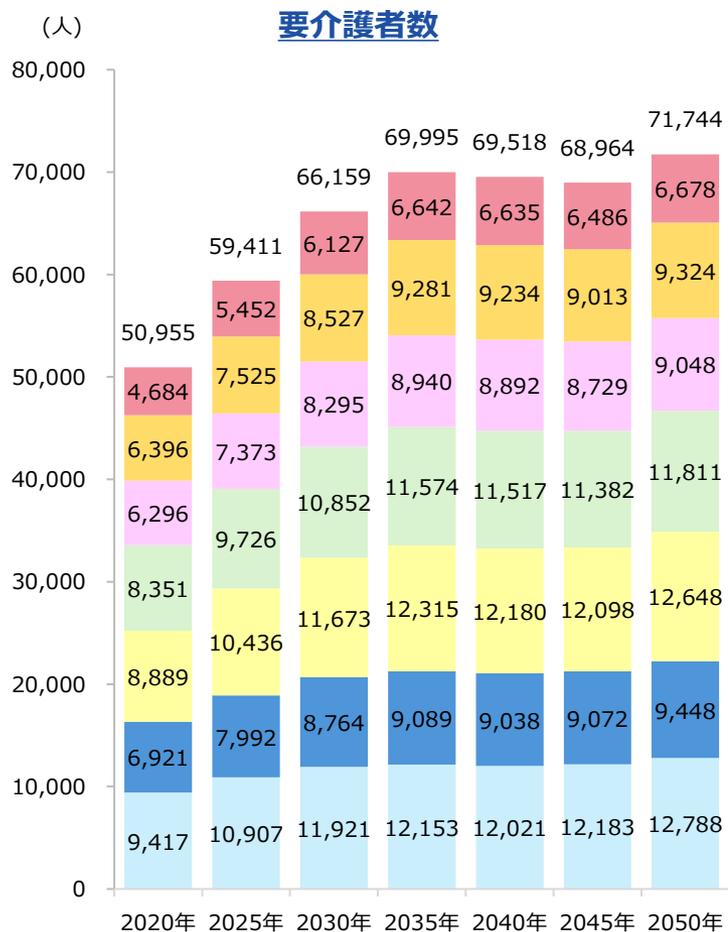
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 泉州医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。（介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります）

要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

## 4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

---

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

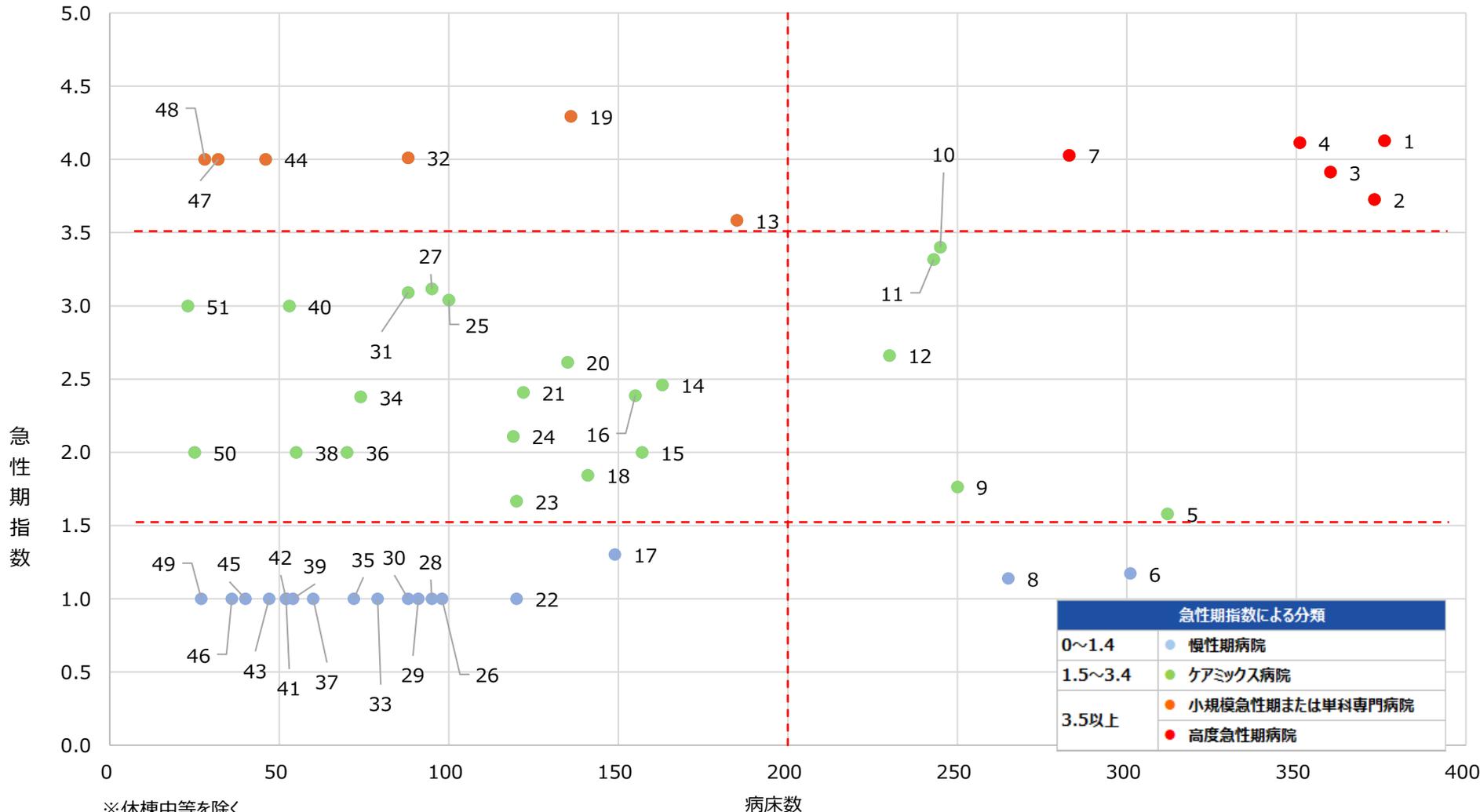
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。  
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

# 泉州医療圏 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



※休棟中等を除く  
 ※図表中の数字は、医療機関一覧表のNo.と対応しています

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	りんくう総合医療センター	376	4.1
2	府中病院	373	3.7
3	市立岸和田市民病院	360	3.9
4	大阪母子医療センター	351	4.1
5	いぶきの病院	312	1.6
6	与田病院	301	1.2
7	和泉市立総合医療センター	283	4.0
8	泉佐野優人会病院	265	1.1
9	寺田萬寿病院	250	1.8
10	市立貝塚病院	245	3.4
11	葛城病院	243	3.3
12	永山病院	230	2.7
13	阪南市民病院	185	3.6
14	野上病院	163	2.5
15	岸和田リハビリテーション病院	157	2.0
16	藤井病院	155	2.4
17	岸和田平成病院	149	1.3
18	光生病院	141	1.8
19	岸和田徳洲会病院	136	4.3
20	高石藤井病院	135	2.6
21	河崎病院	122	2.4
22	新仁会病院	120	1.0
23	りんくう永山病院	120	1.7
24	大阪リハビリテーション病院	119	2.1
25	高石加茂病院	100	3.0

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	聖志会 渡辺病院	98	1.0
27	佐野記念病院	95	3.1
28	和泉南病院	95	1.0
29	阪南会 天の川病院	91	1.0
30	高石病院	88	1.0
31	咲花病院	88	3.1
32	泉大津市立病院	88	4.0
33	徳洲会 東佐野病院	79	1.0
34	玉井病院	74	2.4
35	白井病院	72	1.0
36	羽原病院	70	2.0
37	泉南藤井病院	60	1.0
38	吉栄会 吉川病院	55	2.0
39	徳洲会 貝塚記念病院	54	1.0
40	青松記念病院	53	3.0
41	亀井病院	52	1.0
42	久米田外科整形外科病院	52	1.0
43	聖祐病院	47	1.0
44	かわい病院	46	4.0
45	みどり病院	40	1.0
46	奥村病院	36	1.0
47	大阪晴愛病院	32	4.0
48	谷口病院	28	4.0
49	高橋病院	27	1.0
50	大阪府済生会新泉南病院	25	2.0

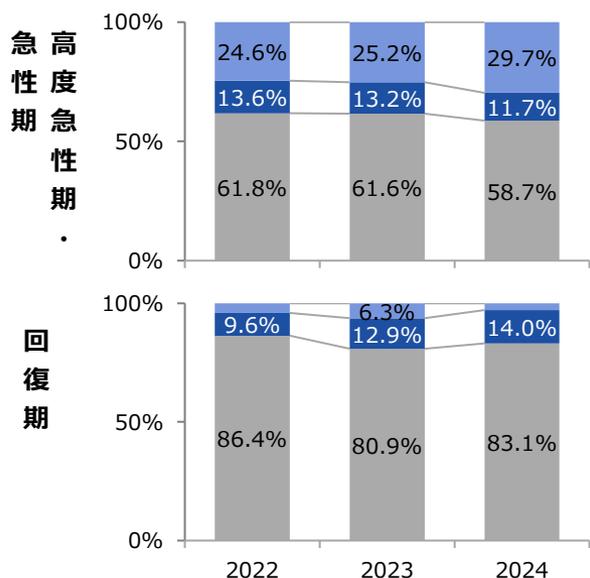
No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
51	小南記念病院	23	3.0

# 泉州医療圏 | 入退棟経路の傾向

当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。

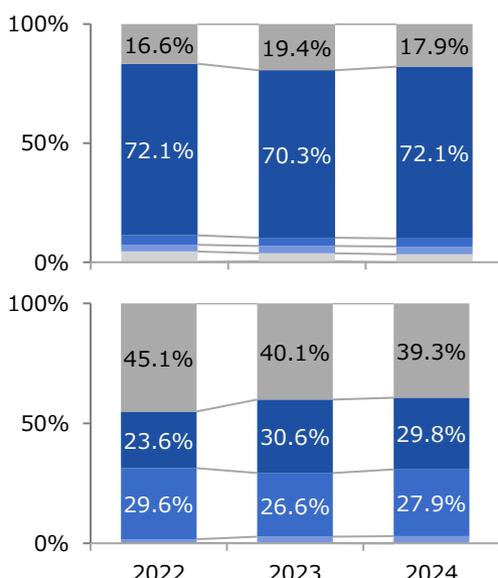
「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

### 入棟時の状況の変化



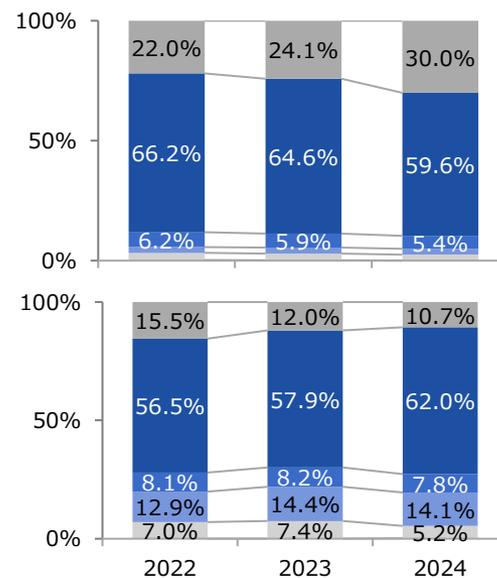
- 救急医療入院の予定外入院患者
- 救急医療入院以外の予定外入院患者
- 予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者

### 入棟経路の変化



- 院内の他病棟からの転棟
- 家庭からの入院
- 他の病院、診療所からの転院
- 介護・福祉施設、介護医療院からの入院
- 院内の出生
- その他入院経路

### 退棟先の変化



- 院内の他病棟へ転棟
- 家庭へ退院
- 他の病院、診療所へ転院
- 介護老人保健・福祉施設、介護医療院、有料老人ホーム等へ入所
- 終了（死亡退院等）
- その他

# 泉州医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

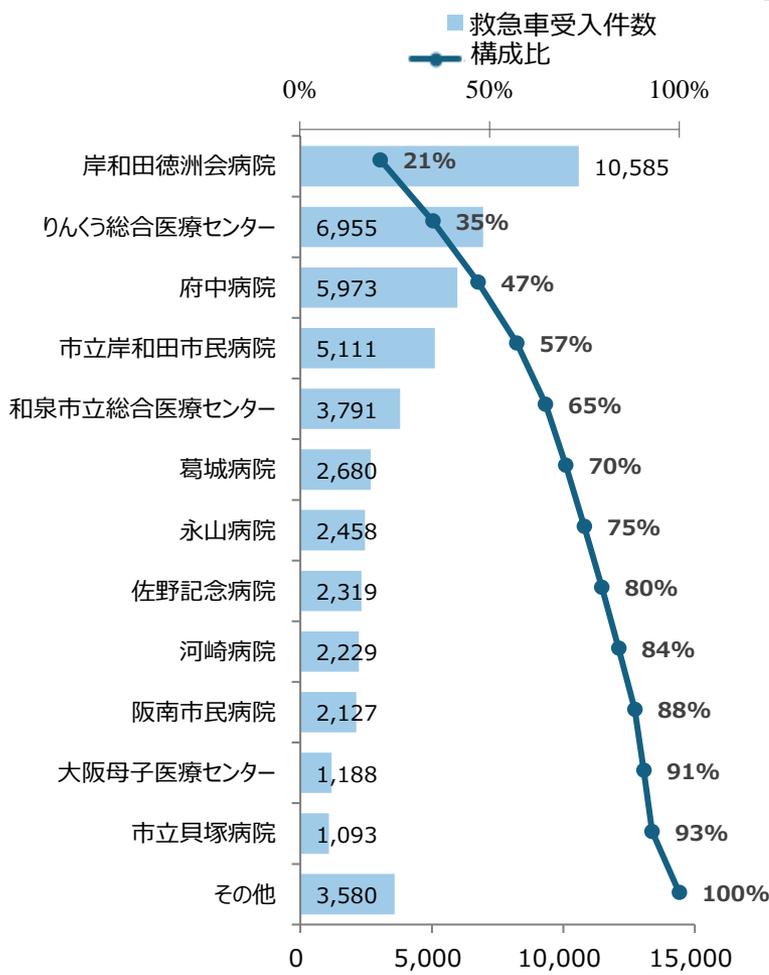
No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	大阪母子医療センター	和泉市	公的医療機関	三次救急	172.9	165	95.4%	608.1	3	2	3
2	和泉市立総合医療センター	和泉市	公的医療機関	二次救急	157.4	138	87.7%	363.2	2	2	5
3	りんくう総合医療センター	泉佐野市	公的医療機関	三次救急	140.9	97	68.8%	583.6	4	2	4
4	府中病院	和泉市	医療法人	二次救急	128.3	128	99.8%	474.2	2	2	5
5	岸和田徳洲会病院	岸和田市	医療法人	三次救急	123.4	103	83.5%	511.7	4	2	11
6	市立岸和田市民病院	岸和田市	公的医療機関	二次救急	123.3	109	88.4%	401.4	3	2	7
7	市立貝塚病院	貝塚市	公的医療機関	二次救急	70.1	62	88.4%	236.3	1	1	5
8	永山病院	熊取町	医療法人	二次救急	46.3	20	43.2%	185.8	1	1	0
9	泉大津市立病院	泉大津市	公的医療機関	二次救急	44.3	40	90.3%	149.0	2	1	2
10	葛城病院	岸和田市	医療法人	二次救急	44.1	33	74.8%	200.8	2	2	1
11	阪南市民病院	阪南市	公的医療機関	二次救急	37.4	26	69.5%	181.4	1	1	2
12	佐野記念病院	泉佐野市	医療法人	二次救急	21.8	15	68.8%	94.4	1	1	1
13	野上病院	泉南市	医療法人	二次救急	21.6	16	74.1%	92.9	1	1	1
14	咲花病院	和泉市	その他	二次救急	19.3	14	72.5%	82.4	1	1	0
15	高石藤井病院	高石市	医療法人	二次救急	18.0	14	77.8%	95.8	1	1	2
16	寺田萬寿病院	岸和田市	その他	二次救急	15.6	9	57.7%	75.1	1	1	0
17	河崎病院	貝塚市	医療法人	二次救急	14.3	10	69.9%	73.9	1	1	1
18	藤井病院	岸和田市	医療法人	二次救急	13.6	12	88.2%	103.1	1	1	1
19	光生病院	和泉市	医療法人	二次救急	9.1	6	65.9%	62.6	1	0	0
20	かわい病院	泉大津市	医療法人	二次救急	5.7	4	70.2%	23.7	1	1	0

# 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

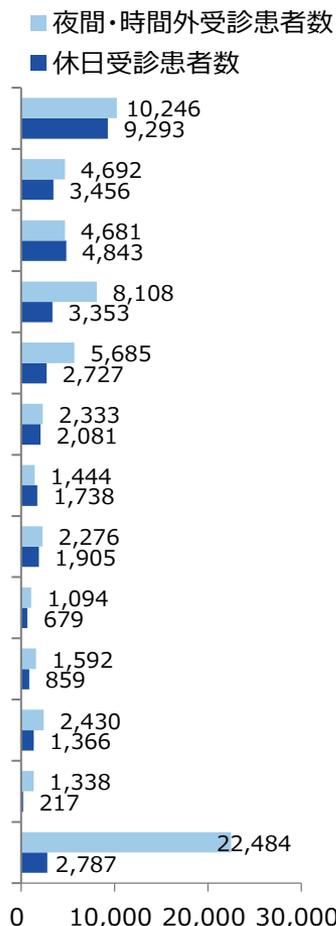
当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。

医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。

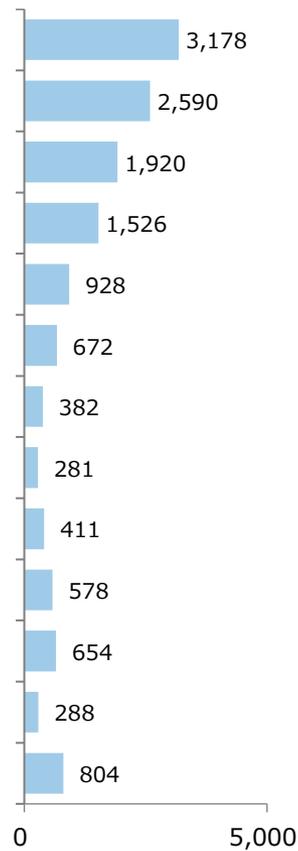
救急車受入件数



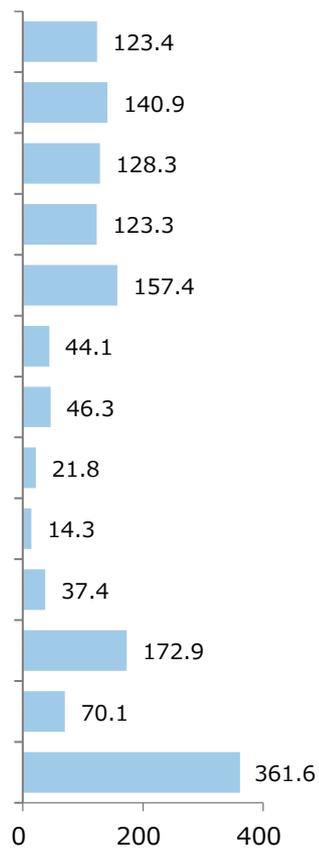
夜間・時間外・休日の患者延べ数



【参考】救急車搬送による入院件数 (DPC退院患者調査)



【参考】医師数



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 泉州区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。  
 他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流入率			
	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
大阪府 泉州	884,635	445	地方都市A	無	18	50,089	103,707	1,442	6,103	34.7	71.9	8.2	17.0	42,484	20,662	3,810	▲12.1%
静岡県 静岡	693,389	1,412	地方都市A	無	11	36,509	53,381	1,200	4,629	30.4	44.5	7.9	11.5	35,597	18,194	1,785	12.4%
兵庫県 播磨姫路	818,320	2,432	地方都市A	無	34	38,017	64,209	1,373	5,798	27.7	46.8	6.6	11.1	43,961	18,141	2,092	▲2.6%
沖縄県 中部	518,742	368	地方都市A	無	7	26,713	87,381	791	3,502	33.8	110.4	7.6	25.0	19,575	8,178	3,514	▲1.2%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成  
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化(令和6年度)」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)  
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」  
 「令和2年国勢調査」(総務省統計局)  
 「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

**地域区分類型**  
 大都市型：人口が100万人以上(又は)人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上  
 地方都市A型：人口が20万人以上  
 地方都市B型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km<sup>2</sup>以上  
 過疎地域A型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km<sup>2</sup>未満  
 過疎地域B型：人口が5~10万人  
 過疎地域C型：人口が5万人未満

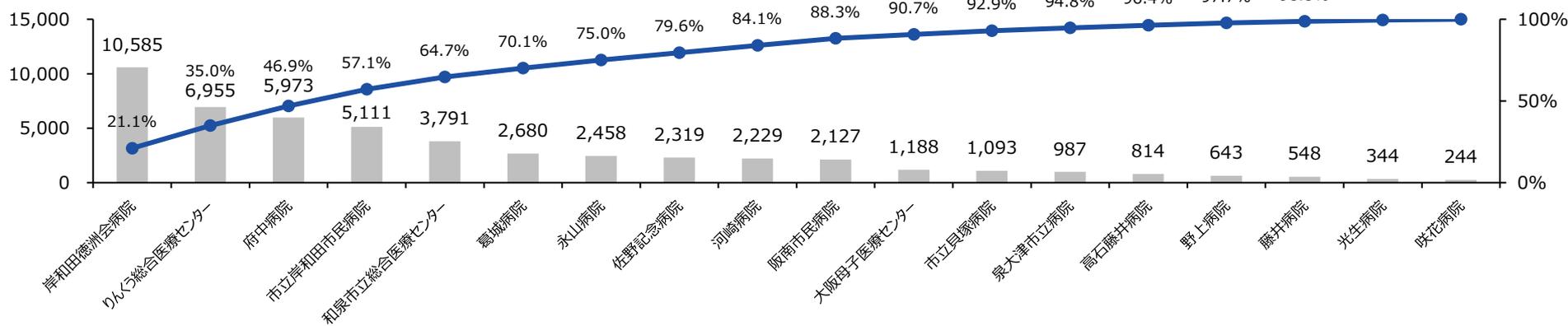
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

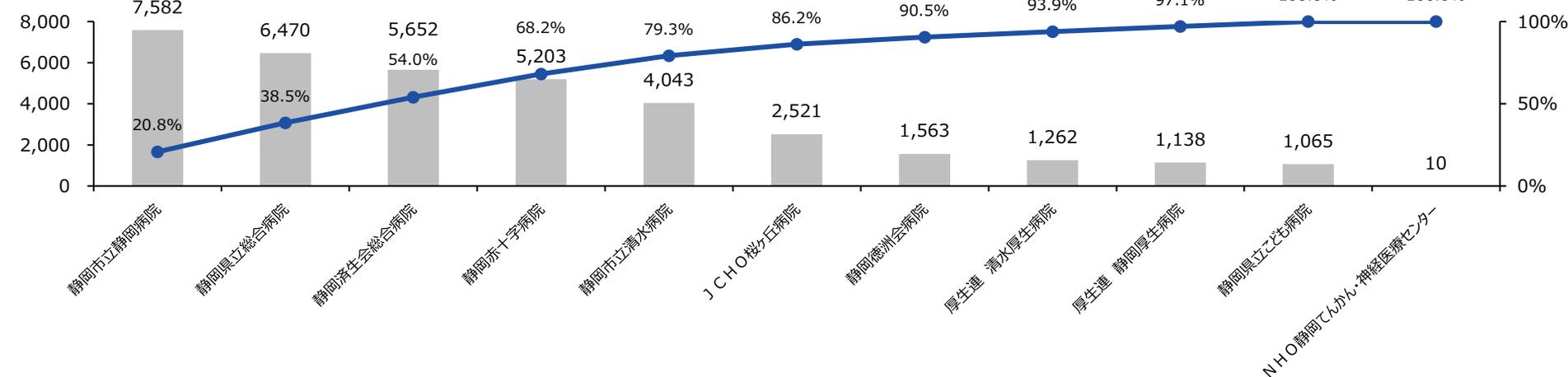
最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。

■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

## 大阪府\_泉州

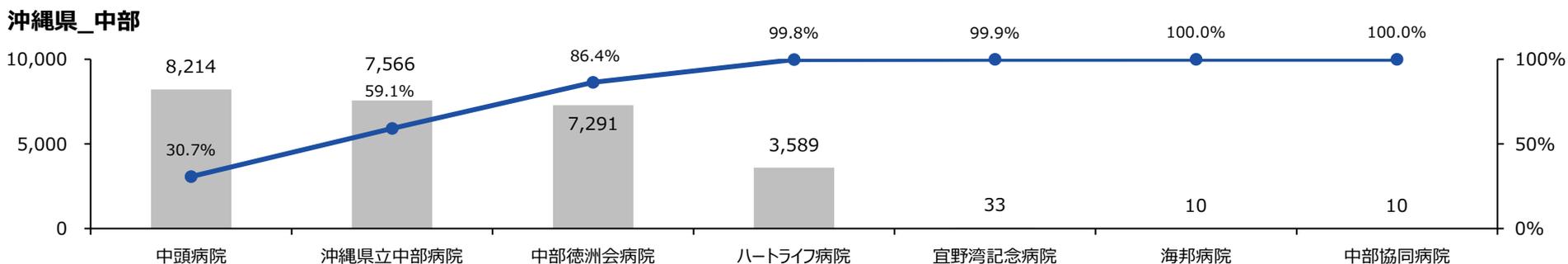
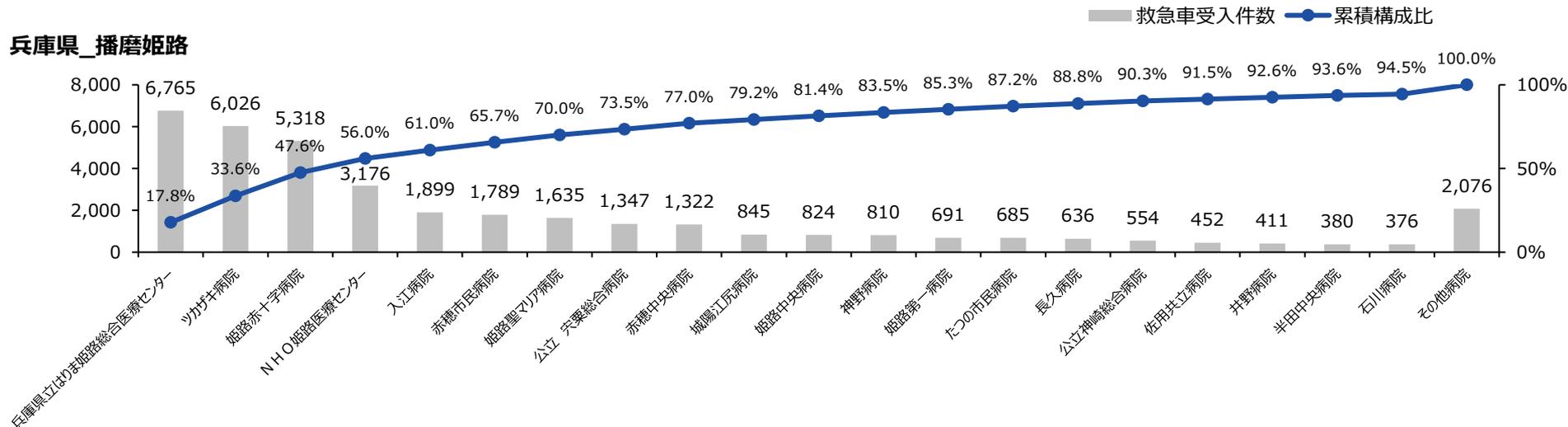


## 静岡県\_静岡



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



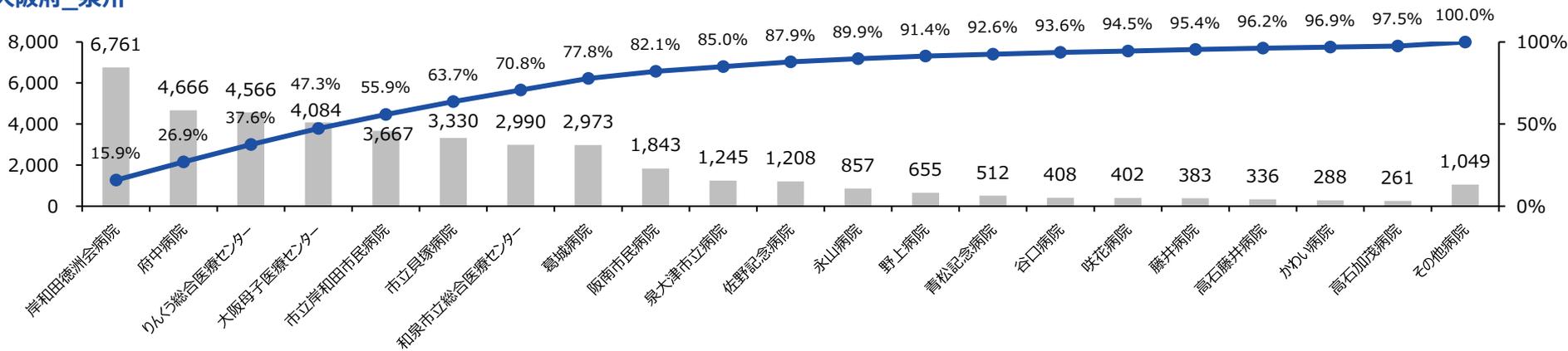
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

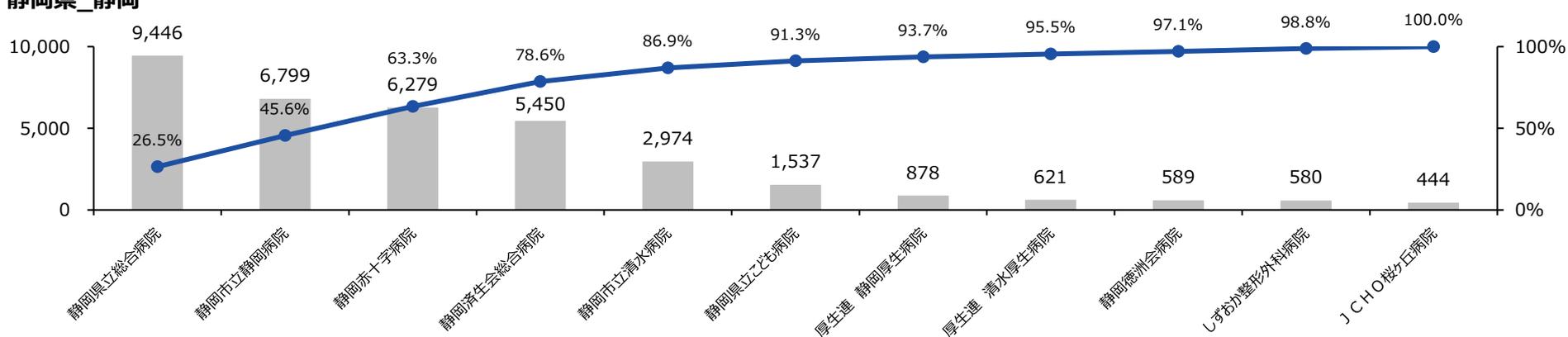
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 手術件数 ● 累積構成比

## 大阪府\_泉州

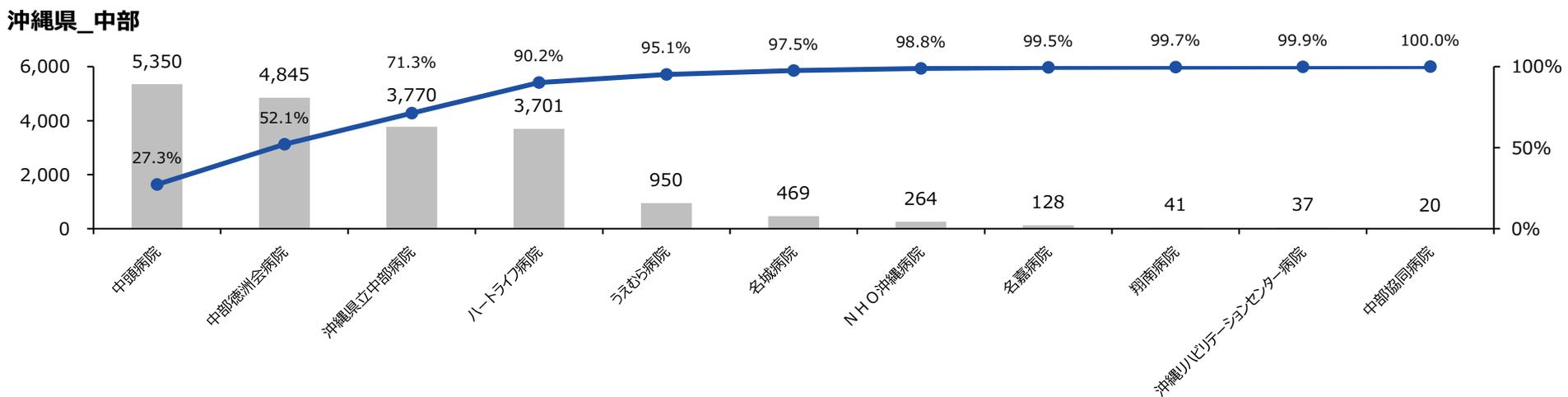
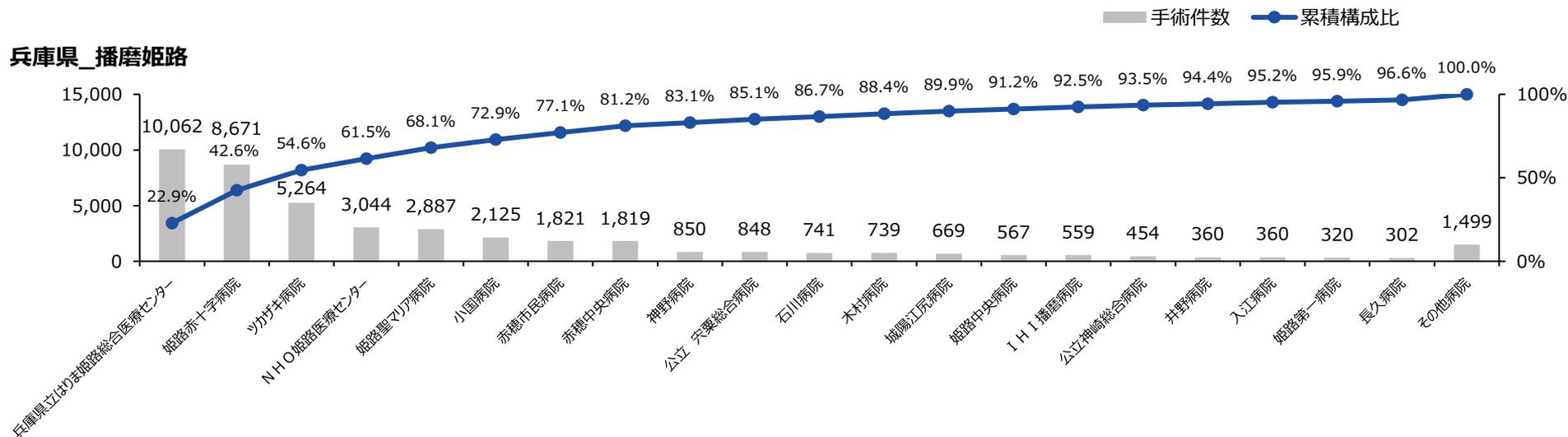


## 静岡県\_静岡



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



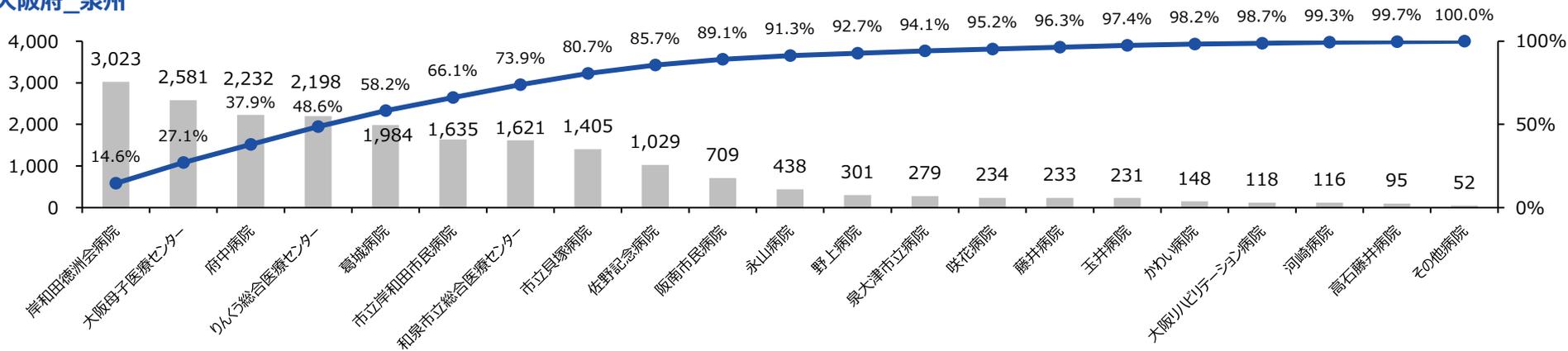
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

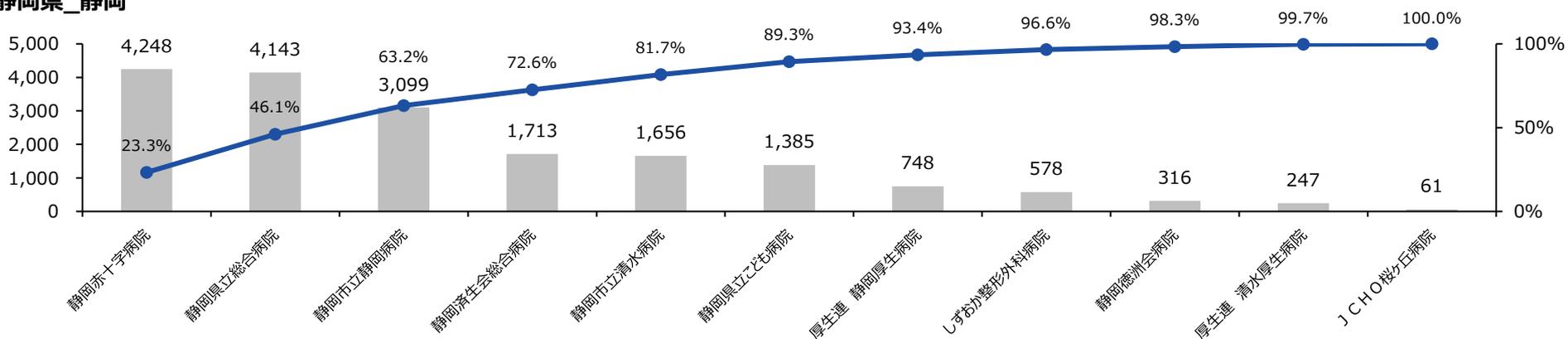
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 全身麻酔手術件数    ● 累積構成比

## 大阪府\_泉州



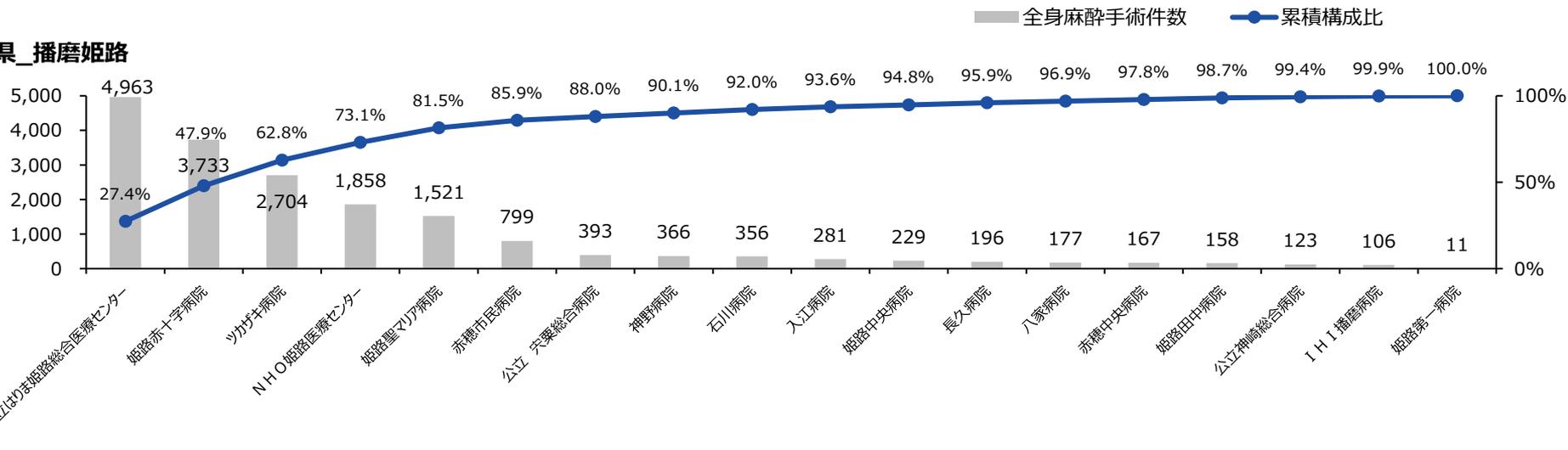
## 静岡県\_静岡



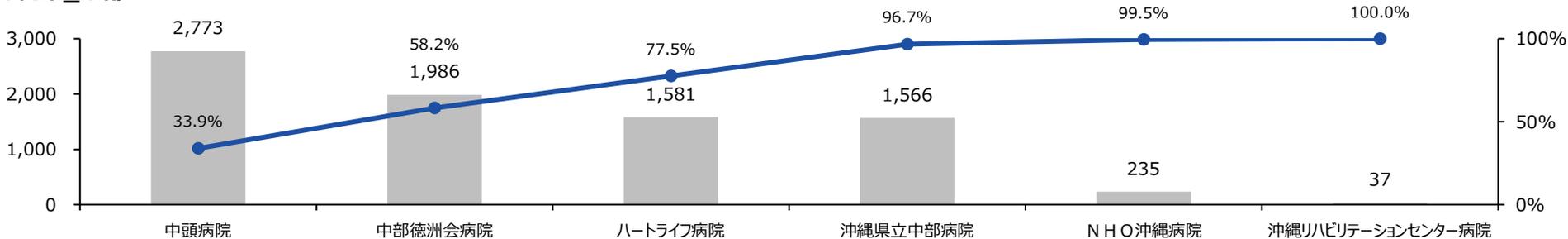
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

## 兵庫県\_播磨姫路



## 沖縄県\_中部



# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	大阪市立総合医療センター	大阪市	特定	急性期1	984	93%	23,189	9.9	9.6
2	関西医科大学附属病院	北河内	大学	特定7対1	797	100%	21,254	11.1	10.6
3	近畿大学病院	南河内	大学	特定7対1	919	100%	21,086	11.0	11.0
4	大阪医科薬科大学病院	三島	大学	特定7対1	863	96%	19,520	11.6	11.2
5	大阪労災病院	堺市	標準	急性期1	678	100%	19,203	9.7	11.0
6	大阪大学医学部附属病院	豊能	大学	特定7対1	1,019	95%	19,115	12.7	11.6
7	大阪赤十字病院	大阪市	特定	急性期1	738	86%	18,740	10.1	9.5
8	大阪公立大学医学部附属病院	大阪市	大学	特定7対1	927	96%	18,584	11.1	10.4
9	大阪急性期・総合医療センター	大阪市	特定	急性期1	748	87%	16,339	10.3	10.3
10	北野病院	大阪市	特定	急性期1	643	100%	16,236	10.7	11.1
11	大阪国際がんセンター	大阪市	特定	特定7対1	500	100%	14,907	8.7	9.9
12	市立豊中病院	豊能	標準	急性期1	608	100%	13,627	10.8	11.0
13	大阪警察病院	大阪市	特定	急性期1	525	100%	13,596	10.4	10.5
14	高槻病院	三島	標準	急性期1	477	100%	13,386	10.6	10.9
15	淀川キリスト教病院	大阪市	特定	急性期1	540	93%	13,162	10.5	10.7
16	国立循環器病研究センター	豊能	特定	特定7対1	527	100%	13,030	10.8	10.8
17	NHO大阪医療センター	大阪市	特定	急性期1	558	100%	12,861	11.6	12.2
18	堺市立総合医療センター	堺市	特定	急性期1	487	100%	12,452	10.7	10.1
19	ペルランド総合病院	堺市	標準	急性期1	462	97%	12,082	11.4	11.3
20	市立東大阪医療センター	中河内	標準	急性期1	495	95%	12,077	10.3	10.4
21	JCHO大阪病院	大阪市	標準	急性期1	525	100%	11,969	10.0	10.0
22	大阪府済生会中津病院	大阪市	特定	急性期1	570	100%	11,318	11.6	10.9
23	関西医科大学総合医療センター	北河内	特定	急性期1	438	92%	10,108	11.5	11.1
24	八尾徳洲会総合病院	中河内	特定	急性期1	427	100%	9,990	12.9	11.4
25	千船病院	大阪市	標準	急性期1	308	100%	9,623	8.6	9.4

# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	医誠会国際総合病院	大阪市	標準	急性期1	560	100%	9,618	13.0	11.2
27	岸和田徳洲会病院	泉州	特定	急性期1	400	100%	9,299	14.1	11.5
28	大阪母子医療センター	泉州	標準	急性期1	363	100%	9,276	9.0	9.7
29	大阪府済生会野江病院	大阪市	特定	急性期1	400	100%	9,123	11.3	10.9
30	八尾市立病院	中河内	標準	急性期1	380	100%	8,934	9.5	10.6
31	大阪府済生会吹田病院	豊能	標準	急性期1	440	100%	8,668	11.6	10.9
32	市立池田病院	豊能	標準	急性期1	364	100%	8,616	10.3	10.3
33	和泉市立総合医療センター	泉州	標準	急性期1	283	92%	8,465	11.0	10.4
34	住友病院	大阪市	標準	急性期1	499	100%	8,460	11.6	11.6
35	市立吹田市民病院	豊能	標準	急性期1	386	90%	8,447	10.3	10.0
36	日本生命病院	大阪市	標準	急性期1	350	100%	8,414	10.7	11.9
37	りんくう総合医療センター	泉州	特定	急性期1	388	100%	8,139	12.3	11.2
38	多根総合病院	大阪市	標準	急性期1	284	93%	8,125	10.4	9.9
39	市立ひらかた病院	北河内	標準	急性期1	233	92%	7,728	9.5	10.1
40	大阪(はびきの)医療センター	南河内	標準	急性期1	360	89%	7,655	9.3	9.8
41	市立岸和田市民病院	泉州	特定	急性期1	376	95%	7,643	11.4	10.4
42	関西電力病院	大阪市	標準	急性期1	356	89%	7,205	11.1	11.3
43	耳原総合病院	堺市	標準	急性期1	312	81%	7,184	10.5	10.6
44	府中病院	泉州	標準	急性期1	319	84%	7,164	11.5	10.3
45	NHO大阪南医療センター	南河内	標準	急性期1	366	95%	6,964	12.7	12.4
46	第一東和会病院	三島	標準	急性期1	243	100%	6,886	10.6	10.4
47	KKR枚方公済病院	北河内	標準	急性期1	313	100%	6,885	11.9	10.9
48	済生会千里病院	豊能	標準	急性期1	329	100%	6,795	10.5	11.0
49	KKR大手前病院	大阪市	標準	急性期1	355	89%	6,485	11.5	11.2
50	PL病院	南河内	標準	急性期1	285	77%	6,249	8.5	11.1

# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）③

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
51	箕面市立病院	豊能	標準	急性期1	241	83%	6,069	8.8	9.5
52	大阪回生病院	大阪市	標準	急性期1	254	85%	6,044	8.5	11.3
53	高槻赤十字病院	三島	標準	急性期1	281	93%	5,822	11.4	11.0
54	吹田徳洲会病院	豊能	標準	急性期1	243	67%	5,756	12.0	11.1
55	城山病院	南河内	標準	急性期1	248	83%	5,438	12.9	12.5
56	野崎徳洲会病院	北河内	特定	急性期1	218	100%	5,240	14.7	12.1
57	大阪鉄道病院	大阪市	標準	急性期1	244	81%	5,099	10.3	10.1
58	関西メディカル病院	豊能	標準	急性期1	180	80%	5,065	10.2	9.8
59	北摂総合病院	三島	標準	急性期1	217	100%	5,005	11.7	10.8
60	大阪中央病院	大阪市	標準	急性期1	143	100%	4,960	6.4	9.6
61	南大阪病院	大阪市	標準	急性期4	310	78%	4,890	11.8	12.3
62	松下記念病院	北河内	標準	急性期1	250	77%	4,832	12.2	10.9
63	東住吉森本病院	大阪市	標準	急性期1	315	96%	4,793	16.2	14.3
64	市立貝塚病院	泉州	標準	急性期1	185	74%	4,736	7.4	9.6
65	関西医科大学香里病院	北河内	標準	急性期1	199	100%	4,726	11.1	13.7
66	大阪府済生会茨木病院	三島	標準	急性期1	240	85%	4,704	13.2	12.8
67	JCHO星ヶ丘医療センター	北河内	標準	急性期1	292	66%	4,471	10.1	11.5
68	若草第一病院	中河内	標準	急性期1	230	100%	4,376	14.4	13.5
69	馬場記念病院	堺市	標準	急性期1	248	83%	4,197	15.2	12.0
70	小松病院	北河内	標準	急性期4	172	91%	3,959	13.5	13.6
71	済生会 富田林病院	南河内	標準	急性期1	210	81%	3,911	11.2	11.7
72	松原徳洲会病院	南河内	特定	急性期1	249	100%	3,809	15.8	12.9
73	清恵会病院	堺市	標準	急性期2	205	68%	3,738	10.5	9.7
74	大阪府済生会泉尾病院	大阪市	標準	急性期1	280	64%	3,618	11.3	10.9
75	曙生会脳神経外科病院	北河内	標準	急性期4	228	84%	3,558	14.5	13.2

# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）④

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
76	守口生野記念病院	北河内	標準	急性期1	199	100%	3,498	13.4	9.8
77	第二大阪警察病院	大阪市	標準	急性期1	245	100%	3,477	11.1	10.4
78	JCHO大阪みなと中央病院	大阪市	標準	急性期2	229	100%	3,425	15.3	15.2
79	大阪暁明館病院	大阪市	標準	急性期1	203	44%	3,311	8.6	10.3
80	葛城病院	泉州	標準	急性期1	153	63%	3,239	10.0	12.0
81	阪南市民病院	泉州	標準	急性期1	143	77%	3,236	11.2	11.2
82	なにわ生野病院	大阪市	標準	急性期1	173	100%	3,200	13.0	10.7
83	阪和記念病院	大阪市	標準	急性期4	157	33%	3,188	8.4	9.1
84	富永病院	大阪市	標準	急性期1	224	73%	3,134	11.2	17.0
85	医真会八尾総合病院	中河内	標準	急性期4	201	83%	3,065	13.7	11.9
86	河内総合病院	中河内	標準	急性期1	309	88%	3,046	16.1	13.9
87	愛染橋病院	大阪市	標準	急性期4	208	84%	2,876	8.6	11.3
88	育和会記念病院	大阪市	標準	急性期1	218	82%	2,794	14.2	12.9
89	市立柏原病院	中河内	標準	急性期1	153	70%	2,582	9.8	10.4
90	みどりヶ丘病院	三島	標準	急性期1	185	59%	2,517	12.0	10.2
91	佐藤病院	北河内	標準	急性期1	120	68%	2,444	12.1	10.6
92	交野病院	北河内	標準	急性期1	138	66%	2,438	12.1	12.7
93	萱島生野病院	北河内	標準	急性期1	140	100%	2,414	13.5	11.2
94	森之宮病院	大阪市	標準	急性期1	159	45%	2,383	12.0	13.4
95	泉大津市立病院	泉州	標準	急性期1	160	91%	2,365	8.5	10.4
96	浅香山病院	堺市	標準	急性期1	134	15%	2,200	11.3	10.5
97	大阪市立十三市民病院	大阪市	標準	急性期1	224	85%	2,200	10.0	10.9
98	加納総合病院	大阪市	標準	急性期1	151	50%	1,972	12.2	11.4
99	一祐会 藤本病院	北河内	標準	急性期4	100	68%	1,954	10.3	11.8
100	寝屋川生野病院	北河内	標準	急性期1	103	100%	1,941	14.2	11.0

# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）⑤

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
101	小阪産病院	中河内	標準	急性期1	60	100%	1,870	4.8	4.9
102	大阪掖済会病院	大阪市	標準	急性期1	135	100%	1,749	10.1	10.9
103	大野記念病院	大阪市	標準	急性期1	177	71%	1,740	14.5	13.3
104	東大阪病院	大阪市	標準	急性期1	112	44%	1,706	14.0	14.4
105	行岡病院	大阪市	標準	急性期1	184	53%	1,680	12.7	14.6
106	阪南中央病院	南河内	標準	急性期1	102	51%	1,539	7.8	9.3
107	山本第三病院	大阪市	標準	急性期4	203	65%	1,516	14.0	13.3
108	永山病院	泉州	標準	急性期1	104	45%	1,503	11.8	12.0
109	寺元記念病院	南河内	標準	急性期1	120	75%	1,414	11.5	10.9
110	友愛会病院	大阪市	標準	急性期1	128	75%	1,382	16.0	13.6
111	吉田病院	北河内	標準	急性期4	58	100%	1,380	11.4	11.2
112	明治橋病院	南河内	標準	急性期4	120	77%	1,259	16.1	14.3
113	城東中央病院	大阪市	標準	急性期1	233	100%	1,213	18.2	14.3
114	上山病院	北河内	標準	急性期4	114	60%	1,207	17.1	15.2
115	巽病院	豊能	標準	急性期2	75	100%	1,155	14.6	12.8
116	大阪脳神経外科病院	豊能	標準	急性期1	90	74%	1,119	13.7	12.3
117	佐野記念病院	泉州	標準	急性期1	53	56%	1,110	8.7	8.2
118	井上病院	豊能	標準	急性期4	94	74%	927	14.8	12.1
119	運動器ケア しまだ病院	南河内	標準	急性期1	43	49%	906	9.0	11.4
120	矢木脳神経外科病院	大阪市	標準	急性期2	73	79%	859	16.5	14.0
121	高石藤井病院	泉州	標準	急性期2	58	36%	757	11.7	11.0
122	藍の都脳神経外科病院	大阪市	標準	急性期1	41	51%	629	9.0	8.4
123	河崎病院	泉州	標準	急性期4	47	36%	621	11.2	10.7
124	咲花病院	泉州	標準	急性期1	50	53%	615	12.2	12.4
125	堺咲花病院	堺市	標準	急性期2	100	46%	610	10.5	10.8

# 大阪府 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）⑥

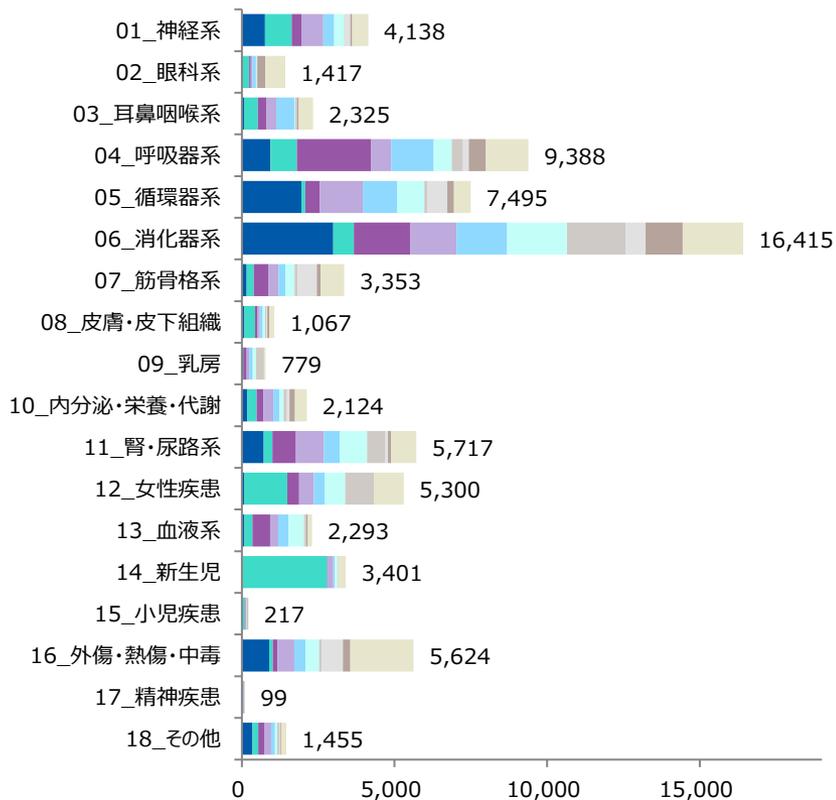
No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
126	村田病院	大阪市	標準	急性期1	40	57%	605	16.1	13.4
127	牧病院	大阪市	標準	急性期3	40	53%	473	13.4	13.5
128	阪堺病院	堺市	標準	急性期1	52	37%	453	9.0	13.5
129	さくら会病院	南河内	標準	急性期1	43	29%	441	11.0	11.4
130	かわい病院	泉州	標準	急性期4	32	70%	263	18.1	26.7

# 泉州医療圏 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

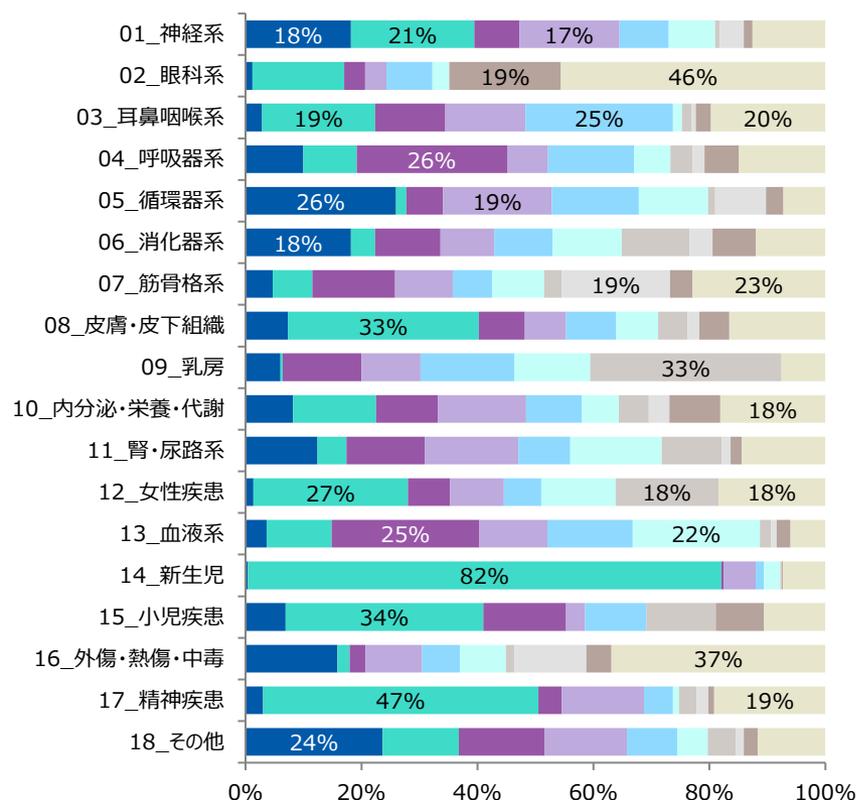
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



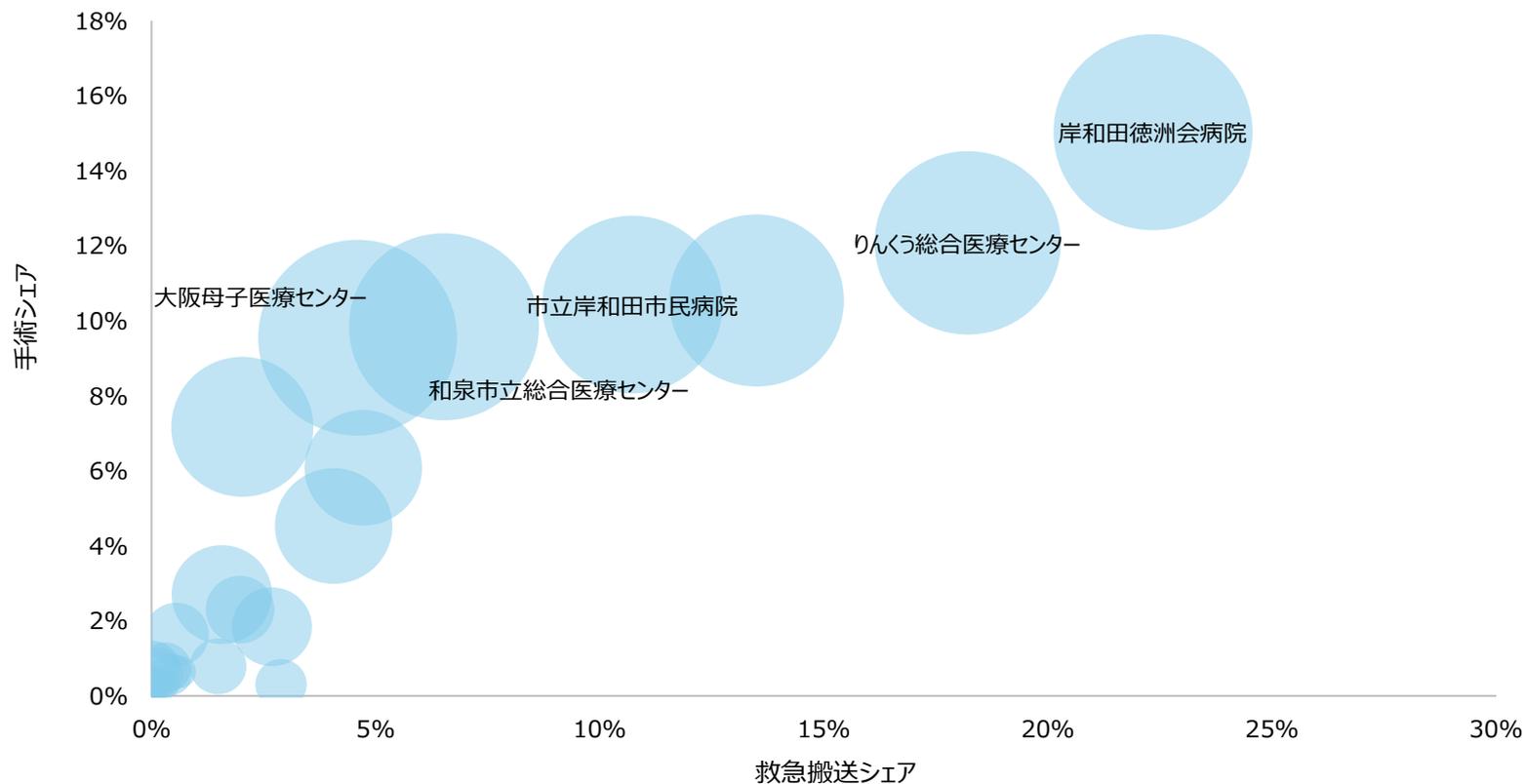
## MDC別医療機関シェア



■ 岸和田徳洲会病院   
 ■ 大阪母子医療センター   
 ■ 和泉市立総合医療センター   
 ■ りんくう総合医療センター   
 ■ 市立岸和田市民病院  
■ 府中病院   
 ■ 市立貝塚病院   
 ■ 葛城病院   
 ■ 阪南市民病院   
 ■ その他

# 泉州医療圏 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

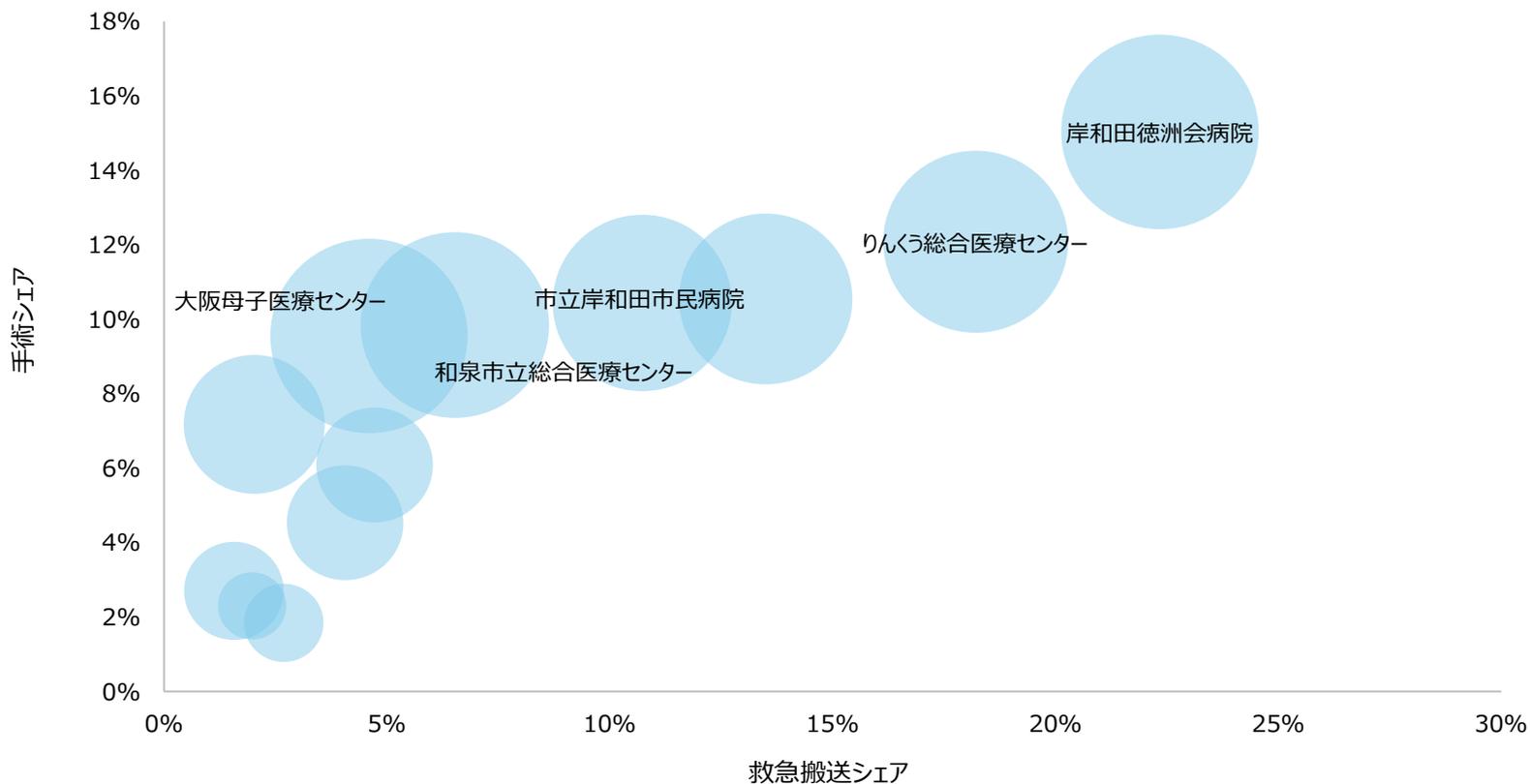
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

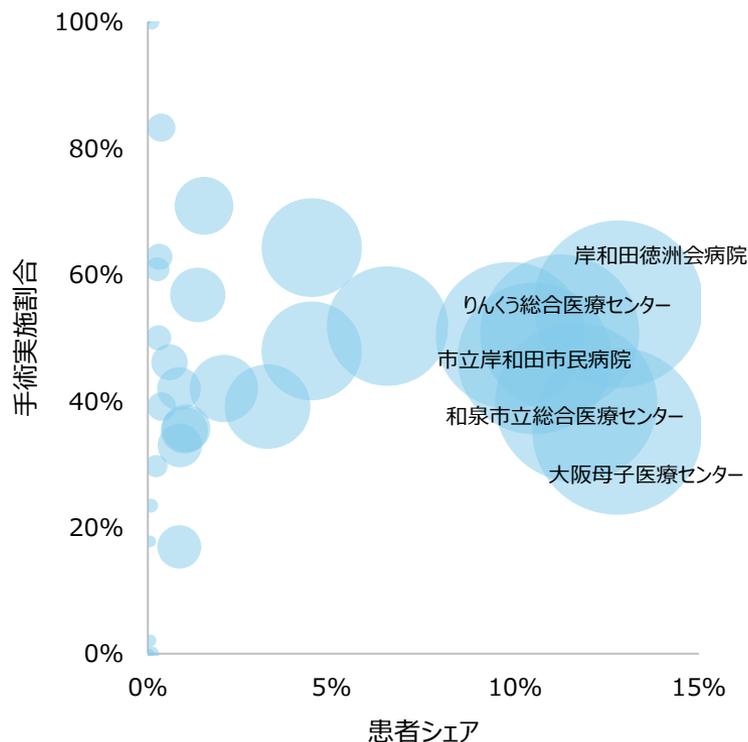


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

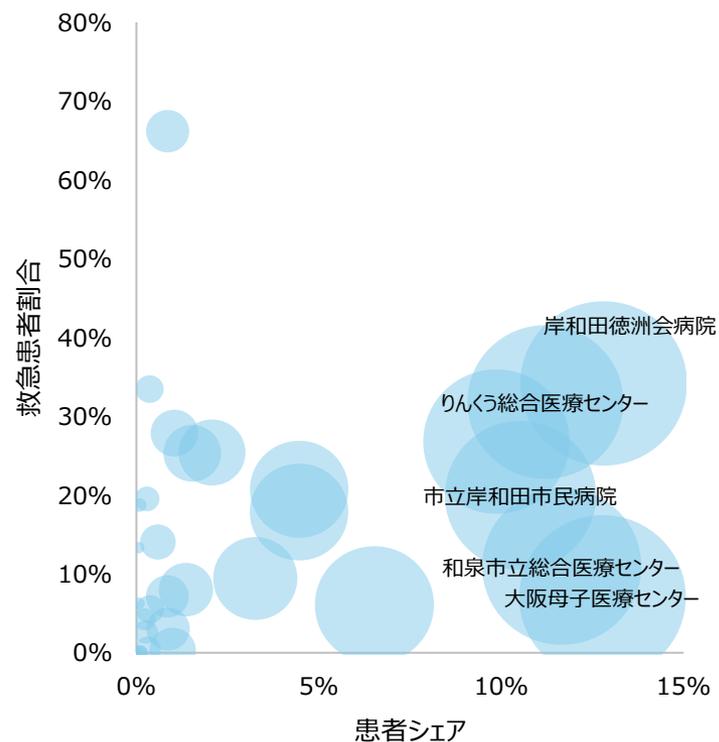
# 泉州医療圏 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

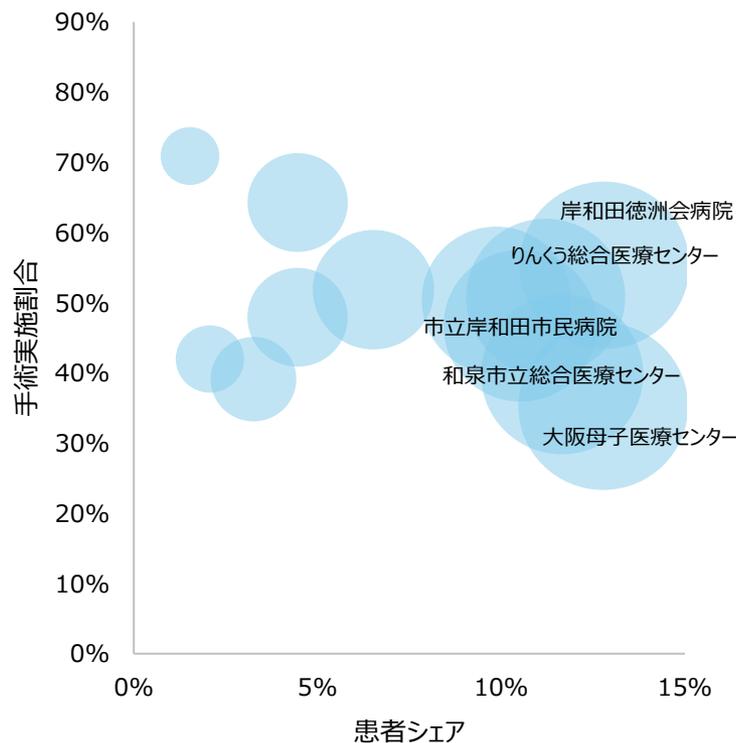


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

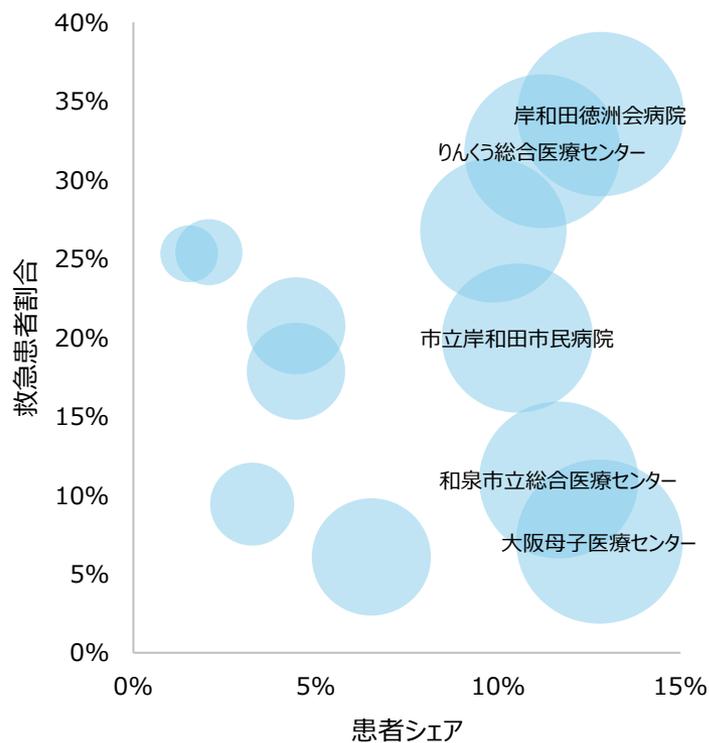
# DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア（退院患者数1000人以上の病院）

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

手術実施割合×患者シェア



救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。  
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」